

和歌山県立近代美術館年報

二〇一八(平成30)年度



## 目 次

---

刊行にあたって	1
和歌山県立近代美術館の使命	2
沿革	3
展覧会事業	7
普及事業	45
作品貸付	53
調査・研究・発表活動および対外協力活動	57
収集事業	60
図書資料収集	77
保存事業	79
管理運営	80
関係法規・規則・規定等	83
建築概要	90
案内	92

# 刊行にあたって

2018(平成30)年度の年報を刊行いたします。

和歌山県立近代美術館は、1963(昭和38)年に和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館を前身とし、1970(昭和45)年、近代美術を標榜するわが国5番目の美術館として和歌山県民文化会館1階に開館しました。そこで23年間の活動を続けたあと、1994(平成6)年7月、現在の場所に新築移転しました。

開館以来、当館は和歌山県にゆかりのある作家について調査と紹介を続ける一方、「和歌山版画ビエンナーレ」や「関西の美術家シリーズ」など独自の展覧会を通じて、日本国内はもとより海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。これらは、近代美術の展示・収集活動にとどまらず、今日の多様化する表現に対応し、幅広い美術を紹介する礎となっています。

京都で結成され、近代日本画の革新的な表現領域を切り開いた日本画団体の結成100年を記念する特別展「国画創作協会の全貌展」は、和歌山ゆかりの野長瀬晩花をはじめ、土田麦僊や村上華岳らによる近代日本画を代表する作品が一堂に並ぶまたとない機会となり、全国的にも注目される貴重な展覧会となりました。企画展については、当館のコレクションの核をなす版画について「産業と美術」という果敢な切り口から紹介した展覧会、夏休み企画として定着し、年間をとおしてもっとも来館者を集め、8回目となる「なつやすみの美術館8 タイムトラベル」、そして洋画や版画、彫刻をはじめ、当館のコレクションがすなわち日本の近代美術のひとつの柱を形成していることを示し、「近代」美術館としての活動にも切り込んだ「和歌山—日本」展など、併設して開催した5本の常設展示とともに、美術館活動の生命線である「コレクションと展覧会の連動」をふまえた個性豊かな展覧会を開催できました。また休館中の滋賀県立近代美術館の協力を得て、同館が所蔵する作品を含めた特集展示も企画するほか、鈴木昭男氏の協力を得て「サウンド・アート」のジャンルにも切り込むなど、多様な展開を示しました。

作品収集についても限られた予算の枠内ですが、2016(平成28)年度の特別展「動き出す! 絵画 ペール北山の夢」の調査成果である岸田劉生の新出作品を購入する機会に恵まれたことは特筆されますし、今年度も続けて多くの作品を寄贈いただくことができました。

教育普及活動は、学校等との連携が実を結んでおり、恒例となった「なつやすみの美術館」展における児童・生徒を対象としたワークショップの開催や独自の教材開発などを経て、すでに高い定評を得ていることは周知のとおりです。

展覧会企画の裏付けとなる調査・研究活動は、学芸員それぞれが数多くの研究活動を行っており、着実に深化された研究は、展覧会内容や、岸田劉生の作品収蔵が示すように収集活動等に還元されています。一方、殆どの展覧会で残念ながら図録が刊行されていないことは、記録や普及の面でも支障をきたし、印刷物の予算についての課題が残ります。

作品・資料の保存・管理、施設の維持・修繕なども概ね行いました。老朽化は限界に近づいており、大規模改修をにらんでのロードマップ作成も引き続きの課題ですが、今年度は冬期に休館して、まず空調設備改修工事を行いました。また展示室照明改修工事の設計も終え、2019(平成31)年度より工事に入っています。

当館の活動は、ご来館くださる方々をはじめ、多くの皆様のご支援とご協力によって成り立っています。ここに心から感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎とするため、本年報を刊行いたします。

2020(令和2)年3月

和歌山県立近代美術館

# 和歌山県立近代美術館の使命

芸術は、私たちに楽しさや深い感動、精神的な安らぎをもたらします。芸術作品に触れることで、人は豊かな人間性を涵養し、未来への創造力を自らのうちに育むことができます。

和歌山県立近代美術館は、展覧会等を通じて人々に国内外の優れた美術文化に接する機会を提供し、地域や学校と連携しながら各種事業を通じて学校教育や生涯学習を支援することをめざします。そうした活動を通じて文化による地域作りを活性化し、文化資源の保全と活用を図り、文化芸術を担う人作りの推進に努めます。

このような目的を実現するため、以下の基本方針をもって臨みます。

## 1 魅力ある展覧会を開催します。

県民に優れた美術作品を鑑賞する機会を提供するため、魅力的な特別企画展・企画展を開催するとともに、充実した館蔵品コレクションを活用して常設展を開催します。展覧会は次の4つの方針によって開催します。

- ①国内の近現代美術を紹介
- ②海外の多様な美術を紹介
- ③和歌山ゆかりの優れた作家を紹介
- ④現在活躍している若手作家を紹介

## 2 調査・研究の充実を図り成果の公表と反映に努めます。

美術史等の研究に寄与するため、充実した調査・研究を行い、その成果を展覧会や教育普及活動等に反映させ、印刷物、インターネット等を通して公開します。

## 3 作品・資料の収集を行います。

美術作品収集方針に沿って作品・資料の収集を行い、県民の文化遺産のさらなる形成に努めます。

## 4 所蔵作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備を行います。

収集した作品・資料を文化財として活用し、文化遺産として未来に伝えるため、状態調査及び保存修復、保存環境の整備に努めます。

## 5 地域と連携し学校教育や生涯学習を支援します。

地域の学校と連携して、子どもたちが団体鑑賞、体験的プログラムに参加できる環境を整備することによって、また鑑賞教材の作成等を通じて、幅広い学習支援を行います。多様化する県民の関心に応えるため、ワークショップや解説会への参加等を通して生涯学習の支援を行います。またボランティアや友の会との協働を図り、他の県立博物館施設をはじめとする生涯学習施設・関係機関・団体等と連携します。

## 6 国内外の美術館や関連組織等と連携し、多様な活動を展開します。

これまで深めてきたわが国の美術館や関連組織等との信頼関係を基に、さらなる学術交流を行い、より質の高い、幅広い事業を展開するように努めます。国内外の美術館に所蔵作品・資料を貸し出すことにより、当館の優れたコレクションの魅力を発信します。本県の美術文化の発展並びに博物館活動を通じて広く知的資源の蓄積に寄与できるよう努めます。

## 7 利用者が安全で快適に利用できるよう美術館運営を行います。

すべての利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の維持管理を行うとともに、危機管理、安全、アメニティーに対する職員の意識向上に努めます。また施設の美観の保持と衛生管理に努めます。

## ■和歌山県立美術館

- 1963(昭和38)年  
 3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館  
 7月 川口軌外展  
 10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展  
 11月 第17回和歌山県美術展(1969年第23回展まで開催)
- 1964(昭和39)年  
 4月 紀州陶磁器展  
 10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展
- 1965(昭和40)年  
 3月 祇園南海展  
 5月 長沢蘆雪名作展  
 7月 日高昌克展  
 10月 近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展
- 1966(昭和41)年  
 3月 ダリ・シャガール・ピュッフェ版画展  
 6月 石垣栄太郎遺作展  
 6月 日本伝統工芸秀作展  
 7月 川端龍子展  
 10月 松方コレクション展
- 1967(昭和42)年  
 4月 国際青年美術家展・日本／アメリカ展  
 8月 和歌山アンデパンダン展  
 10月 富岡鉄斎展
- 1968(昭和43)年  
 3月 桑山玉洲展  
 4月 浮世絵総合展(吉川観方コレクション)  
 7月 1968和歌山アンデパンダン展  
 9月 扇絵展  
 10月 明治100年記念郷土作家回顧展
- 1969(昭和44)年  
 4月 保田龍門展  
 10月 明治大正昭和名作美術展
- 1970(昭和45)年  
 3月 京都の近代日本画展  
 4月 日本女装展(吉川観方コレクション)  
 11月2日 廃館

## ■和歌山県立近代美術館

- 1970(昭和45)年  
 11月2日 和歌山県民文化会館内に開館  
 第24回和歌山県美術展(1993年第47回展まで開催)
- 1971(昭和46)年  
 3月 大夢・晩花展  
 4月 竹久夢二展  
 8月 紀州の風景画展
- 1972(昭和47)年  
 1月 浜口陽三版画展  
 3月 原勝四郎展  
 4月 現代日本絵画秀作展  
 10月 アメリカにおける日本人作家回顧展  
 ー石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本
- 1973(昭和48)年  
 3月 地中海の古代美術展  
 4月 日本伝統工芸秀作展  
 10月 川口軌外展
- 1974(昭和49)年  
 4月 吉田政次遺作展  
 10月 碓伊之助展

- 1975(昭和50)年  
 10月 木下孝則回顧展
- 1976(昭和51)年  
 2月 1910年代における京都日本画の新動向  
 10月 木下義謙作品展
- 1977(昭和52)年  
 2月 田中恭吉展  
 10月 川端龍子展 龍子 そのすべて
- 1978(昭和53)年  
 10月 日高昌克展
- 1979(昭和54)年  
 2月 神中糸子と工部美術学校展  
 5月 村井正誠展  
 10月 高井貞二展
- 1980(昭和55)年  
 3月 川口軌外とその周辺  
 ー和歌山の初期独立展系作家たちー  
 10月 開館10周年記念1930年協会の作家たち展
- 1981(昭和56)年  
 3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展  
 10月 下村観山ーその人と芸術ー
- 1982(昭和57)年  
 2月 建畠覚造展  
 7月 イタリア美術の一世紀展《1880-1990》  
 10月 稗田一穂展
- 1983(昭和58)年  
 7月 関西の美術家シリーズ1  
 ー津高和一・泉茂・吉原英雄展  
 10月 日本の洋画秀作展
- 1984(昭和59)年  
 2月 和歌山の作家と県内洋画壇展  
 7月 関西の美術家シリーズ2 元永定正・白髪一雄展  
 10月 紀州の風景を描いた作家たち展
- 1985(昭和60)年  
 3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展  
 7月 関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人  
 ー清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展  
 10月 開館15周年記念近代洋画の展開  
 ー初期独立美術協会の作家たち展
- 1986(昭和61)年  
 7月 独創傑出の画家 朝井閑右衛門の世界  
 10月 瑛九とその周辺
- 1987(昭和62)年  
 3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展  
 7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人  
 ー大野倣嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展  
 9月 太平洋を越えた日本の画家たち アメリカに学んだ18人
- 1988(昭和63)年  
 3月 描かれた動物たち  
 7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人  
 ー井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展  
 10月 竹久夢二とその周辺
- 1989(昭和64・平成元)年  
 3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展  
 7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形  
 ー土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展  
 10月 親と子で見る世界の名画展
- 1990(平成2)年  
 7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在  
 ー4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展

- 10月 現代の陶芸 1980-1990 関西の作家を中心として  
 1991(平成3)年  
 3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展  
 7月 関西の美術家シリーズ 8 美術の現在  
 —彫刻の変容 清水水漸・北辻良央・川島慶樹展  
 9月 ポスター芸術100年展 サントリー美術館所蔵グランヴィ  
 ルコレクション  
 1992(平成3)年  
 10月 版画芸術の饗宴—ケネス・タイラーと巨匠たち:1963-1992  
 1993(平成4)年  
 3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

## ■新館計画

- 1988(昭和63)年  
 2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建  
 設を決定  
 3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指  
 導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置  
 9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設  
 検討委員会」を設置  
 1989(昭和64・平成元)年  
 4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置  
 新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の  
 建設基本構想について」答申  
 8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催  
 に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門  
 会議」を設置  
 美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議  
 するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」  
 を設置  
 9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集  
 方針について」承認  
 1990(平成2)年  
 3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に  
 委託  
 1991(平成3)年  
 7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル《煉  
 瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入  
 10月 施設着工式を挙行  
 11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ《赤の上  
 の黄褐色と黒》(1957)を購入  
 1992(平成4)年  
 8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ《ラッ  
 カIII》(1968)を購入  
 1993(平成5)年  
 9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ《ミノト  
 ロマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入  
 1994(平成6)年  
 2月 定礎式を挙行  
 3月 工事完了  
 4月 新美術館へ移転

## ■和歌山県立近代美術館 新館

- 7月8日 新近代美術館開館  
 開館記念展 1 美術館へ行こう  
 10月 開館記念展 2 大正のまなざし  
 —若き保田龍門とその時代—  
 11月 小企画展 ルオーの「ミゼレーレ」  
 1995(平成7)年  
 1月 恩地孝四郎—色と形の詩人—

- 2月 小企画展 和歌山ゆかりの作家たち  
 4月 1994 年度新収蔵作品展  
 4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展  
 —イギリス絵画の350年  
 7月 村井正誠展 色と形と心—人間の詩  
 8月 小企画展 美術館に行ったらよ!—風景ってなあに—  
 8月 小企画展 日本の近代版画  
 9月 保田春彦展  
 10月 野田裕示近作展  
 1996(平成8)年  
 1月 線画の世界—かたりの表現—  
 2月 ひかる・うごく・おとがする 20世紀の静かならざる作  
 品たち  
 4月 美術館へ行ったら!?「絵画」というしくみ  
 6月 紀伊半島を歩いて  
 —ロジャー・アックリントン&ハミッシュ・フルトン  
 8月 モスクワ、プーシキン美術館名作展—室内への視線—  
 9月 ホックニーのグリム童話  
 11月 日本のグラフィックデザイン  
 1997(平成9)年  
 1月 和歌山の版画家10人  
 3月 新しい関西の美術家たち ものとあらわれ  
 4月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見る東京  
 5月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見るパリ  
 7月 アルザスとフランス近代美術の歩み  
 —ストラスブル近代美術館展  
 8月 版画の技法・表現の手法  
 10月 マリノ・マリニ展  
 11月 アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち  
 1998(平成10)年  
 1月 心のかたち  
 2月 泉茂 初期版画作品を中心に  
 4月 世紀末芸術の華 オープリー・ピアズリー展  
 5月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1  
 6月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2  
 8月 静けさの中から 星の贈りもの  
 9月 和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3  
 10月 意味とイメージ—あらわれる浪漫主義の明治  
 12月 フランス現代美術展 眼と精神  
 1999(平成11)年  
 2月 関西の戦後美術 1950's-1990's  
 4月 めいさく根掘葉掘 アートと知り合い!  
 6月 デモクラート 1951-1957 開放された戦後美術  
 7月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4  
 8月 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展  
 9月 サンフランシスコ近代美術館展  
 —カリフォルニア・アートシーン 1920's-1930's  
 11月 川口軌外展 ある洋画家の軌跡  
 12月 越境する想像力 素材との出会い  
 2000(平成12)年  
 2月 コレクションにみる 芸術と社会  
 4月 田中恭吉展  
 5月 定規とコンパス?幾何学図形と美術の表現  
 7月 印象派の巨匠 シスレー展  
 —イル・ド・フランスの光を愛して  
 9月 東欧絵本の世界展 国境を越える 子どものためのアート  
 11月 現代版画の軌跡 ゆめとめざめ  
 12月 日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト  
 2001(平成13)年  
 2月 版画今昔

4月 夢の世界のおくりもの アンデルセン童話・絵本原画展  
 5月 うごけば、かわる。  
 8月 宇佐美圭司・絵画宇宙  
 9月 浜口陽三へのオマージュ  
 10月 マックス・エルンスト展  
 12月 一期一会であう めでる つたえる  
 —コレクションによる全館展示

2002(平成14)年

4月 あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀  
 5月 「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界  
 7月 アンジェ美術館展  
 9月 山本容子の美術遊園地  
 11月 美術百科「この人のこの一点」の巻  
 —コレクションによる全館展示

2003(平成15)年

4月 はじめての美術 絵本原画の世界展  
 6月 チャベック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド  
 7月 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展  
 9月 たがやのように 熟す画面の4つのかたち  
 11月 和歌山県特別事業 創設40周年記念 文化表彰の歩み展  
 12月 美術百科「七つの鍵」の巻  
 —コレクションによる全館展示

2004(平成16)年

4月 和歌山県特別事業「日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ジャパン トゥデイ vol.6」  
 4月 和歌山県特別事業 atW vol.1「永坂嘉光・鈴木理策 高野\_熊野\_聖地」  
 6月 小野竹喬展  
 7月 ピノッキオ その誕生から現代まで展  
 11月 チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展

2005(平成17)年

1月 開館10周年記念 美術百科「版画」の巻  
 —コレクションによる全館展示  
 4月 没後10年 遺業・泉茂  
 6月 世界の版画名品選  
 7月 夏休み わかやま美術探偵団  
 関連企画 鈴木昭男「点音 in 和歌山」  
 9月 版画家たちの表情  
 11月 佐伯祐三—芸術家への道—

2006(平成18)年

1月 美術百科「世界一周」の巻  
 —コレクションによる全館展示  
 4月 ベトナム近代絵画展 花と銃  
 —インドシナ・モダンの半世紀  
 4月 小特集 追悼・建畠覚造+新収蔵作品  
 6月 現代「日本画」の展望 —内と外のあいだで—  
 8月 和歌山県特別事業 和歌山県美術展覧会第60回記念 和歌山の美術を担う作家たち展  
 7月 小特集 野田裕示+鈴木理策  
 9月 森鷗外と美術  
 11月 小特集 没後20年高井貞二  
 —ニューヨークのタカイ  
 11月 科学の感情—あたらしい時代の感覚と表現—

2007(平成19)年

1月 美術百科「前衛の関西」の巻  
 —コレクションによる全館展示  
 4月 教育普及課を設置  
 4月 竹久夢二展—描くことが生きること—  
 4月 特集展示 大正デカダンス

「夢二学校」+「テレヲ・バンカ」  
 6月 ふだん美術 —日常に向けた目と心—  
 6月 特集展示 うるわしき技の世界 近現代美術の達人たち  
 7月 relations 関係 —藤本由紀夫 /FUJIMOTO and  
 7月 relations 関係 —藤本由紀夫 /happy conceptual  
 —杉山知子+藤本由紀夫  
 10月 森のなかで  
 12月 美術百科「色・いろいろ」の巻  
 —コレクションによる全館展示

2008(平成20)年

4月 抒情の様式  
 6月 共作×共鳴×共感—ともに作られた作品たち  
 7月 ルオーの〈ミセレーレ〉 人間へのまなざし  
 9月 点と面の詩情—上前智祐・山中嘉一・坪田政彦  
 11月 彼岸の美術  
 12月 美術百科「この人はだれ」の巻  
 —コレクションによる全館展示

2009(平成21)年

4月 原勝四郎展  
 4月 アメリカをめぐる  
 6月 油絵の理由—「あぶらえ」は好きですか?  
 7月 生誕100年記念 浜口陽三展  
 7月 サマー・ミュージアム—わかやま発見—  
 9月 自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展  
 9月 コレクション名品展  
 11月 世界遺産登録50周年記念  
 描かれた紀伊山地の霊場と参詣道  
 11月 和歌山県特別事業 第63回和歌山県美術展覧会(以降継続)  
 12月 美術百科「ここはどこ」の巻  
 —コレクションによる全館展示

2010(平成22)年

4月 開館40周年記念展I ようこそ彫刻の森へ  
 4月 特集展示 宇佐美圭司 —絵画の歩み—  
 7月 特集展示 大亦新治郎のスケッチから  
 —明治・大正の和歌山のまち  
 9月 開館40周年記念展II 日本近代の青春  
 創作版画の名品  
 10月 特集展示 保田春彦 近作デッサンを中心に  
 11月 和歌山県特別事業 平山郁夫追悼展示、小沢道治展

2011(平成23)年

1月 開館40周年記念展III 油絵の魅力 イズムを超えて  
 3月 版画の「アナ」 ガリ版がつなぐ孔版画の歴史  
 3月 特集展示 吉田政次の世界  
 4月 ポップ?ポップ!ポップ♡  
 コレクションに見るポップなアートの50年  
 6月 特集展示 生誕120年記念 恩地孝四郎・藤森静雄  
 7月 なつやすみの美術館「みること」「うつすこと」  
 9月 生誕100年 高井貞二展 —「昭和」を描いた人—  
 9月 特集展示 生誕120年 保田龍門  
 11月 吉原英雄展 画家のドラマ  
 12月 特集展示 生誕130年 日高昌克  
 12月 特集展示 吉原英雄を囲む作家たち

2012(平成24)年

2月 ホックニーのグリム童話  
 3月 特集展示 井田照一  
 4月 人間と自然の美術  
 6月 なつやすみの美術館2:かたちと色のABC  
 6月 特集展示 なつやすみ特集 野田哲也  
 9月 生誕120年記念 田中恭吉展

- 9月 特集展示 幻想の美術
- 11月 生誕 120 年記念 川口軌外の歩み展
- 12月 特集展示 没後 70 年 建畠大夢
- 2013 (平成 25) 年
- 2月 謄写版の冒険 卓上印刷器からはじまったアート
- 3月 特集展示 版画・図案・オブジェ
- 4月 日本の絵画の五十年
- 6月 特集展示 瑛九：紙の上の仕事
- 7月 なつやすみの美術館 3 『美術の時間』
- 9月 生誕 120 年記念 石垣栄太郎展
- 9月 特集展示 没後 100 年 香山小鳥 ゆめの日のかけ
- 12月 特集展示 人間と宇宙のドラマ：  
吹田文明・堀井英男・長岡國人
- 12月 物質(モノ)と美術
- 2014 (平成 26) 年
- 2月 版画について考える —101 年目の宿題—
- 3月 特集展示 モノクロームの世界
- 4月 美術館の運営状況等を評価することを目的として「和歌山県立近代美術館評価部会」を設置
- 4月 建畠覚造と戦後の彫刻 かたちをさぐる
- 6月 特集展示 生誕 120 年 大亦観風
- 7月 なつやすみの美術館 4 生きている!
- 9月 特集展示 没後 50 年 野長瀬晩花
- 11月 観光する美術 和歌山から始まる旅
- 12月 特集展示 コレクション/ドネーション
- 2015 (平成 27) 年
- 1月 『月映』展 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎  
—木版にいのちを刻んだ青春
- 3月 和歌山と関西の美術家たち リアルのリアルのリアルの
- 3月 特集展示 『版画』の明治—印刷と美術のはざままで
- 3月 「和歌山県立近代美術館の使命」を公開
- 5月 保田龍門・保田春彦展
- 6月 特集展示 くりかえしの美
- 7月 なつやすみの美術館 5 つぶやき おはなしものがたり
- 9月 ここだけの日本画
- 9月 特集展示 アメリカ移民の歴史と芸術家たち
- 9月 特集展示 生誕 120 年 逸見享
- 12月 生誕 110 年 村井正誠展 ひとの居る場所
- 12月 特集展示 光について
- 2016 (平成 28) 年
- 3月 宇佐美圭司回顧展 絵画のロゴス
- 3月 特集展示 謄写印刷工房から—印刷と美術のはざままで
- 4月 恩地孝四郎展 抒情とモダン  
関連企画 本の美術：ルリユールへの誘い
- 6月 特集展示 ドローイング—水彩・パステル・紙の世界
- 7月 なつやすみの美術館 6 きろくときおく
- 9月 特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現
- 10月 和歌山県特別事業 第 1 回和歌山県ジュニア美術展覧会 (以降継続)
- 11月 動き出す! 絵画 ペール北山の夢  
—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち
- 11月 大正の異色画家たち(特別展「動き出す! 絵画」第二部)
- 2017 (平成 29) 年
- 1月 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた
- 1月 特集展示 群像—交錯する声
- 4月 現代版画の展開
- 5月 特集 おはなしのなかへ
- 6月 鈴木久雄 彫刻の速度 和歌山展
- 7月 なつやすみの美術館 7 すききらい、すき? きらい?
- 9月 特集 NANGA 俗を去り自ら楽しむ

- 10月 アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎
- 2018 (平成 30) 年
- 1月 特集 はじまりの景色
- 1月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち I  
古きに学(まね)ぶ 下村観山を中心に
- 2月 明治 150 年記念 水彩画家・大下藤次郎展
- 4月 産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園
- 4月 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画
- 4月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち II
- 7月 なつやすみの美術館 8 タイムトラベル
- 8月 特集 鈴木昭男 音と場の探究
- 8月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III
- 9月 和歌山—日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる
- 10月 特集 国展の版画
- 11月 創立 100 周年記念 国画創作協会の全貌展
- 2019 (平成 31) 年
- 1月 コレクション名品選

## 2018 (平成 30) 年度展覧会一覧

### 1. 特別展

- 1. 創立 100 周年記念 国画創作協会の全貌展 ..... 8  
11 月 3 日 (土) ～ 12 月 16 日 (日)

### 2. 企画展

- 1. 産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園 ..... 12  
4 月 14 日 (土) ～ 6 月 24 日 (日)
- 2. なつやすみの美術館 8 タイムトラベル ..... 16  
7 月 7 日 (土) ～ 9 月 2 日 (日)
- 3. 和歌山ー日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる ..... 20  
9 月 8 日 (土) ～ 10 月 20 日 (土)

### 3. 常設展

- コレクション展 2018 ー冬春 ..... 前年度より継続
- 特集 はじまりの景色
- 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちI 古きに学ぶ<sup>まね</sup> 下村観山を中心に  
1 月 4 日 (木) ～ 4 月 15 日 (日)
- 1. コレクション展 2018 ー春夏 ..... 23  
4 月 28 日 (土) ～ 7 月 8 日 (日)
- 2. 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画 ..... 25  
4 月 28 日 (土) ～ 7 月 8 日 (日)
- 3. 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち II 紅児会・赤曜会に集える俊英 ..... 27  
4 月 28 日 (土) ～ 7 月 8 日 (日)
- 4. コレクション展 2018 ー夏秋 ..... 28  
8 月 4 日 (土) ～ 10 月 21 日 (日)
- 5. 特集 鈴木昭男 音と場の探究 ..... 30  
8 月 4 日 (土) ～ 10 月 21 日 (日)
- 6. 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III 禅僧の如き風姿ー富田溪仙の画境 ... 36  
8 月 4 日 (土) ～ 10 月 21 日 (日)
- 7. コレクション展 2018 ー秋冬 和歌山ゆかりの作家たち ..... 38  
10 月 30 日 (火) ～ 12 月 24 日 (月・祝)
- 8. 特集 国展の版画 ..... 41  
10 月 30 日 (火) ～ 12 月 24 日 (月・祝)
- 9. コレクション名品選 ..... 43  
2019 (平成 31) 年 1 月 4 日 (金) ～ 1 月 20 日 (日)

# 1-1. 特別展「創立 100 周年記念 国画創作協会の全貌展」

会 期：2018 (平成 30) 年 11 月 3 日 (土) ～ 12 月 16 日 (日)

会 場：展示室 A・B (1 階)

主 催：和歌山県立近代美術館、朝日新聞社

共 同 開 催：笠岡市立竹喬美術館 (平成 30 年 9 月 14 日～10 月 21 日)、新潟県立万代島美術館 (平成 31 年 1 月 4 日～2 月 17 日)

特 別 協 力：京都国立近代美術館、京都市美術館

助 成：一般財団法人 地域創造

内 容：1918 年、京都で小野竹喬、土田麦僊、村上華岳、榊原紫峰、野長瀬晩花ら 5 人の日本画家により旗揚げされた国画創作協会の創立 100 年を記念して、1993 年に開催されて以来、25 年ぶりとなる回顧展を開催。第 1 回～第 7 回までの国画創作協会展覧会 (国展) 出品作および、関東大震災による国展の休止中に開催された大阪毎日新聞社・東京日日新聞社主催日本美術展覧会 (日本美術展) 出品作のうち、現在所在が判明している約 90 点の日本画作品を中心に紹介した。

展 示 点 数：34 作家 88 点、資料 21 点

担当学芸員：藤本真名美、宮本久宣、山野英嗣 (館長)

関 連 事 業：・記念講演会「近代絵画史における国画創作協会の意義」

日時：11 月 4 日 (日) 32 名 14:00 ～ 15:30

講師：上園四郎 (笠岡市立竹喬美術館館長)

・記念講演会「大阪の「茶話会」と大正期の日本画壇—国画創作協会と運動したか—」

日時：12 月 8 日 (土) 35 名 14:00 ～ 15:30

講師：橋爪節也 (大阪大学大学院文学研究科教授)

・記念講演会「国展の画家が愛した紀州」

日時：12 月 15 日 (土) 34 名 14:00 ～ 15:30

講師：藤本真名美

・体験アート・ワークショップ「晩花のふるさとを訪ねて」

日時：11 月 24 日 (土) 30 名 10:00 ～ 16:00

講師：黒田真里 (日本画家)

場所：田辺市中辺路町近露周辺

対象：小学生以上一般成人まで

主催：特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会 (wacss)

助成：和歌山県文化振興事業補助事業

後援：和歌山県教育委員会、ニュース和歌山株式会社

※イベントの様子を撮影した写真を、12 月 1 日 (土) ～ 12 月 16 日 (日) に美術館 1 階ギャラリーにて展示

・こども美術館部「ボクラ・コウサク・キョウダイ・ノ・ヘンソウ」

日時：12 月 1 日 (土) 18 名 11:00 ～ 11:45 青木加苗

・だれでも美術館部

日時：12 月 1 日 (土) 11 名 14:00 ～ 14:45 青木加苗、宮本久宣

・フロアレクチャー

日時：11 月 10 日 (土) 62 名、12 月 9 日 (日) 35 名 14:00 ～ 15:00 藤本真名美

制 作 物：・図録 (A4 判変形 255 頁、オフセット印刷)

・ポスター (B2 判、オフセット印刷)

・チラシ (A4 判、オフセット印刷)

・出品目録 (A4 判 4 頁)

・プレスリリース (A4 判 4 頁)

・英語版概要 (A4 判 1 頁)

入 場 料 金：一般 800 (640) 円、大学生 500 (400) ( ) 内は 20 名以上の団体料金 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫：和歌山会場では一度に多数の作品を展示し、できるだけ時代順に国展の流れを通覧できる構成を採用した。最新の研究成果を反映した図録を発行したほか、国画創作協会や同時代の日本画への理解を深める講演会、ワークショップ等のイベントを実施した。広報活動としても、ロータリークラブでの卓話等の取り組みを行った。

自己評価・課題・改善案：和歌山出身の野長瀬晩花による第 1 回国展の出品作《初夏の流》や、道成寺伝説を描いた重要文化財の村上華岳《日高河清姫図》のほか、大型作品の土田麦僊《大原女》等の重要作を通期で紹介できた。また、他の出品作と並べることで、晩花の魅力を伝える展示を実現できた。イベントも好評のうちに終えることができた。一方、輸送費削減のため、出品を断念した作品もあり、輸送ルートの工夫や、計画的な予算執行が課題である。なお、本特別展については、共催館の笠岡市立竹喬美術館、新潟県立万代島美術館とともに、美術館連絡協議会の「2018 年度美連協大賞 奨励賞」を受賞した。

関 連 記 事：・「国画創作協会の全貌 11 月 3 日～近代美術館で展覧会」『わかやま新報』2018 年 10 月 17 日、3 面

・「国画創作協会 創立 100 周年記念展」『朝日新聞』2018 年 10 月 23 日、20 面

・「国画創作協会の全貌展 記念講演会」『朝日新聞』2018 年 10 月 30 日、23 面

・「近代日本画の名作約 90 点 国画創作協会の全貌展」『和歌山特報』2018 年 11 月 1 日、10 面

・成田愛恵「国画創作協会創立 100 周年 全貌展きょう開幕 県立近代美術館」『朝日新聞』2018 年 11 月 3 日、27 面

・「国画創作協会の全貌展」学芸員が解説『朝日新聞』2018 年 11 月 6 日、18 面

・「生ル、(ママ) モノハ藝術ナリ 来賓多数迎え内覧会も…県立近代美術館 11/2 開催前日に記念式典 12 月 16 日まで開催」『和歌山特報』2018 年 11 月 11 日、10 面

- ・「日本画「目覚め」の情熱 国画創作協会の全貌展—近代美術館で100周年記念—」『わかやま新報』2018年11月14日、1面
  - ・「新たな表現 模索の歩み 国画創作協会 和歌山で創立100年展」『朝日新聞』2018年11月16日夕刊、5面
  - ・山野英嗣「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展 革新的な表現を追求したひとつの運動」『新美術新聞』2018年11月21日、2面
  - ・阿部弘賢「革新的な日本画一堂に 近代美術館 国画創作協会企画展」『毎日新聞』2018年11月23日、21面
  - ・正木利和「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展 和歌山県立近代美術館 日本画革新 挑んだ画家たち」『産経新聞』2018年11月30日夕刊、4面
  - ・「和歌山県立近代美術館 100年前、京都で新しい日本画を作り出したわかものたち」『わかやま探検ミュージアム』12・1月号 vol.50、2018年12月1日発行、p.4、表紙
  - ・五十嵐公一（大阪芸術大学教授）「展覧会 国画創作協会の全貌展 激しい色彩 青年の熱情」『日本経済新聞』2018年12月4日夕刊、14面
  - ・「国画創作協会の全貌展 図録を販売中」『朝日新聞』2018年12月4日、19面
  - ・岸桂子「創立100年 国画創作協会展 和歌山県立近代美術館 多士済々 輝ける10年」『毎日新聞』2018年12月5日夕刊、3面
  - ・平井啓修（京都国立近代美術館研究員）「寄稿「国画創作協会の全貌展」を見て 京都画壇に豊かなる実り」『毎日新聞』2018年12月15日夕刊、2面
- 情報掲載：
- ・「第12回ふれあい美術散歩 和歌山県立近代美術館 特別展 創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」『ふれあい西大和』第85号、2018年10月発行、p.3
  - ・「展示1 国画創作協会の全貌」『ニュース和歌山』2018年10月20日、8面
  - ・「和歌山県立近代美術館便り◎創立100周年記念 国画創作協会の全貌展 生ルハモノハ藝術ナリ」『ワカピー』11・12月号 vol.82、2018年11月発行、p.7
  - ・「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」『アサヒメイト』11月号、2018年11月1日発行、p.3
  - ・「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」『アサヒメイト』12月号、2018年12月1日発行、p.5

## 「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」出品目録

凡例：

展示期間：「\*」が付いている作品は前期展示（11月3日～11月25日）、「\*\*」が付いている作品は後期展示（11月26日～12月16日）。作家名は原則として作品発表時の名義を採ったが、石川晴彦〔利治〕、小野竹喬〔竹橋〕、甲斐庄〔甲斐荘〕 楠音、要〔水田〕 樹平、杉田勇次郎〔游子〕に関しては、その後の活動により通例となった名義に変更した。作品の名称は現在の所蔵者による表記に基づく。材質が麻布、綿布、あるいは寒冷紗か、現時点で断定し難い平織りの布である場合は、「画布」と表記した。

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
<b>第1回展 1918 (大正7) 年</b>						
1	小野竹喬	波切村	1918 (大正7)	絹本着色	各167.5 × 370.0	笠岡市立竹喬美術館
2	村上華岳	聖者の死 (大下絵)	1918 (大正7)	墨、紙	209.5 × 309.0	京都市美術館
3	村上華岳	聖者の死 (素描)	1918 (大正7)	顔料、紙	20.0 × 27.5	東京国立近代美術館
4	野長瀬 晩花	初夏の流	1918 (大正7)	画布着色	176.5 × 557.0	京都市美術館
5	入江 波光	降魔	1918 (大正7)	画布着色	243.0 × 226.0	西芳寺
6*	伊藤 草白	鳥	1918 (大正7)	絹本着色	109.7 × 139.0	京都国立近代美術館
7	岡本 神草	口紅	1918 (大正7)	絹本着色	136.0 × 136.0	京都市立芸術大学芸術資料館
8*	松阪 春久	梧桐之図	1918 (大正7)	絹本着色	180.5 × 76.0	京都市立衣笠小学校
9	梶原 緋佐子	暮れゆく停留所	1918 (大正7)	絹本着色	190.5 × 83.3	京都市美術館
10**	森谷 南人子	快晴	1918 (大正7)	絹本着色	102.8 × 144.0	京都国立近代美術館
<b>第2回展 1919 (大正8) 年</b>						
11	入江 波光	臨海の村	1919 (大正8)	絹本着色	157.0 × 172.0	福田美術館開設準備室
12	小野竹喬	夏の五箇山	1919 (大正8)	絹本着色	166.3 × 274.8	笠岡市立竹喬美術館
13	村上華岳	日高河清姫図	1919 (大正8)	絹本着色	142.5 × 55.7	東京国立近代美術館
14	榊原 紫峰	赤松	1919 (大正8)	紙本着色	各182.0 × 375.0	京都市美術館
15**	酒井 三良	雪に埋もれつつ正月はゆく	1919 (大正8)	絹本着色	169.6 × 173.2	福島県立美術館
16*	吹田 草牧	伊豆夏景	1919 (大正8)	絹本着色	149.0 × 167.0	京都国立近代美術館
17*	山口 草平	静寂	1919 (大正8)	紙本着色	121.0 × 134.2	京都国立近代美術館
<b>第3回展 1920 (大正9) 年</b>						
18	入江 波光	彼岸	1920 (大正9)	絹本着色	181.0 × 224.0	京都市美術館
19	小野竹喬	海島	1920 (大正9)	絹本着色	各167 × 184.6	笠岡市立竹喬美術館
20	村上華岳	裸婦図 (大下絵)	1920 (大正9)	顔料、紙	171.0 × 107.3	京都市立芸術大学芸術資料館
21	野長瀬 晩花	夕陽に帰る漁夫	1920 (大正9)	紙本着色	187.0 × 382.0	京都国立近代美術館
22	榊原 紫峰	奈良の森	1920 (大正9)	絹本着色	各188.0 × 233.0	京都市美術館

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
23*	杉田 勇次郎	海近く	1920 (大正 9)	絹本着色	118.4 × 203.5	京都市美術館
24**	丸岡 比呂史	母と子	1920 (大正 9)	絹本着色	101.0 × 101.5	京都国立近代美術館
25**	榑原 始更	路	1920 (大正 9)	絹本着色	119.0 × 128.5	京都国立近代美術館
<b>日本美術展覧会 1923 (大正 12) 年</b>						
26	入江 波光	蒼林図	1923 (大正 12)	絹本着色	35.6 × 42.2	東京国立近代美術館
27	入江 波光	湖岸	1922 (大正 11)	絹本着色	35.6 × 42.5	京都国立近代美術館
28*	小野 竹喬	村道 (北国の田舎道)	1923 (大正 12)	紙本着色	117.4 × 112.0	京都国立近代美術館
29**	土田 麦僊	巴里の女	1923 (大正 12)	テンペラ、画布	131.2 × 112.0	京都国立近代美術館
30**	野長瀬 晩花	少女像 (素描)	1923 (大正 12)	顔料、紙	77.8 × 43.4	当館蔵
31	村上 華岳	如意輪観音像	1923 (大正 12)	紙本着色	47.9 × 64.3	個人蔵
32*	吹田 草牧	ボジリポの漁家	1923 (大正 12)	絹本着色	72.5 × 88.0	京都国立近代美術館
<b>第4回展 1924 (大正 13) 年</b>						
33	小野 竹喬	春耕	1924 (大正 13)	絹本着色	164.9 × 160.0	笠岡市立竹喬美術館
34	榑原 紫峰	雪柳白鷺図	1924 (大正 13)	絹本着色	204.0 × 173.0	豊橋市美術博物館寄託
35*	土田 麦僊	舞妓林泉	1924 (大正 13)	絹本着色	217.7 × 102.0	東京国立近代美術館
36**	土田 麦僊	舞妓林泉 (大下絵)	1924 (大正 13)	顔料、紙	215.2 × 100.5	京都国立近代美術館
37	土田 麦僊	鮭之図	1924 (大正 13)	紙本着色	41.4 × 51.6	新潟県立近代美術館・万代島美術館
38**	土田 麦僊	蔬菜	1924 (大正 13)	紙本着色	49.5 × 64.3	新潟県立近代美術館寄託
39*	土田 麦僊	蔬菜 (大下絵)	1924 (大正 13)	顔料、紙	47.2 × 62.2	新潟県立近代美術館・万代島美術館
40	土田 麦僊	大原女 (大下絵)	1924 (大正 13)	顔料、紙	175.8 × 174.4	京都国立近代美術館
41	野長瀬 晩花	スペインの田舎の子供	1924 (大正 13)	寒紗紗着色	103.1 × 135.6	当館蔵
42	村上 華岳	説法の図	1924 (大正 13)	紙本着色	48.7 × 34.5	個人蔵
43	村上 華岳	九重椿	1924 (大正 13)	絹本着色	42.6 × 49.8	個人蔵
44	岡村 宇太郎	日没頃	1924 (大正 13)	絹本着色	73.5 × 95.0	京都国立近代美術館
45**	甲斐庄 楠音	舞う	1921 (大正 10)	絹本着色	130.5 × 89.0	京都国立近代美術館
46	粥川 伸二	妖影	1924 (大正 13)	絹本着色	139.0 × 165.5	京都国立近代美術館
47*	杉田 勇次郎	人形	1924 (大正 13)	絹本着色	40.0 × 49.4	京都国立近代美術館
48	石川 晴彦	人像・顔	1922 (大正 11)	絹本着色	34.5 × 28.5	東京国立近代美術館
49	要 樹平	兵營附近	1924 (大正 13)	紙本着色	135.0 × 135.0	京都市立芸術大学芸術資料館
50	佐原 修一郎	老婆の像	1924 (大正 13)	絹本着色	62.0 × 39.0	個人蔵
51	森谷 南人子	秋の日	1924 (大正 13)	綿布着色	115.0 × 139.5	笠岡市立竹喬美術館
<b>第5回展 1926 (大正 15) 年</b>						
52	入江 波光	南欧小景 (聖コスタンツァ寺)	1922 (大正 11)	絹本着色	38.0 × 42.5	個人蔵
53	榑原 紫峰	蓮	1926 (大正 15)	絹本着色	183.2 × 213.0	株式会社 千總
54**	土田 麦僊	芥子	1926 (大正 15)	絹本着色	196.5 × 105.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館
55	村上 華岳	松山雲煙	1925 (大正 14)	絹本着色	46.4 × 140.0	東京国立近代美術館
56	甲斐庄 楠音	裸婦	1926 (大正 15)	絹本着色	132.0 × 51.5	京都国立近代美術館
57**	粥川 伸二	長崎懐古 (紅毛人遊興図)	1926 (大正 15)	紙本着色	33.6 × 42.7	京都国立近代美術館
58	石川 晴彦	山茶花を持てる女	1926 (大正 15)	絹本着色	83.9 × 65.6	京都市美術館
59	恩田 耕作	佐渡海府風景	1926 (大正 15)	紙本着色	各 72.5 × 63.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館
60	柴田 春光	飯山	1926 (大正 15)	紙本着色	118.0 × 157.0	小坂町立総合博物館「郷土館」
61	多田 敬一	海ぞいの村	1926 (大正 15)	絹本着色	161.5 × 196.0	京都市美術館
62	玉城 末一	宇吉	1925 (大正 14)	綿布着色	136.0 × 63.0	京都市美術館
63	丸岡 比呂史	菱の池	1926 (大正 15)	絹本着色	154.3 × 183.6	個人蔵
<b>第6回展 1927 (昭和 2) 年</b>						
64	小野 竹喬	青海	1927 (昭和 2)	絹本着色	68.1 × 87.2	笠岡市立竹喬美術館
65	小野 竹喬	波濤	1927 (昭和 2)	紙本着色	69.0 × 91.5	笠岡市立竹喬美術館
66	榑原 紫峰	獅子	1927 (昭和 2)	絹本着色	170.0 × 366.0	京都市美術館
67	土田 麦僊	大原女	1927 (昭和 2)	絹本着色	213.0 × 215.0	京都国立近代美術館
68	野長瀬 晩花	田舎の舞妓 (素描)	1925 (大正 14)	顔料、紙	30.6 × 47.2	当館蔵
69*	甲斐庄 楠音	娘子	1927 (昭和 2)	絹本着色	49.7 × 46.6	京都国立近代美術館
70	甲斐庄 楠音	母	1927 (昭和 2)	絹本着色	73.5 × 68.5	京都市美術館
71	甲斐庄 楠音	道行	1924 (大正 13)	絹本着色	25.0 × 28.0	京都国立近代美術館
72	杉田 勇次郎	麓庵	1927 (昭和 2)	絹本着色	170.6 × 195.4	当館蔵
73	森谷 南人子	秋郊	1927 (昭和 2)	紙本着色	101.0 × 116.0	笠岡市立竹喬美術館
74	徳力 富吉郎	人形	1927 (昭和 2)	紙本着色	40.0 × 51.4	当館蔵
75	長沢 信一郎	郊外風景	1927 (昭和 2)	絹本着色	42.5 × 51.5	個人蔵
76**	林 司馬	山茶花	1927 (昭和 2)	紙本着色	131.0 × 139.0	京都市立芸術大学芸術資料館
77	水谷 浩象	春光	1927 (昭和 2)	紙本着色	87.9 × 119.5	個人蔵
<b>第7回展 1928 (昭和 3) 年</b>						
78	入江 波光	摘草	1928 (昭和 3)	絹本着色	161.0 × 180.0	京都国立近代美術館
79	小野 竹喬	冬日帖	1928 (昭和 3)	紙本着色	各 37.5 × 45.5	京都市美術館
80	榑原 始更	幽庭	1928 (昭和 3)	紙本着色	各 168.0 × 184.4	個人蔵
81	吹田 草牧	醍醐寺泉庭	1928 (昭和 3)	絹本着色	168.0 × 220.0	京都国立近代美術館
82	小松 均	八瀬	1928 (昭和 3)	紙本着色	123.0 × 143.0	宮城県美術館
83**	福田 豊四郎	雪の一日	1928 (昭和 3)	紙本着色	各 59.2 × 184.5	秋田県立近代美術館
84	森谷 南人子	海辺 (曇)	1928 (昭和 3)	紙本着色	57.2 × 90.5	笠岡市立竹喬美術館
85*	新見 虚舟	市の立つ日	1928 (昭和 3)	紙本着色	137.5 × 116.0	京都市立芸術大学芸術資料館
86*	新見 虚舟	漁港	1928 (昭和 3)	紙本着色	145.0 × 202.0	京都国立近代美術館
87	徳力 富吉郎	初冬	1928 (昭和 3)	絹本着色	144.0 × 162.0	京都国立近代美術館
88	林 司馬	花鳥図	1928 (昭和 3)	絹本着色	124.0 × 140.0	京都市立芸術大学芸術資料館

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
<b>附資料 (和歌山会場にて展示分)</b>						
89	中井宗太郎 (編集兼発行者)	『国画創作協会第一回展覧会画集』 (発行元: 国画創作協会)	1918 (大正7) 11月5日	冊子	38.4 × 29.4	画箋堂
90	中井宗太郎 (編集兼発行者)	『国画創作協会第二回展覧会画集』 (発行元: 制作社)	1919 (大正8) 11月27日	冊子	38.0 × 29.2	画箋堂
91		国画創作協会第二回展覧会目録 (京都会場)	1919 (大正8)	シート	19.8 × 26.0	画箋堂
92		国画創作協会第二回展覧会入場券 (赤)	1919 (大正8)	シート	4.2 × 7.3	画箋堂
93		国画創作協会第二回展覧会入場券 (黒)	1919 (大正8)	シート	4.2 × 7.3	画箋堂
94		国画創作協会第二回展覧会学生券	1919 (大正8)	シート	7.5 × 4.3	画箋堂
95		国画創作協会第二回展覧会学生割引券	1919 (大正8)	シート	9.0 × 12.0	画箋堂
96		国画創作協会第三回展覧会出品規約	1920 (大正9)	シート	27.2 × 42.6	画箋堂
97	山田直三郎 (編集兼発行者)	『制作』 国画創作協会号・臨時号 (発行元: 制作社)	1919 (大正8) 11月1日発行	冊子	22.0 × 15.2	当館蔵
98	山田直三郎 (編集兼発行者)	『制作』 第一周年号 (発行元: 制作社)	1919 (大正8) 11月1日発行	冊子	22.0 × 15.2	当館蔵
99	「小野竹喬氏・土田麦僊氏・野長瀬晩花氏・黒田重太郎氏渡欧送別会」	出席者名簿	1921 (大正10) 9月26日付	シート(7枚綴り)	25.6 × 17.6	画箋堂
100		『Le Livre journal』 (野長瀬晩花滞欧日記)	1921 (大正10)	冊子	22.0 × 17.4	当館蔵
101		野長瀬晩花収集 絵葉書アルバム	1921 (大正10)-1922 (大正11)頃か	冊子	30.4 × 25.0	当館蔵
102	黒田重太郎記、国画創作協会同人・大阪時事新報社編	『欧州芸術巡礼紀行』 (発行元: 十字館*再版)	1923 (大正12) 8月25日発行	冊子	20.0 × 13.4	当館蔵
103	野長瀬晩花	滞欧期スケッチブック	1921 (大正10)-1922 (大正11)頃か	冊子	26.6 × 22.0	当館蔵
104	野長瀬晩花	滞欧期スケッチブック	1921 (大正10)-1922 (大正11)頃か	冊子	12.8 × 20.0	当館蔵
105	山本源之助 (編集兼発行者)	『国画創作協会第五回展覧会画集』 (発行元: 文星堂出版部)	1926 (大正15) 4月17日発行	冊子	31.8 × 23.6	画箋堂
106		第六回国画創作協会展覧会目録	1927 (昭和2)	冊子	19.0 × 12.8	当館蔵
107	鎌田敬四郎 (編集兼発行兼印刷人)	『第六回国展』 (発行元: 株式会社朝日新聞社)*表紙図案: 富本憲吉	1927 (昭和2) 2月5日発行	冊子	26.0 × 18.8	個人蔵
108		国画創作協会第七回展覧会目録	1928 (昭和3)	冊子	15.2 × 10.8	個人蔵
109	鎌田敬四郎 (編集兼発行兼印刷人)	『第七回国展』 (発行元: 株式会社朝日新聞社)*表紙図案: 川島理一郎	1928 (昭和3) 5月15日発行	冊子	25.8 × 18.9	個人蔵



ポスター



チラシ表



チラシ裏



ワークショップチラシ表



ワークショップチラシ裏



展示風景



## 2-1. 企画展「産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園」

会 期： 2018 (平成 30) 年 4 月 14 日 (土) ～ 6 月 24 日 (日)

会 場： 展示室 C (2 階)

主 催： 和歌山県立近代美術館

内 容： 印刷術という一つの産業が、いかに美術表現を豊かで新鮮なものにしてきたかを印刷資料、版画、絵画などを通して提示する。実用的な需要に応えるあいだに、版の創造的な側面が活かされ、現代版画の名作や力作が生まれていることを示し、現在の技術が、美術に与える新しい美術表現を予期しながら、日常に寄り添い、日常を超えていく創造力を持つことを感じられる展示とした。

展 示 点 数： 69 作家 195 点

担当学芸員： 植野比佐見

関 連 事 業： ・フロアレクチャー

日時：4月29日(日・祝) 13名、5月5日(土・祝) 20名、6月23日(土) 17名 いずれも14:00～15:00 植野比佐見

・こども美術館部「印・刷・刷・物・物・物」

日時：4月28日(土) 5名 14:00～14:45 青木加苗

制 作 物： ・ポスター (B2 判、オフセット印刷)

・チラシ (A4 判、オフセット印刷)

・出品目録 (A4 判 6 頁)

・プレスリリース (A4 判 3 頁)

・英語版概要 (A4 判 1 頁)

入 場 料 金： 一般 510 円 (410 円)、大学生 300 円 (250 円) ( ) 内は 20 名以上の団体料金 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫： 「印刷物のある眺め」「日本の印刷術と美術と」「印刷術から美術へ」「世界の印刷術と美術と」「印刷術と美術の技法と」のコーナーを設け、それぞれに詳しく解説をつけて、来館者がそれぞれのペースで展示を楽しめるよう工夫した。また、作業することを通して、展示されている美術作品への親しみを育てよう、「こども美術館部」の活動を行った。

自己評価・課題・改善案： これまで、印刷術をめぐる展覧会を行ったときには、その芸術表現の展開として版画をとりあげることが多かったが、今回は版画だけでなく他のジャンルにもその影響があることに焦点をあて、より豊かな広がりのある美術の世界を紹介できた。また、当館がこれまで収集してきた謄写版資料や、個人蔵の印刷物コレクションをあわせて紹介したことで、現在、自分たちが身の回りのものから受けている刺激について、あらためて考えていただけた。

関 連 記 事： ・「産業と美術のあいだで」印刷術が与えた影響 14日～県立近代美術館で展覧会『わかやま新報』2018年4月4日、3面

・「印刷術が拓いた楽園」『ニュース和歌山』2018年4月7日、6面

・「展覧会 産業と美術のあいだで」『毎日新聞』2018年4月13日、21面

・「県立近代美術館 展覧会案内 産業と美術のあいだで - 印刷術が拓いた楽園 -」『有田タイムス』2018年4月14日、2面

・加藤義夫「美術評「産業と美術のあいだで」展 印刷術が生み出す新たな表現」『朝日新聞』2018年4月20日夕刊、5面

・山成孝治「印刷術が育てたアート 県立近代美術館 影響作品を展示」『毎日新聞』2018年4月27日、23面

・「子供ら、展覧会取材 近代美術館で新聞作り」『読売新聞』2018年4月29日、24面

・「印刷物モチーフ 絵画や版画 195点 県立近代美術館」『読売新聞』2018年5月20日、26面

・岸桂子「印刷と美術テーマ企画展 和歌山近美 技術と創造 深い相関」『毎日新聞』2018年6月6日夕刊、3面

・「「印刷術」の創造的な側面紹介 展覧会「産業と美術のあいだで」 県立近代美術館」『産経新聞』2018年6月14日、25面

情 報 掲 載： ・「和歌山県立近代美術館便り ◎産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園」『ワカビー』5・6月号 vol.79、2018年5月発行、p.7

・「展覧会 INFORMATION 和歌山県立近代美術館 産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園」『つくりびと』vol.70、2018年5月発行、p.23

### 「産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
1	佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	45.5 × 53.6	玉井一郎氏寄贈
2	佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9 × 73.2	玉井一郎氏寄贈
3	浜地 清松	赤い帽子	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	100.0 × 73.0	
4	高井 貞二	感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7 × 91.0	作者寄贈
5	前田 藤四郎	時計	1932 (昭和 7)	リノカット、銅凸版、紙	26.5 × 34.0	
6	野長瀬 暁花	少女像	1923 (大正 12) 頃	墨、顔料、紙	63.6 × 49.5	木崎みさを氏寄贈
7	木下 義謙	読書の母	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	41.2 × 32.0	作者寄贈
8	木下 義謙	同窓	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	73.2 × 60.5	山根章子氏寄贈
9	保田 龍門	読書	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	65.5 × 53.0	保田淳子氏寄贈
10	高井 貞二	地図	1934 (昭和 9) 頃	油彩、キャンバス	131.0 × 162.6	作者寄贈
11	高井 貞二	エミグラントの街	1940 (昭和 15)	油彩、キャンバス	129.4 × 158.7	作者寄贈
12	杉本、ヘンリー	パリ新聞店	制作年不詳	油彩、キャンバス	45.8 × 38.3	個人蔵
13	杉本、ヘンリー	Faith, Love, Hope	1966 (昭和 41)	油彩、コラージュ、キャンバス	162.4 × 130.3	作者寄贈
14	杉本、ヘンリー	ルー・セインの壁	制作年不詳	油彩、コラージュ、キャンバス	91.2 × 73.1	個人蔵
15	ロートレック、アンリ・ド・トゥールーズ	アリストイド・ブリュアン	1893 (明治 26)	石版、紙	139.0 × 99.8	個人蔵

No. 作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
16 レジェ, フェルナン	労働—絵画による我々の時代の証言—展ポスター (パリ市立美術館、1951)	1951 (昭和 26)	オフセットリトグラフ、紙	53.0 × 40.0	矢尾利秀氏寄贈
17 カンディンスキー, ワシリー	カンディンスキーデッサウのパウハウス 1927-1933 展ポスター (ギャルリー・マーズ、パリ、開催年不詳)	1965 (昭和 40) 頃	オフセットリトグラフ、紙	49.8 × 37.6	矢尾利秀氏寄贈
18 ブラック, ジョルジュ	ジョルジュ・ブラック—最近作品展ポスター (ギャルリー・マーズ、パリ、1967)	1967 (昭和 42)	オフセットリトグラフ、紙	59.7 × 42.1	矢尾利秀氏寄贈
19 ピカソ, パブロ	ピカソ—1900 ~ 1953 展ポスター (リヨン美術館、1953)	1953 (昭和 28)	オフセットリトグラフ、紙	36.9 × 48.3	矢尾利秀氏寄贈
20 石川 寅治	[裸婦]	制作年不詳	木版、紙	30.0 × 37.5	個人蔵
21 石川 寅治	[裸婦] 版木	制作年不詳	木板	34.4 × 48.5	個人蔵
22 吉原 英雄	ネコ 94 A-D [墨刷] 1	1994 (平成 6)	石版、紙	31.0 × 43.2	作者寄贈
23 吉原 英雄	ネコ 94 A-D 原版	1994 (平成 6)	ジンク板	55.0 × 65.0	作者寄贈
24 駒井 哲郎	腐刻画	1966 (昭和 41)	銅版、紙	27.3 × 16.7	中村太郎氏・光子氏寄贈
25 駒井 哲郎	《腐刻画》 廃版刷	1966 (昭和 41) [1980年刷]	銅版、紙	26.9 × 16.6	中村太郎氏・光子氏寄贈
26 駒井 哲郎	《腐刻画》 原版	1966 (昭和 41)	銅版 (鍍金)	27.3 × 16.7	中村太郎氏・光子氏寄贈
27 若山 八十氏	『変ないきもの』	1961 (昭和 36)	謄写版、ガラス、紙 (冊子)、2点出品	10.5 × 9.1 × 2.0	森田睦氏寄贈、個人蔵
28 坂本 秀童子	坂東俘虜収容所謄写版印刷物再現『演劇 白馬亭にて』プログラム	2010 (平成 22)	謄写版、紙	26.3 × 19.7	個人蔵
29 坂本 秀童子	坂東俘虜収容所謄写版印刷物再現『ベートーヴェン第九交響曲演奏会』プログラム	2010 (平成 22)	謄写版、紙	26.3 × 19.7	個人蔵
30 ピカソ, パブロ	LYSISTRATA (女の平和)	1934 (昭和 9)	銅版、紙 (冊子)	29.9 × 23.9 × 1.5	
31 ミロ, ジョアン	『デリアエール・ル・ミロワール』 No.203	1973 (昭和 48)	石版、紙 (冊子)	37.9 × 56.2 × 0.3	矢尾利秀氏寄贈
32 森 琴石	永田方正『暗射地球図』	1875 (明治 8)	銅版、木版、紙	71.2 × 91.3	個人蔵
33 田中 太右衛門	永田方正『大日本暗射図』	1876 (明治 9)	木版、紙	72.7 × 67.3	個人蔵
34 森 琴石	武藤吉次郎『改正大阪区分細見図』	1876 (明治 9)	銅版、木版、紙	68.5 × 92.1	個人蔵
35 鈴木 蕾齋	「蝙蝠傘 縮フランシル御商 南為太郎」引札	1887 (明治 20) 頃	木版、紙	36.1 × 49.2	個人蔵
36 鈴木 蕾齋	「茶舗 小山利八」引札	明治 20 年代	木版、紙	44.8 × 33.2	個人蔵
37 小林 清親	「東京昇栄舎大勉強」絵びら	明治 20 年代	石版、紙	44.0 × 31.3	個人蔵
38 中田 貞矩 (焦明堂)	「水陸貨物取扱廻 丸八組」引札	明治 10 年代	銅版、紙	33.7 × 51.9	個人蔵
39 森 琴石	『明治新用文大成』挿画 6 点	1881 (明治 14)	銅版、紙	12.2 × 9.3	個人蔵
40 合田 清 (生巧館)	独逸皇帝フレデリック三世之肖像『毎日新聞』第 5253 号附録	1888 (明治 21)	木口木版、紙	32.2 × 22.2	個人蔵
41 合田 清 (生巧館)	『東京朝日新聞』第 2125 号附録 円山心挙作品複製	1892 (明治 25)	木口木版、紙	45.2 × 22.3	個人蔵
42 曲田 成	東京築地活版製造所活字見本 (3 点)	1893 (明治 26)	活版、紙	55.6 × 39.7	個人蔵
43 岡村 政子	忠臣義士	1891 (明治 24)	石版、紙	41.5 × 111.5	個人蔵
44 蔵画館	聖皇式拾五年詔勅及憲法文集	1892 (明治 25)	石版、紙	110.0 × 40.8	個人蔵
45 不詳	「宇治川電気株式会社」ポスター	1912 (明治 45・大正元) 頃	石版、紙	78 × 53.5	個人蔵
46 岡村 政子	『時事新報』第 5000 号附録	1897 (明治 30)	石版、紙	48.6 × 33.1	個人蔵
47 北澤 楽天	やまとひめとブリタニヤ『時事新報』第 6689 号附録	1902 (明治 35)	石版、紙	47.9 × 32.7	個人蔵
48 和田 英作	朝日『大阪朝日新聞』第 12494 号附録	1916 (大正 5)	石版、紙	48.3 × 43.6	個人蔵
49 和田 英作	『大阪朝日新聞』第 12555 号附録	1916 (大正 5)	石版、紙	34.5 × 48.3	個人蔵
50 蜷川式胤 (亀井至一、下園熊之助 [画])	『観古図説 陶器之部』 1 ~ 5	1876-77 (明治 9-10)	石版、紙 (冊子)	各: 27.2 × 38.8	個人蔵
51 岩根 豊秀	1937 年カレンダー	1937 (昭和 12)	謄写版、紙	55.3 × 26.4	岩根順子氏寄贈
52 岩根 豊秀	「金亀食堂」ポスター	1932 (昭和 7)	謄写版、紙	55.0 × 39.5	岩根順子氏寄贈
	若山 八十氏ほか「登土会ファイル」より 1964-68 (昭和 39-43) 謄写版・孔版、紙				森田睦氏寄贈
53 若山 八十氏	登土会会則	1964 (昭和 39)	謄写版、紙	19.4 × 17.9	
54 若山 八十氏	登土会会則第 1 回	1964 (昭和 39)	謄写版、紙	15.2 × 18.2	
55 若山 八十氏	夜の旗	1964 (昭和 39)	孔版、紙	17.1 × 15.1	
56 若山 八十氏	孤	1964 (昭和 39)	孔版、紙	17.2 × 15.1	
57 若山 八十氏	海のシリーズ 1	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.2 × 15.2	
58 若山 八十氏	[無題]	1965 (昭和 40) 頃	孔版、紙	17.0 × 15.1	
59 若山 八十氏	鳥の城	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.2 × 15.3	
60 若山 八十氏	石の花	1965 (昭和 40) 頃	孔版、紙	17.2 × 15.2	
61 若山 八十氏	望	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.2 × 15.2	
62 若山 八十氏	支え	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.2 × 15.3	
63 若山 八十氏	盟	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.2 × 15.4	
64 若山 八十氏	はにわのうた	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.6 × 15.8	
65 若山 八十氏	海の中の陽	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.8 × 15.9	
66 若山 八十氏	偶	1964 (昭和 39)	孔版、紙	17.0 × 15.1	
67 若山 八十氏	植物人生	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.2 × 15.1	
68 若山 八十氏	[無題]	1965 (昭和 40) 頃	孔版、紙	17.3 × 15.2	
69 若山 八十氏	[無題]	1965 (昭和 40) 頃	孔版、紙	17.3 × 15.2	
70 若山 八十氏	麗日	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.2 × 15.2	
71 若山 八十氏	[無題]	1965 (昭和 40) 頃	孔版、紙	17.2 × 15.2	
72 若山 八十氏	[無題]	1965 (昭和 40) 頃	孔版、紙	17.2 × 15.1	
73 若山 八十氏	「知床」	1965 (昭和 40) 頃	謄写版、紙	20.0 × 13.0	
74 若山 八十氏	「秋」	1965 (昭和 40) 頃	謄写版、紙	17.6 × 12.5	
75 若山 八十氏	「夜」	1965 (昭和 40) 頃	謄写版、紙	17.8 × 11.2	
76 松岡 敏行	トレド	1969 (昭和 44)	孔版、紙	20.1 × 14.4	
77 平田 博	園	1968 (昭和 43) 頃	孔版、紙	17.3 × 15.1	
78 平田 博	園 II	1968 (昭和 43) 頃	孔版、紙	17.3 × 15.1	
79 平田 博	花園	1967 (昭和 42)	孔版、紙	17.3 × 15.1	
80 遠山 喜栄蔵	露の華	1965 (昭和 40)	孔版、紙	16.9 × 14.9	

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
81	遠山 喜栄蔵	鱗	1965 (昭和 40)	孔版、紙	16.9 × 14.9	
82	遠山 喜栄蔵	古い壁画	1965 (昭和 40)	孔版、紙	16.9 × 14.9	
83	大場 正男	単音	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.3 × 15.1	
84	大場 正男	黙	1964 (昭和 39)	孔版、紙	17.2 × 15.1	
85	大場 正男	甘い訃報	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.1 × 15.2	
86	大場 正男	かれい	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.4 × 15.3	
87	本間 吉郎	暮色	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.3 × 15.5	
88	本間 吉郎	黒の太陽	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.4 × 15.6	
89	本間 吉郎	沼	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.2 × 15.2	
90	塚越 源七	カオスの星	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.0 × 14.9	
91	塚越 源七	裂	1965 (昭和 40)	孔版、紙	17.0 × 15.0	
92	嘉部 弘	気流	1968 (昭和 43)	孔版、紙	22.0 × 14.7	
93	嘉部 弘	[海の華]	1968 (昭和 43)	孔版、紙	16.8 × 13.1	
94	村井 正誠	アカデミア・ベル・アルチ	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	81.0 × 130.6	作者寄贈
95	村井 正誠	パンチュール	1939 (昭和 14)	油彩、板	81.4 × 99.8	作者寄贈
96	村井 正誠	聚落	1941 (昭和 16)	油彩、キャンバス	80.5 × 233.0	作者寄贈
97	野村 耕	迷	1964 (昭和 39)	紙型、顔料、板	121.4 × 91.0	
98	野村 耕	無題	1961 (昭和 36)	紙型、顔料、板	182.1 × 60.0	野村小雪氏寄贈
99	野村 耕	律	1964 (昭和 39)	紙型、カシュー、油彩、板	151.5 × 90.7	
100	三上 誠	環・経絡	1967 (昭和 42)	顔料、紙	120.9 × 179.1	
101	三上 誠	経絡暦	1968 (昭和 43)	顔料、紙、板	170.7 × 121.0	
102	殿敷 侃	日本地図	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン、印刷物	102.0 × 72.7	天野紋子氏寄贈
103	殿敷 侃	不明	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン、新聞紙	182.2 × 81.1 × 3.3	天野紋子氏寄贈
104	加納 光於、大岡 信	アララットの船あるいは空の蜜	1971-72 (昭和 46-47)	木、金属、ガラスほか	68.3 × 44.7 × 23.6	
105	高松 次郎	英語の単語	1970 (昭和 45)	オフセットリトグラフ、紙	39.8 × 40.2	
106	荒川 修作	最後の次に	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、紙	54.7 × 106.0	
107	赤瀬川 原平	『漫画主義』(No.6) ポスター	1969 (昭和 44)	オフセット、紙	51.9 × 37.3	金子光晴氏寄贈
108	横尾 忠則	第 6 回東京国際版画ビエンナーレ展	1968 (昭和 43)	オフセット、紙	107.8 × 75.8	
109	横尾 忠則	TADANORI YOKOO	1965 (昭和 40)	シルクスクリーン、紙	100.4 × 71.5	
110	横尾 忠則	腰巻お仙	1966 (昭和 41)	シルクスクリーン、紙	102.7 × 72.0	
111	横尾 忠則	椿説弓張月	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、紙	103.5 × 73.5	
112	饒 嘯	レインボー北斎 ポジション A	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	89.3 × 134.3	個人蔵
113	荒木 高子	砂の聖書	1983 (昭和 58)	シルクスクリーン、シャモット、砂	18.0 × 64.0 × 46.0	
114	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶	14.0 × 35.0 × 27.0	
115	三島 喜美代	パッケージ	1975 (昭和 50)	シルクスクリーン、陶	49.0 × 22.0 × 17.0	作者寄贈
116	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶	26.0 × 36.5 × 27.0	
117	リキテンシュタイン、ロイ	泣く女	1963 (昭和 38)	オフセットリトグラフ、紙	43.7 × 58.9	滋賀県立近代美術館蔵
118	リキテンシュタイン、ロイ	クラック!(ズドン!)	1964 (昭和 39)	オフセットリトグラフ、紙	47.5 × 68.0	
119	リキテンシュタイン、ロイ	フット・アンド・ハンド	1964 (昭和 39)	オフセットリトグラフ、紙	121.9 × 21.9	滋賀県立近代美術館蔵
120	ウェッセルマン、トム	グレート・アメリカン・ヌード # 6	1961 (昭和 36)	ミクストメディア、コラージュ・ポド	121.9 × 121.9	滋賀県立近代美術館蔵
121	ウォーホル、アンディ	マリリン 10 点	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、紙	各: 91.5 × 91.7	滋賀県立近代美術館蔵
122	ラウシェンバーグ、ロバート	Features from Currents 1 ~ 4	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	各: 89.0 × 89.0	
123	リンク、サイモン	アート・コロニー 1986 年 10 月	1987 (昭和 62)	油彩、キャンバス	182.8 × 182.8 × 3.2	
124	バターソン、サイモン	大熊座	1992 (平成 4)	石版、紙	99.0 × 124.5	
125	クリスト	梱包されたライヒスターク/ベルリンのプロジェクト	1986 (昭和 61)	鉛筆・木炭・バステル・クレヨン、地図・紙	144.7 × 165.4	
126	クルハーネク、オールドジク	法廷	1990 (平成 2)	石版、紙	66.1 × 50.7	和歌山版画ビエンナーレ展実行委員会寄贈
127	クルハーネク、オールドジク	リュージン刑務所 321 房	1990 (平成 2)	石版、紙	66.0 × 50.8	作者寄贈
128	クルハーネク、オールドジク	尋問	1990 (平成 2)	石版、紙	65.9 × 50.6	作者寄贈
129	クルハーネク、オールドジク	密告者の肖像	1990 (平成 2)	石版、紙	65.2 × 49.0	作者寄贈
130	ハルン・ルト、ウィリアム・カール	でかいヤマを追って	1988 (昭和 63)	木版、紙	106.2 × 213.5	作者寄贈
131	チャヴェス、エステバン	知的なエイズ研究のキルト	1992 (平成 4)	銅版、紙	134.9 × 271.5	和歌山版画ビエンナーレ展実行委員会寄贈
132	マクレーン、ブルース	はしご	1986 (昭和 61)	シルクスクリーン、紙(冊子)	28.1 × 27.5 × 1.0	
133	マクレーン、ブルース	お皿の外のスコーン	1990 (平成 2)	シルクスクリーン、手彩色、紙(冊子)	31.0 × 28.6 × 1.4	
134	フルトン、ハミッシュ	NO TALKING FOR SEVEN DAYS	1988 (昭和 63)	印刷、紙(冊子)	22.0 × 18.2 × 0.7	
135	フルトン、ハミッシュ	WEGE UND PFADE	1978 (昭和 53)	印刷、紙(冊子)	24.7 × 34.0 × 1.0	
136	フルトン、ハミッシュ	ONE HUNDRED WALKS	1991 (平成 3)	印刷、紙(冊子)	25.2 × 17.0 × 1.8	
137	小林 敬生	蘇生の刻 S63-12	1989 (平成元)	木口木版・コラージュ、紙	82.5 × 152.0	和歌山版画ビエンナーレ展実行委員会寄贈
138	小林 敬生	蘇生の刻一緑の星・A-	1990 (平成 2)	木口木版・コラージュ、紙	87.0 × 153.5	和歌山版画ビエンナーレ展実行委員会寄贈
139	木村 秀樹	Pencil 2-1	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	26.3 × 35.4	ブリッジ寄贈
140	木村 秀樹	Pencil 2-2	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	26.3 × 28.3	ブリッジ寄贈
141	木村 秀樹	Pencil 2-3	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	26.5 × 23.9	
142	磯辺 行久	パラシュート・プロジェクト	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	180.3 × 88.2	
143	中林 忠良	Position '81・腐蝕 II	1981 (昭和 56)	銅版、紙	44.3 × 65.3	
144	中林 忠良	Position '80・腐蝕 IV	1980 (昭和 55)	銅版、紙	56.2 × 44.5	
145	中林 忠良	Position '77-9	1977 (昭和 52)	銅版、紙	49.3 × 49.2	
146	村井 正誠	母と子	1956 (昭和 31)	シルクスクリーン、紙	51.2 × 38.0	作者寄贈
147	村井 正誠	女の顔	1956 (昭和 31)	シルクスクリーン、紙	57.5 × 36.0	村井伊津子氏寄贈
148	村井 正誠	風	1962 (昭和 37)	石版、紙	64.0 × 52.0	
149	村井 正誠	夜の人	1964 (昭和 39)	石版、紙	61.5 × 48.0	村井伊津子氏寄贈
150	神崎 智子	Scrap Book (雑記帳)	2009 (平成 21)	謄写版、紙	58.0 × 83.5	個人蔵
151	李 禹煥	関係項-A	1979 (昭和 54)	木版、紙	59.8 × 80.8	

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
152	李 禹煥	関係項-B	1979 (昭和 54)	木版、紙	60.0 × 80.8	
153	吉原 英雄	二つの地平A	1988 (昭和 63)	石版、紙	218.0 × 122.4	
154	吉原 英雄	二つの地平B	1988 (昭和 63)	石版、紙	219.5 × 123.5	
155	横尾 忠則	MAJOR ARCANA	1985 (昭和 60)	石版、紙	235.0 × 198.8	堀内俊男氏寄贈
	太田 三郎	POST WAR 66 戦災痕 1 ~ 20	2011 (平成 23)	レーザープリント、紙	各 : 28.8 × 15.7	田中恒子氏寄贈
156		1 田町橋 北区中央町				
157		2 蔭涼寺石塔 北区中央町				
158		3 蔭涼寺水鉢 北区中央町				
159		4 大雲寺灯籠 北区表町				
160		5 光乗院百度石 北区東中央町				
161		6 蓮昌寺頌徳碑 北区田町				
162		7 蓮昌寺題目石 北区田町				
163		8 蓮昌寺法華塔 北区田町				
164		9 金刀比羅神社狛犬 北区野田屋町				
165		10 金刀比羅神社灯籠 北区野田屋町				
166		11 旧南方小煉瓦塀 北区南方				
167		12 本行寺山門 北区蕃山町				
168		13 岡山神社灯籠 北区石関町				
169		14 岡山城石山門跡 北区丸の内				
170		15 春日神社玉垣 北区七日市西町				
171		16 大福寺大地蔵 中区御成町				
172		17 浄教寺山門 中区御成町				
173		18 玉井宮鳥居 中区東山				
174		19 玉井宮狛犬 中区東山				
175		20 玉井宮本殿屋根 中区東山				



ポスター



チラシ表



チラシ裏



展示風景



## 2-2. 企画展「なつやすみの美術館8 タイムトラベル」

会 期： 2018 (平成 30) 年 7 月 7 日 (土) ～ 9 月 2 日 (日)

会 場： 展示室 C (2 階)

主 催： 和歌山県立近代美術館

内 容： 学校教育と連携し、夏休み中の子供たちが積極的に美術館を訪れ、また子供と大人と一緒に美術館のおもしろさに触れられるように開催する展示会の 8 回目。定着してきたシリーズをさらに進化させ、作家・柴川敏之氏の協力により出品作品とワークショップを充実させた。また学校教員との研究会を開催して指導方法を検討し、ワークシートを作成して学校での宿題等に活用した。さらに大学生によるギャラリートーク等を実施した。

展 示 点 数： 42 作家 75 点

担当学芸員： 奥村泰彦

関 連 事 業： ・ギャラリートーク

日時：7月8日(日) 4名、7月16日(月) 15名、9月2日(日) 3名 いずれも14:00～15:00 奥村泰彦

・だれでも美術館部

日時：8月11日(土) 15名、8月19日(日) 8名 いずれも14:00～15:00 青木加苗

・たまごせんせいと「わくわくアートツアー」(和歌山大学学生による鑑賞ツアー)

日時：8月14日(火)～18日(土)、8月21日(火)～23日(木) \*23日は台風のため中止

各日3回計120名、11:00～12:00、13:30～14:30、15:00～16:00

・ワークショップ「2000年後の和歌山を発掘しよう！」

日時：8月19日(日) 20名 13:00～16:00

会場：アプローチプラザ(屋外)

講師：柴川敏之(美術家・就実短期大学教授)

主催：和歌山県・一般財団法人和歌山県文化振興財団

企画・運営協力：NPO和歌山芸術文化支援協会(wacss)

・こども美術館部「バック・トゥ・ザ・???」

日時：8月25日(土) 6名 11:00～11:45 青木加苗

制 作 物： ・ポスター(B2判、オフセット印刷)

・チラシ(A4判、オフセット印刷)

・ワークシート3種(小学生版、中学生版、高校生版)

・和歌山大学学生サークル「美術館部」によるワークシート

・出品目録(A4判12頁)

・出品作家解説(A4判10頁)

・プレスリリース(A4判3頁)

・英語版概要(A4判1頁)

入 場 料 金： 一般510円(410円)、大学生300円(250円) ( )内は20名以上の団体料金 高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第4土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫： 様々な観点から作品への接近を行えるよう10のテーマを設け、宇宙的な長い時間から身近な時間へと展示を構成した。また簡易な作品の解説とともに、作家解説も準備して一般的な知識への要求にも応えた。

自己評価・課題・改善案： 2000年後の現在をテーマに制作している柴川敏之氏の協力を得て、ワークショップを開催するとともに、作品を出品いただいたことで、展示に広がりを持たせることができた。館蔵作品を中心とする展示であるが、新しい角度からの視点を得るために、今後も続けて作品の借用ができることが望まれる。また展示会図録を作ることも求められる。

関 連 記 事： ・「artist message「2000年後に発掘された現代社会」をテーマに作品を作り続ける 現代美術家 柴川敏之さん」『ワカピー』5・6月号 vol.79、2018年5月発行、p.2

・「和歌山県立近代美術館 なつやすみの美術館8 タイムトラベル」『わかやま探検ミュージアム』8・9月号 vol.48、2018年8月1日発行、p.4

・「人生や歴史…「時間」表現 県立近代美術館で企画展」『産経新聞』2018年8月12日、20面

・「芸術作品通じタイムトラベル 県立近代美術館 絵画や彫刻75点展示」『読売新聞』2018年8月18日、26面

・「缶バッジをもらおう 県立5館スタンプラリー」『わかやま新報』2018年8月19日、6面

情 報 掲 載： ・「ミュージアム 和歌山県立近代美術館 企画展「なつやすみの美術館8 タイムトラベル」」『紀州浪漫』夏号 Vol.65、2018年6月1日発行、p.19

・「和歌山県立近代美術館便り ◎なつやすみの美術館8 タイムトラベル」『ワカピー』7・8月号 vol.80、2018年7月発行、p.7

・「art 和歌山県立近代美術館 なつやすみの美術館8 タイムトラベル」『NATTS』2018年7月号、p.16

・「展示イベント 県立近代美術館 企画展 なつやすみの美術館8「タイムトラベル」」『耀く!紀の国の教育』第39号、2018年7月号、p.5

・「展示4 なつやすみの美術館8」『ニュース和歌山』2018年7月7日、6面

・「展示4 なつやすみの美術館8」『ニュース和歌山プラス』vol.17、2018年7月9日、9面

・「展示会 なつやすみの美術館8 タイムトラベル 和歌山県立近代美術館」『電車&ウォーク』8月号、2018年8月発行、p.5

### 「なつやすみの美術館8 タイムトラベル」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
イントロダクション ようこそ、時間の旅へ						
1	柴川敏之	2000年後に発掘された招き猫の化石	2004(平成16)頃	ミクストメディア	18.0×13.5×9.0	個人蔵
1.宇宙の時間への旅						
2	吹田文明	銀河の創世	1982(昭和57)	木版、紙	68.5×60.0	作者寄贈

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
3	吹田 文明	赤い星	1983 (昭和 58)	木版、紙	68.1 × 59.5	作者寄贈
4	吹田 文明	宇宙華	1998 (平成 10)	木版、紙版、紙	87.8 × 60.0	作者寄贈
5	建島 覚造	星の樹 2	1961 (昭和 36)	ポリエステル、鉄	245.0 × 70.2 × 50.0	
6	クラールベ、アントニ	星	1967 (昭和 42)	銅版、紙	49.6 × 69.2	西本伊都子氏寄贈
7	野村 仁	落下の瞬間に	1996 (平成 8)	隕石	206 × 100.0 × 10.0	田中恒子氏寄贈
8	加納 光於	星・反芻学	1962 (昭和 37)	インタリオ、紙	42.2 × 37.6	
9	加納 光於	星・反芻学	1962 (昭和 37)	インタリオ、紙	45.2 × 42.3	
10	深沢 幸雄	星の門	1972 (昭和 47)	銅版、紙	74.0 × 49.7	作者寄贈
<b>2. 自然の時間への旅</b>						
11	アックリング、ロジャー	ノーフォーク	1988 (昭和 63)	木、太陽光線	69.2 × 5.0 × 3.9	
12	アックリング、ロジャー	潮岬	1996 (平成 8)	木、太陽光線	29.2 × 17.6 × 1.0	作者寄贈
13	ゴールズワージー、アンディ	注意深く一部をやぶった栗の葉 / 大内山村 / 1987年11月15日	1987 (昭和 62)	写真	95.5 × 50.4	
<b>3. 歴史の時間への旅</b>						
14	中村 不折	白頭翁	1907 (明治 40)	油彩、キャンバス	200.2 × 136.6	個人蔵
15	白髪 一雄	平治元年十二月二十六日	1966 (昭和 41)	油彩、キャンバス	273.0 × 363.8	
16	宇佐美 圭司	鏡像展開 No.1	2003 (平成 15)	水彩、紙	109.0 × 109.0	個人蔵
<b>4. 人間の時間への旅</b>						
17	工藤 哲巳	未来と過去の間での遺伝染色体による綾取り	1979 (昭和 54)	ミクストメディア	45.5 × 45.0 × 15.0	
18	保田 龍門	風景	1918 (大正 7)	油彩、キャンバス	46.0 × 60.8	保田春彦氏寄贈
19	川口 軌外	顔	1918 (大正 7)	油彩、板	15.4 × 22.4	山田拓平氏寄贈
20	川口 軌外	花と少女	1938 (昭和 13)	油彩、キャンバス	117.1 × 91.2	
21	吉田 政次	箱入り娘 No.1	1968 (昭和 43)	木版、紙	74.1 × 56.8	
22	吉田 政次	ミニとデモの時代 No.1	1968 (昭和 43)	木版、紙	86.8 × 72.0	吉田敦子氏寄贈
23	池田 良二	Ancestors	1980 (昭和 55)	銅版、紙	44.4 × 25.3	作者寄贈
24	呉 探鉉	家系図 9625	1996 (平成 8)	石、電球	85.0 × 24.0 × 13.5	田中恒子氏寄贈
25	建島 覚造	祖	1958 (昭和 33)	木、セメント	124.0 × 37.5 × 37.5	作者寄贈
26	清原 啓子	誕生・MAIKO・12月	1983 (昭和 58) / 1988 (昭和 63) 歿後刷	銅版、紙	15.2 × 11.6	
27	森口 宏一	ポツティチェリ・ヴィナスの誕生・より	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、アクリル板他	87.9 × 134.4 × 12.0	作者寄贈
28	橋本 真之	発生期の頃	1994 (平成 6)	銅 (鍍金)	34 × 48 × 32	田中恒子氏寄贈
<b>5. 時間そのものへの旅</b>						
29	今村 輝久	'88 封じられた時限 6	1988 (昭和 63)	アルミニウム	26.0 × 40.0 × 40.0	今村源氏寄贈
30	今村 輝久	'89 封じられた時限 4	1989 (平成元)	アルミニウム	54.0 × 13.0 × 54.0	今村源氏寄贈
31	今村 輝久	'90 封じられた時限 1	1990 (平成 2)	アルミニウム	130.0 × 75.0 × 50.0	今村源氏寄贈
32	長谷川 潔	時・静物画	1969 (昭和 44)	銅版、紙	26.5 × 35.8	
33	黒崎 彰	時の軌跡	1981 (昭和 56)	木版、紙	79.7 × 55.1	
34	津高 和一	アシタハキノウニナル	1964 (昭和 39)	油彩、キャンバス	193.0 × 129.8	
35	小林 清子	歪んだ時刻	1981 (昭和 56)	石版、紙	43.0 × 64.9	
36	小林 清子	逆行する時刻	1981 (昭和 56)	石版、紙	64.9 × 42.2	
37	小林 清子	屈折する時刻	1981 (昭和 56)	石版、紙	44.0 × 65.0	
38-40	山本 桂右	光・時間・静寂 No. 6, 7, 5	1995 (平成 7)	石版、紙	59.9 × 85.0	作者寄贈
41	パラモデル	パラモデリック・グラフィティ (沢田マンションの屋上庭園)	2007 (平成 19)	ラムダプリント	120.0 × 100.0	田中恒子氏寄贈
42	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	162.3 × 130.7	
<b>6. つくる時間への旅</b>						
43-44	北辻 良央	WORK (Cézanne) I・II	1978 (昭和 53)	銅版、紙	19.2 × 15.0	
45-46	北辻 良央	WORK (Gogh) I・II	1978 (昭和 53)	銅版、紙	19.9 × 15.5	
47-48	北辻 良央	WORK (Gauguin) I・II	1978 (昭和 53)	銅版、紙	20.8 × 15.0	
49	孫 雅由	現前 OC78 - 01	1978 (昭和 53)	油彩、木炭、麻布	194.0 × 130.5	櫻井和子氏寄贈
<b>7. おわる時間への旅</b>						
50	高橋 秀	APOCALISSE 黙示録	1979-80 (昭和 54-55)	アクリル絵具、キャンバス	201.0 × 339.7	
51	深沢 幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より マストロ・アダモ	1957 (昭和 32)	銅版、紙	35.9 × 30.0	作者寄贈
52	深沢 幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より プルネット・ラティエニ	1956 (昭和 31)	銅版、紙	35.8 × 28.9	
53	上野 憲男	ノアの舟―曳航―	1990 (平成 2)	水彩、紙	38.0 × 56.2	田中恒子氏寄贈
54	加納 光於、大岡 信	アララットの船あるいは空の蜜	1971-72 (昭和 46-47)	木、金属、ガラスほか	68.3 × 44.7 × 23.6	
55	小清水 漸	アララットの舟	2000 (平成 12) 頃	銅、医師	26.0 × 46.5 × 9.3	田中恒子氏寄贈
56	福沢 一郎	鬼も忙し地獄の整地	1974 (昭和 49)	油彩、キャンバス	182.0 × 227.4	
57	高井 貞二	リンネ (輪廻)	1959 (昭和 34)	油彩、キャンバス	137.5 × 174.9	作者寄贈
<b>8. のこる時間への旅</b>						
58-64	李禹煥	版画集『廃墟へ』 1-7	1986 (昭和 61)	銅版、紙	49.7 × 39.4	
65	山本 正道	遺跡の見える風景	1976 (昭和 51)	ブロンズ	22.5 × 96.5 × 40.5	
66	高原 洋一	GEOMETRIC NARCISSUS AX	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、紙	95.0 × 141.8	徳島県立文化芸術振興委員会蔵
67	柴川 敏之	出現 II. 40041111 (2000年後に発掘された絵画の化石:セザンヌ)	2004 (平成 16) 頃	ミクストメディア、木、キャンバス	66.5 × 73.5 × 7.5	個人蔵
68	柴川 敏之	出現 II. 40041111 (2000年後に発掘された絵画の化石:モネ)	2004 (平成 16) 頃	ミクストメディア、木、キャンバス	84.0 × 96.5 × 9.0	個人蔵
69	柴川 敏之	出現 II. 40041111 (2000年後に発掘された絵画の化石:ルノワール)	2004 (平成 16) 頃	ミクストメディア、木、キャンバス	51.0 × 42.0 × 6.0	個人蔵
70	柴川 敏之	PLANET BOX I (2000年後に発掘された学用品の化石)		ミクストメディア		個人蔵
71	柴川 敏之	PLANET BOX II (2000年後に発掘された日用品の化石)		ミクストメディア		個人蔵
72	長岡 國人	ISEKI/PY XVII	1978 (昭和 53)	銅版、紙	39.4 × 49.5	作者寄贈
73	長岡 國人	ISEKI/PY XVIII	1978 (昭和 53)	銅版、紙	39.7 × 49.8	作者寄贈
<b>9. ちょっと先の時間への旅</b>						
74	吉原 英里	秋のノート・収穫の記録	2004 (平成 16)	油彩、銅版、紙、寒冷紗、綿布	162.1 × 260.6	作者寄贈
75	加納 光於	《まなざし―疼く飛沫を連れ》九月	1989 (平成元)	油彩、キャンバス	194.0 × 130.2	



ポスター



チラシ表



チラシ裏

**参加者募集**

## アート・ワークショップ

### 2000年後の和歌山を築こう!

北沢啓一 展川 新文化展

和歌山県立近代美術館「なつやすみの美術館」MOMAW Summer Museum Project #8「タイムトラベル」展の企画、制作、実施に協力するアート・ワークショップです。参加者一人ひとりが、未来の和歌山を、そして自分たちの未来の和歌山を築いていきます。2000年後の和歌山を築こうというテーマで、アート・ワークショップを開催します。2000年後の和歌山を築こうというテーマで、アート・ワークショップを開催します。

● 対象 小学生、中学生、高校生、大学生、社会人

● 開催日時 2018年7月7日(土) 10:00-12:00

● 会場 和歌山県立近代美術館 和歌山近代美術館 2F

● 参加費 無料

● 定員 10名程度

● 申込方法 申込書と写真(2枚)を提出してください。

● 申込期間 2018年6月25日(火)まで

● 申込先 和歌山県立近代美術館 企画課

● 申込先 和歌山県立近代美術館 企画課

ワークショップチラシ

時間をたのしもう!

## タイムトラベル

2000年後の和歌山を築こう!

アート・ワークショップ

2000年後の和歌山を築こうというテーマで、アート・ワークショップを開催します。

● 対象 小学生、中学生、高校生、大学生、社会人

● 開催日時 2018年7月7日(土) 10:00-12:00

● 会場 和歌山県立近代美術館 和歌山近代美術館 2F

● 参加費 無料

● 定員 10名程度

● 申込方法 申込書と写真(2枚)を提出してください。

● 申込期間 2018年6月25日(火)まで

● 申込先 和歌山県立近代美術館 企画課

ワークシート小学生 表紙

2. 未来の和歌山を築こう!

未来の和歌山を築こうというテーマで、アート・ワークショップを開催します。

● 対象 小学生、中学生、高校生、大学生、社会人

● 開催日時 2018年7月7日(土) 10:00-12:00

● 会場 和歌山県立近代美術館 和歌山近代美術館 2F

● 参加費 無料

● 定員 10名程度

● 申込方法 申込書と写真(2枚)を提出してください。

● 申込期間 2018年6月25日(火)まで

● 申込先 和歌山県立近代美術館 企画課

ワークシート小学生 中面

3. 未来の和歌山を築こう!

未来の和歌山を築こうというテーマで、アート・ワークショップを開催します。

● 対象 小学生、中学生、高校生、大学生、社会人

● 開催日時 2018年7月7日(土) 10:00-12:00

● 会場 和歌山県立近代美術館 和歌山近代美術館 2F

● 参加費 無料

● 定員 10名程度

● 申込方法 申込書と写真(2枚)を提出してください。

● 申込期間 2018年6月25日(火)まで

● 申込先 和歌山県立近代美術館 企画課

ワークシート小学生 裏表紙

2000年後の和歌山を築こう!

## タイムトラベル

アート・ワークショップ

2000年後の和歌山を築こうというテーマで、アート・ワークショップを開催します。

● 対象 小学生、中学生、高校生、大学生、社会人

● 開催日時 2018年7月7日(土) 10:00-12:00

● 会場 和歌山県立近代美術館 和歌山近代美術館 2F

● 参加費 無料

● 定員 10名程度

● 申込方法 申込書と写真(2枚)を提出してください。

● 申込期間 2018年6月25日(火)まで

● 申込先 和歌山県立近代美術館 企画課

ワークシート中学生 表紙

1. 「自然の時間への思い」より

2. 「自然の時間への思い」より

3. 「自然の時間への思い」より

4. 「自然の時間への思い」より

5. 「自然の時間への思い」より

ワークシート中学生 中面

5. タイムトラベルに込めよう

タイムトラベルに込めようというテーマで、アート・ワークショップを開催します。

● 対象 小学生、中学生、高校生、大学生、社会人

● 開催日時 2018年7月7日(土) 10:00-12:00

● 会場 和歌山県立近代美術館 和歌山近代美術館 2F

● 参加費 無料

● 定員 10名程度

● 申込方法 申込書と写真(2枚)を提出してください。

● 申込期間 2018年6月25日(火)まで

● 申込先 和歌山県立近代美術館 企画課

ワークシート中学生 裏表紙

君の名は。

5. 「自然の時間への思い」より

6. 「自然の時間への思い」より

ワークシート高校生以上 表紙

1. 「2章 自然の時間への思い」より

2. 「3章 人間の時間への思い」より

3. 「4章 人間の時間への思い」より

4. 「5章 人間の時間への思い」より

5. 「6章 人間の時間への思い」より

ワークシート高校生以上 中面

6. 「自然の時間への思い」より

7. 「自然の時間への思い」より

8. 「自然の時間への思い」より

9. 「自然の時間への思い」より

10. 「自然の時間への思い」より

ワークシート高校生以上 裏表紙



展示風景



ワークスペース

## 2-3. 企画展「和歌山—日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる」

会 期： 2018 (平成 30) 年 9 月 8 日 (土) ～ 10 月 20 日 (日)

会 場： 展示室 C (2 階)

主 催： 和歌山県立近代美術館

助 成： 公益財団法人 三菱信託地域文化財団

内 容： 和歌山県立近代美術館は、コレクションの柱として、まず和歌山県の「郷土作家コレクション」を掲げている。日本画の下村観山や川端龍子、洋画の川口軌外や村井正誠、版画の恩地孝四郎や浜口陽三、そして彫刻の建畠大夢・覚造親子などをはじめ、和歌山の「郷土作家」がすなわち、わが国美術界を代表する例も数多い。こうした事実をあらためて紹介し、「和歌山—日本」の視点から近代美術の再考を試みて、同時に県立の近代美術館として有数の規模を誇る当館コレクションのその意義を再確認した。

展 示 点 数： 23 作家 83 点

担当学芸員： 山野英嗣 (館長)

関 連 事 業： ・フロアレクチャー

日時：9月8日(土) 30名 15:00～16:00、9月29日(土) 4名 14:00～15:00、10月20日(土) 10名 14:00～15:00 山野英嗣

・だれでも美術館部

日時：10月8日(月・祝) 4名 14:00～15:00 青木加苗

・こども美術館部「つなひきだいさくせん」

日時：10月13日(土) 9名 11:00～11:45 青木加苗

・上映会 + シンポジウム「近代の文化遺産を守る—寂光院とその襖絵を中心に—」

日時：10月14日(日) 70名 14:00～16:30 (当初予定していた9月30日(日)の開催日を台風の接近に伴い変更)

協力：和歌山県立博物館、和歌山市立博物館

パネリスト：近藤壮 (和歌山市立博物館館長)、中西重裕 (建築家・和歌山県ヘリテージマネージャー)、藤本真名美 (当館学芸員)、前田正明 (和歌山県立博物館主任学芸員)、御船達雄 (和歌山県教育庁文化遺産課主査)

制 作 物： ・ポスター (B2 判、オフセット印刷)

・チラシ (A4 判、オフセット印刷)

・出品目録 (A4 判 4 頁)

・プレスリリース (A4 判 3 頁)

・英語版概要 (A4 判 1 頁)

入 場 料 金： 一般 510 円 (410 円)、大学生 300 円 (250 円) ( ) 内は 20 名以上の団体料金 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫： 和歌山県立近代美術館の代表的な収蔵品を「序章：近代美術館の使命 - 新たな表現を求めて」「I：近代洋画に見る「和歌山 - 日本」」「II：日本画に見る「和歌山 - 日本」」「III：版画に見る「和歌山 - 日本」」「IV：抽象表現に見る「和歌山 - 日本」」「V：彫刻に見る「和歌山 - 日本」という 6 つの章により展示し、和歌山の近代美術が日本の動向の一面を物語る存在感を示していることを再考する機会とした。兵庫県立近代美術館が兵庫県立美術館にその名称を変更した際に、建物から取り外された「近代」の文字部分を展示するなど、近代美術館の位置づけについても問題提起した。また、会期中に和歌山県内の文化財関係者によって解体寸前の寺院・寂光院から救出された、黒住章堂の襖絵を展示し、会期中には救出に携わった関係者によるシンポジウムも開催した。

自己評価・課題・改善案： 寂光院のシンポジウムが契機となり、作家の遺族が判明したほか、作者の故郷にある岡山県立美術館での「黒住章堂展」や同館への寄託へとつながった。また特別出品として、竣工 80 年記念となる和歌山県庁竣工時建築図面を紹介した事をきっかけに、展覧会終了後、関係者によるシンポジウムの開催にも発展し (詳細は 51 頁、和歌山県庁舎建設 80 周年記念シンポジウム「和歌山県庁舎をつくった人びと」を参照)、図面の今後のよりよい環境下での保管について関係者間で協議が始まっている。

関 連 記 事： ・「和歌山—日本 和歌山から近代美術、そして近代美術館を見つめる」『月刊ギャラリー』9月号、通巻 401号、2018年9月1日発行、p.51

・「県ゆかりの作家紹介 県立近代美術館で企画展」『毎日新聞』2018年9月20日、25面

情 報 掲 載： ・「展示 1 企画展「和歌山—日本」」『ニュース和歌山』2018年8月25日、8面

・「和歌山県立近代美術館便り ◎和歌山—日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる」『ワカビー』9・10月号

vol.81、2018年9月発行、p.7

・「art 和歌山県立近代美術館 和歌山—日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる」『NATTS』2018年9月号、p.16

・「ミュージアム 和歌山県立近代美術館 企画展「和歌山—日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる」」『紀州浪漫』秋号 Vol.66、2018年9月1日発行、p.19

### 「和歌山—日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
序章：近代美術館の使命—新たな表現を求めて						
1	恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.0 × 33.3	恩地邦郎氏寄贈
2	恩地 孝四郎	[失題]	1914 (大正 3) 頃	木版、紙		
3	恩地 孝四郎	港屋展覧会ポスター	1914 (大正 3)	木版、紙	58.4 × 24.2	
4	恩地 孝四郎	そらよりくだるかげ (公刊『月映』IV)	1915 (大正 4)	木版、紙、冊子	2.4 × 10.7	
5	恩地 孝四郎	抒情「苦悩のうちに光る」 (公刊『月映』V)	1915 (大正 4)	木版、紙、冊子	13.6 × 8.4	

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
6	恩地 孝四郎	抒情『あかるい時』(公刊『月映』V)	1915 (大正 4)	木版、紙	13.6 × 9.8	
7	恩地 孝四郎	抒情「相信するころ」(公刊『月映』VI)	1915 (大正 4)	木版、紙、冊子	13.4 × 9.7	
8	恩地 孝四郎	抒情五種—わかれとのぞみと— [1](公刊『月映』VII)	1915 (大正 4)	木版、紙、冊子	15.3 × 12.1	
9	恩地 孝四郎	母と子	1917 (大正 6) 頃	木版、紙	32.8 × 24.0	
10	恩地 孝四郎	人体考察 No.5	1924 (大正 13) 頃	木版、紙	12.4 × 14.3	
11	恩地 孝四郎	サーカス (ハーゲンベック・サーカスの印象)	1933 (昭和 8)	木版、紙	44.3 × 34.1	
12	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情ドリュッシー「金色の魚」	1950 (昭和 25)	木版、紙	29.3 × 14.5	
13	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情ドリュッシー「小さい羊飼」	1950 (昭和 25)	紙版、木版、紙	24.2 × 17.1	
14	恩地 孝四郎	コンポジション	1953 (昭和 28)	石版、紙	46.0 × 30.1	
15	カンディンスキー、ワシリー	『響き』22 即興 20	1911 (明治 44)	木版、紙	6.9 × 7.8	
16	カンディンスキー、ワシリー/マルク、フランツ	『青騎士』復刻版	1912(大正元)/1976(昭和51) 復刻			個人蔵
17	村山 知義	『カンディンスキー』(アルス美術叢書)	1925 (大正 14)			個人蔵
<b>I:近代洋画に見る「和歌山—日本」</b>						
18	神中 糸子	海岸風景	1888-92 (明治 21-25)	油彩、キャンバス	38.0 × 80.4	神中茂次氏寄贈
19	神中 糸子	妙義山之秋	1918 (大正 7)	油彩、キャンバス	73.0 × 100.4	
20	保田 龍門	自画像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	60.9 × 50.2	
21	木下 孝則	後向の裸女の習作	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	100.1 × 80.3	木下米氏寄贈
22	碓 伊之助	プザンソン風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	50.1 × 60.8	小島善太郎氏寄贈
23	高井 貞二	感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7 × 91.0	作者寄贈
24	石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4 × 91.2	
25	石垣 栄太郎	ポーナス・マーチ	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	145.4 × 107.0	石垣綾子氏寄贈
26	石垣 栄太郎	K.K.K.	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	76.8 × 91.6	石垣綾子氏寄贈
27	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画(「奴隷解放」の部分)	1938 (昭和 13) 頃	油彩、キャンバス	112 × 109	
<b>II:日本画に見る「和歌山—日本」</b>						
28	下村 観山	寿老下図	1920 (大正 9)	墨、紙	116.4 × 49.8	下村キク氏寄贈
29	下村 観山	寿老	大正末~昭和初期	顔料、墨、紙	144.0 × 56.5	
30	日高 昌克	巖峰図	1953 (昭和 28)	墨、紙	56.2 × 27.1	青木正夫氏寄贈
31	日高 昌克	秋山空明図	1957 (昭和 32)	墨、彩色、紙	42.0 × 45.8	青木正夫氏寄贈
32	川端 龍子	椿紅白	1919 (大正 8)	顔料、絹	135.5 × 23.5 左 /135.5 × 23.5 右	
33	川端 龍子	雷雨	1936 (昭和 11)	顔料、墨、絹、二曲一双屏風	各 172.5 × 170.2 (一隻)	
34	川端 龍子	狩人の幻想	1948 (昭和 23)	顔料、紙	239.8 × 721.6	
35	野長瀬 晩花	島の女	1916 (大正 5) 頃	顔料、絹	145.1 × 51.7	
36	野長瀬 晩花	舞妓図	1923 (大正 12) 頃	顔料、絹	30.2 × 32.5	
37	山口 八九子	月見草と少女	1912 (大正元) 頃	顔料、絹	171.8 × 65.6	山口由季子氏寄贈
38	稗田 一穂	幻想那智	1979 (昭和 54)	顔料、紙	212.4 × 169.7	
39	黒住 章堂	竹虎図	1935 (昭和 10)	紙本着色	各 177.7 × 91.7 (4 面) /各 178.0 × 67.5 (4 面)	寂光院
40	黒住 章堂	孔雀牡丹図	1935 (昭和 10)	紙本着色	各 177.7 × 91.7 (4 面)	寂光院
41	黒住 章堂	山水図	1935 (昭和 10)	紙本着色	各 177.7 × 91.7 (4 面)	寂光院
<b>III:版画に見る「和歌山—日本」</b>						
42	田中 恭吉	太陽と花	1914 (大正 3)	木版、紙	17.8 × 11.7	恩地邦郎氏寄贈
43	田中 恭吉	死の支配者の微笑	1914 (大正 3)	木版、紙	22.8 × 15.5	恩地邦郎氏寄贈
44	田中 恭吉	[失題]	1914 (大正 3) 頃	木版、紙	18.9 × 9.9	恩地邦郎氏寄贈
45	田中 恭吉	焦心(私輯『月映』II)	1914 (大正 3)	木版、紙	20.9 × 10.0	恩地邦郎氏寄贈
46	田中 恭吉	五月の呪(私輯『月映』IV)	1914 (大正 3)	木版、紙	15.7 × 10.7	恩地邦郎氏寄贈
47	田中 恭吉	ひそめるもの。(公刊『月映』II)	1914 (大正 3)	木版、紙	20.5 × 15.2	坂田文治氏寄贈
48	浜口 陽三	永代橋	1951 (昭和 26)	メゾチント、紙	8.8 × 10.7	
49	浜口 陽三	洋梨とぶどう	1951 (昭和 26)	ドライポイント、メゾチント、紙	26.5 × 36.0	
50	浜口 陽三	ジプシー	1954 (昭和 29)	メゾチント、紙	28.7 × 28.7	
51	浜口 陽三	パリの屋根	1956 (昭和 31)	カラーメゾチント、紙	18.5 × 18.5	
52	浜口 陽三	緑のぶどう	1958 (昭和 33)	カラーメゾチント、紙	24.4 × 19.4	
53	浜口 陽三	黒いさくらんぼ	1963 (昭和 38)	カラーメゾチント、紙	34.3 × 29.4	
<b>IV:抽象表現に見る「和歌山—日本」</b>						
54	川口 軌外	バリノートルダム寺院	1919-23 (大正 8-12)	油彩、板	23.6 × 33.0	山田拓平氏寄贈
55	川口 軌外	水差しのある静物	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	80.0 × 65.7	川口京村氏寄贈
56	川口 軌外	裸婦群像	1925 (大正 14) 頃	油彩、キャンバス	88.2 × 94.1	川口京村氏寄贈
57	川口 軌外	写像	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	115.9 × 81.5	川口京村氏寄贈
58	川口 軌外	黄壁	1927-29 (昭和 2-4)	油彩、キャンバス	59.8 × 73.4	川口京村氏寄贈
59	川口 軌外	バナナのある静物	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	91.1 × 73.0	川口京村氏寄贈
60	川口 軌外	花	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	116.8 × 90.8	川口京村氏寄贈
61	川口 軌外	月夜の雪景	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	92.3 × 65.8	
62	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3 × 267.2	
63	川口 軌外	[潮岬]	1965 (昭和 40) 頃	油彩、キャンバス	52.5 × 45.6	橋本重治氏寄贈
64	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	112.2 × 194.2	
65	村井 正誠	パンチュール	1939 (昭和 14)	油彩、板	81.4 × 99.8	作者寄贈
66	村井 正誠	形象 A	1939 (昭和 14)	油彩、板	89.4 × 145.8	作者寄贈
67	村井 正誠	聚落	1941 (昭和 16)	油彩、キャンバス	80.5 × 233.0	作者寄贈
68	村井 正誠	百霊廟	1942 (昭和 17)	油彩、キャンバス	91.0 × 116.5	作者寄贈
69	村井 正誠	黒い線	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	193.8 × 259.3	

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
<b>V：彫刻に見る「和歌山—日本」</b>						
70	建島 大夢	感に打たれた女	1932 (昭和7) / 铸造年不詳 (生前铸造)	ブロンズ	高さ 161.0	
71	建島 大夢	少女胸像	昭和前期	大理石	46.0 × 36.0 × 24.5	建島覚造氏寄贈
72	保田 龍門	少女	1925 (大正 14)	ブロンズ	高さ 173.5	
73	保田 龍門	うずくまる女	1947 (昭和 22)	ブロンズ	36.0 × 24.0 × 13.0	保田淳子氏寄贈
74	保田 龍門	鳩を持つ女	1949 (昭和 24)	ブロンズ	82.0 × 18.0 × 24.0	保田淳子氏寄贈
75	建島 覚造	CLOUD 5 (大)	1980 (昭和 55)	木	134.0 × 110.0 × 80.0	
76	建島 覚造	CLOUD 4 (大)	1981 (昭和 56)	ジュラルミン	90.0 × 70.0 × 12.0	
77	保田 春彦	父の像	1951 (昭和 26) / 2013 (平成 25)	ブロンズ	65 × 53 × 28	
78	保田 春彦	トルソ	1955 (昭和 30)	セメント	102.8 × 47.8 × 36.5	
79	保田 春彦	赤錆の門	1978 (昭和 53)	鉄	25 × 176 × 25 右 / 25 × 176 × 25 左	
<b>◎特別出品</b>						
80	和歌山県庁竣工時設計図面 (正面及北側立面図ほか計 5 面)		1936 (昭和 11)	青焼き	77.0 × 108.0	和歌山県
81	保田 龍門 丹生都比売命—紀北古事記— (和歌山県庁壁画レリーフ習作)		1939 (昭和 14)	石膏	49.5 × 49.5 × 3.5	保田春彦氏寄贈
82	保田 龍門 高倉下命—紀南古事記— (和歌山県庁壁画レリーフ習作)		1939 (昭和 14)	石膏	51.0 × 57.5 × 3.2	保田春彦氏寄贈



ポスター



チラシ表



チラシ裏



展示風景



## 3-1. コレクション展 2018—春夏

会 期：2018(平成30)年4月28日(土)～7月8日(日)

会 場：展示室A(1階)

主 催：和歌山県立近代美術館

内 容：所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示した。

展 示 点 数：57作家98点(院展の画家たちII 9作家19点)

担当学芸員：井上芳子

関 連 事 業：・フロアレクチャー(「特集「庭園の眺め 高橋力雄の木版画」/特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちII」を含む)

日時：5月3日(木)20名 井上芳子、藤本真名美、6月9日(土)6名 藤本真名美、7月1日(日)12名 井上芳子、藤本真名美  
いずれも14:00～15:00

・こども美術館部「絵にとびこむぞ!」

日時：6月16日(土)7名11:00～11:45 青木加苗

制 作 物：・出品目録(A4判8頁)

・プレスリリース(A4判3頁)

・英語版概要(A4判1頁)

入 場 料 金：一般320円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金 「特集「庭園の眺め 高橋力雄の木版画」/特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちII」と共通 高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第4土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫：当館と滋賀県立近代美術館の所蔵品をあわせて、「和歌山ゆかりの作家と近代美術 明治・大正」「和歌山ゆかりの作家と近代美術 昭和」「アメリカ抽象表現主義と現代美術」といったコーナーを設け、2つの特集展示を開催した。

自己評価・課題・改善案：当館と滋賀県立近代美術館の所蔵品を活かし、特にアメリカやヨーロッパの現代美術について、魅力的な展示を実現できた。一方で、複雑な空間構成を採用したため、監視員の不足する現状が浮き彫りとなった。

関 連 記 事：・「カルチャーインフォメーション◇和歌山県立近代美術館 コレクション展2018- 春秋 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちII『ワカビー』5・6月号 vol.79、2018年5月発行、p.8

### 「コレクション展2018—春夏」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
<b>和歌山ゆかりの作家と近代美術 明治・大正</b>						
1	建島 大夢	子供	1917(大正6)/1994(平成6)	銅造	91.5×37.5×20.2	建島覚造氏寄贈
2	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈
3	神中 糸子	牡丹	1915-25(大正4-14)	油彩、キャンバス	50.4×61.0	森上安也氏寄贈
4	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
5	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳(1910年代)	油彩、キャンバス	79.5×140.7	個人蔵
6	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914(大正3)	油彩、キャンバス	61.0×45.5	個人蔵
7	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
8	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.3	
9	久本 信男	和服婦人	大正初期頃	油彩、キャンバス	41.4×27.7	恩地邦郎氏寄贈
10	萬 鉄五郎	風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
11	玉置 照信	猫を抱く女	制作年不詳	油彩、キャンバス	117.0×90.5	個人蔵
12	保田 龍門	少年	1912(明治45/大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	保田春彦氏寄贈
13	保田 龍門	村の娘	1916(大正5)	油彩、キャンバス	82.4×66.9	保田淳子氏寄贈
14	保田 龍門	アンドレ像	1921(大正10)	油彩、キャンバス	54.7×45.8	
15	保田 龍門	クリスティーヌの首	1922(大正11)/1985(昭和60)	銅造	34.0×27.0×27.5	
16	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1	玉井一郎氏寄贈
17	佐伯 祐三	パリの街角	1925(大正14)	油彩、キャンバス	65.0×41.5	玉井一郎氏寄贈
18	佐伯 祐三	男の顔(K氏の像)	1927(昭和2)	油彩、板	33.0×23.8	玉井一郎氏寄贈
19	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
20	佐伯 祐三	モラン風景	1928(昭和3)	油彩、ボード	38.0×44.5	玉井一郎氏寄贈
<b>和歌山ゆかりの作家と近代美術 昭和</b>						
21	村井 正誠	百霊廟	1942(昭和17)	油彩、キャンバス	91.0×116.5	作者寄贈
22	村井 正誠	黒い線	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	193.8×259.3	
23	前川 強	作品	1960(昭和35)	塗料、麻布、綿布	162.8×130.5	
24	松谷 武判	WORK-63-9	1963(昭和38)	ビニール接着剤、油彩、水彩、キャンバス	187.0×192.0	
25	川口 軌外	月夜の雪景	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	92.3×65.8	
26	川口 軌外	貝殻	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	80.4×115.2	川口京村氏寄贈
27	松本 竣介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
28	須田 国太郎	風景	1950(昭和25)頃	油彩、キャンバス	49.8×60.5	
29	麻生 三郎	ゆかひと	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	130.3×162.5	個人蔵
30	建島 覚造	有機体	1957(昭和32)	セメント、鉄	124.0×95.0×56.0	作者寄贈
<b>アメリカ抽象表現主義と現代美術</b>						
31	ゴーキー、アーシル	無題(バージニア風景)	1943-44(昭和18-19)	油彩、キャンバス	86.4×116.8	滋賀県立近代美術館蔵
32	フランシス、サム	サーキュラー・ブルー	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	196.6×174.0	滋賀県立近代美術館蔵
33	スティル、クリフォード	PH-386	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	287.0×393.7	滋賀県立近代美術館蔵
34	ルイス、モーリス	ダレット・ペー	1959(昭和34)	アクリル絵具、キャンバス	234.0×367.5	滋賀県立近代美術館蔵

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
35	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6 × 3.8	
36	ロスコ、マーク	ナンバー 28	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	205.8 × 193.5	滋賀県立近代美術館蔵
37	ノグチ、イサム	考える議長	1978 (昭和 53)	御影石、木	27.5 × 23.5 × 30.0/ 104.5 × 46.8 × 26.4 (台座)	
38	シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ざいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6 × 359.9 × 270.4	
39	ラインハート、アド	トリプティック	1960 (昭和 35)	油彩、キャンバス	228.6 × 76.2	滋賀県立近代美術館蔵
40	ノーランド、ケネス	カドミウム・レイディアンス	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	237.0 × 241.0	滋賀県立近代美術館蔵
41	ステラ、フランク	バルパライソ・フレッシュ	1964 (昭和 39)	メタリックペイント、キャンバス	197.5 × 457.2	滋賀県立近代美術館蔵
42	ウェッセルマン、トム	シースケープ #8	1966 (昭和 41)	アクリル絵具、キャンバス	172.9 × 106.8	
43	ライリー、ブリジット	バナナ 4	1969 (昭和 44)	アクリル、キャンバス	189.4 × 44.0 × 4.2	
44	ヴァザレリ、ヴィクトル	ピソール	1978 (昭和 53)	アクリル、キャンバス	141.0 × 112.2	
45	ソト、ヘスス=ラファエル	黄の縁とT	1985 (昭和 60)	絵具、金属、木	103.5 × 103.5 × 16.5	
46	ノイマン、マックス	無題	1988 (昭和 63)	ミクストメディア、キャンバス	300.0 × 200.4	
47	ヴィアラ、クロード	コンポジション	1988 (昭和 63)	アクリル、布	295.0 × 346.0	
48	荒川 修作	The Observer Continues	1965-66 (昭和 40-41)	アクリル絵具、キャンバス	244.7 × 480.0	
49	ジャッド、ドナルド	無題	1988 (昭和 63)	アルミニウム	30.0 × 210.4 × 30.0	
50	保田 春彦	進化の過程	2010 (平成 22)	木	55.0 × 180.0 × 45.0	個人蔵
<b>展示室外の作品 エントランス周辺</b>						
51	ステラ、フランク	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル、キャンバス	304.0 × 760.0	
52	クルーガー、ハーバラ	無題 (私を覚えている)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7 × 268.1	
53	フラナガン、バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
54	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
55	鈴木久雄	塔体 I	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 52.0 × 54.0	
56	鈴木久雄	塔体 III	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 54.0 × 54.0	
57	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	
<b>ライトコート</b>						
58	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
59	ノグチ、イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
<b>階段・ホワイエ</b>						
60	北野 吉彦	山並一 senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0 × 1020.0	作者の厚意により保存
61	鈴木久雄	木と人型距離 p20	2016 (平成 28)	鍛造ステンレス鋼	40.0 × 35.0 × 22.5	個人蔵
62	鈴木久雄	人型速度 s41	2015 (平成 27)	鍛造ステンレス鋼	29.0 × 11.5 × 19.5	個人蔵
63	鈴木久雄	木と人型距離 p4	2016 (平成 28)	鍛造ステンレス鋼	36.0 × 6.0 × 20.5	個人蔵
64	鈴木久雄	人型速度 s45	2015 (平成 27)	鍛造ステンレス鋼	29.0 × 11.5 × 19.5	個人蔵
65	鈴木久雄	人型速度 s35	2015 (平成 27)	鍛造ステンレス鋼	28.0 × 22.0 × 19.0	個人蔵
66	鈴木久雄	人型速度 s32	2015 (平成 27)	鍛造ステンレス鋼	22.0 × 27.0 × 22.0	個人蔵
67	鈴木久雄	木と人型距離 p10	2016 (平成 28)	鍛造ステンレス鋼	30.0 × 29.5 × 20.0	個人蔵
68	鈴木久雄	人型速度 s33	2015 (平成 27)	鍛造ステンレス鋼	27.0 × 22.0 × 18.5	個人蔵
69	鈴木久雄	人型速度 s39	2015 (平成 27)	鍛造ステンレス鋼	26.0 × 24.0 × 19.0	個人蔵
70	鈴木久雄	木と人型距離 p2	2016 (平成 28)	鍛造ステンレス鋼	36.0 × 6.0 × 20.5	個人蔵
71	鈴木久雄	単錐台 II	1984 (昭和 59)	鉄	113.0 × 119.5 × 120.0	
<b>テラス</b>						
72	鈴木久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	個人蔵
73	鈴木久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	個人蔵
74	鈴木久雄	木の現象〈喬木 1〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	個人蔵
75	鈴木久雄	木の現象〈喬木 2〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76 × 82.0	個人蔵
<b>館周辺</b>						
76	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈
77	スネルソン、ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
78	建昌 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	
79	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	



展示風景

## 3-2. 特集「庭園の眺め 高橋力雄の木版画」

会 期：2018 (平成 30) 年 4 月 28 日 (土) ～7 月 8 日 (日)

会 場：展示室 B (1 階)

主 催：和歌山県立近代美術館

内 容：恩地孝四郎に強い影響を受け木版による抽象表現を追い続けた高橋力雄 (1917～1998) の作品を紹介した。

展 示 点 数：6 作家 77 点、資料 1 点

担当学芸員：井上芳子

関 連 事 業：・フロアレクチャー (「コレクション展 2018- 春夏」/ 特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち II」を含む)

日時：5 月 3 日 (木) 20 名 井上芳子、藤本真名美、6 月 9 日 (土) 6 名 藤本真名美、7 月 1 日 (日) 12 名 井上芳子、藤本真名美  
いずれも 14:00～15:00

制 作 物：・出品目録 (A4 判 8 頁)

・プレスリリース (A4 判 3 頁)

・英語版概要 (A4 判 1 頁)

入 場 料 金：一般 320 円 (270 円)、大学生 230 円 (180 円) ( ) 内は 20 名以上の団体料金 「コレクション展 2018- 春夏」と共通 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫：1950 年代から 90 年代までの高橋力雄の木版による作品と、作者が実際に使用していた道具類も展示し、戦後の荒廃した時代から古都を巡り「日本の美感」を抽象表現に展開した、その歩みを紹介。

自己評価・課題・改善案：2006 (平成 18) 年から 2007 (平成 19) 年にかけて作家遺族から寄贈いただいた作品の全点展示を実現させ、収蔵から展示までを全うすることができた。

情 報 掲 載：・「カルチャーインフォメーション◇和歌山県立近代美術館 コレクション展 2018- 春秋 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち II」『ワカビー』5・6 月号 vol.79、2018 年 5 月発行、p.8

### 特集「庭園の眺め 高橋力雄の木版画」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
1	高橋 力雄	体の中の風	1955 (昭和 30)	木版、紙	53.0 × 34.0	奥田西杜子氏寄贈
2	高橋 力雄	祈り	1957 (昭和 32)	木版、紙	52.0 × 33.0	奥田西杜子氏寄贈
3	高橋 力雄	Lyric (Spring) / 抒情 春	1957 (昭和 32)	木版、紙	42.0 × 30.0	奥田西杜子氏寄贈
4	高橋 力雄	Prayer (Buddha) / 仏陀への祈り	1957 (昭和 32)	木版、紙	50.3 × 34.9	奥田西杜子氏寄贈
5	高橋 力雄	Passing Nun (Buddhist) / 行く尼	1958 (昭和 33)	木版、紙	47.3 × 34.9	奥田西杜子氏寄贈
6	高橋 力雄	Lyric Kyoto No.2/ 抒情 京都 No.2	1959 (昭和 34)	木版、紙	39.5 × 53.0	奥田西杜子氏寄贈
7	高橋 力雄	風姿	1959 (昭和 34)	木版、紙	41.2 × 57.2	奥田西杜子氏寄贈
8	高橋 力雄	習作	1960 (昭和 35)	木版、紙	25.8 × 19.3	奥田西杜子氏寄贈
9	高橋 力雄	京都 No.12	1960 (昭和 35)	木版、紙	20.6 × 23.4	奥田西杜子氏寄贈
10	高橋 力雄	秋	1960 (昭和 35)	木版、紙	21.0 × 27.5	奥田西杜子氏寄贈
11	高橋 力雄	ウズモレテイタモノ Work K	1960 (昭和 35)	木版、紙	26.2 × 53.6	奥田西杜子氏寄贈
12	高橋 力雄	Nostalgia of Kyoto/ 京都のノスタルジア	1960 (昭和 35)	木版、紙	88.6 × 56.4	奥田西杜子氏寄贈
13	高橋 力雄	Music (Noh Play A) / 音楽 能 A	1960 (昭和 35)	木版、紙	56.2 × 37.8	奥田西杜子氏寄贈
14	高橋 力雄	Music (Noh Play B) / 音楽 能 B	1960 (昭和 35)	木版、紙	57.8 × 42.0	奥田西杜子氏寄贈
15	高橋 力雄	京都の抒情	1960 (昭和 35)	木版、紙	81.3 × 52.9	奥田西杜子氏寄贈
16	高橋 力雄	京都の抒情	1960 (昭和 35)	木版、紙	82.0 × 54.0	奥田西杜子氏寄贈
17	高橋 力雄	献花 A	1961 (昭和 36)	木版、紙	83.7 × 56.2	奥田西杜子氏寄贈
18	高橋 力雄	Nostalgia/ ノスタルジア	1962 (昭和 37)	木版、紙	83.5 × 56.1	奥田西杜子氏寄贈
19	高橋 力雄	Series Kyoto No.27/ シリーズ京都 No.27	1963 (昭和 38)	木版、エンボス、紙	81.0 × 53.8	奥田西杜子氏寄贈
20	高橋 力雄	Noh Play/ 能	1963 (昭和 38)	木版、紙	81.4 × 54.8	奥田西杜子氏寄贈
21	高橋 力雄	Face of Mexico / メキシコの顔	1964 (昭和 39)	木版、紙	49.2 × 42.3	奥田西杜子氏寄贈
22	高橋 力雄	Riverside in Morning/ 朝の川辺	1964 (昭和 39)	木版、紙	50.5 × 40.3	奥田西杜子氏寄贈
23	高橋 力雄	Mexico 's Park/ メキシコの公園	1964 (昭和 39)	木版、紙	47.3 × 56.5	奥田西杜子氏寄贈
24	高橋 力雄	Revelation/ 啓示	1965 (昭和 40)	木版、紙	65.2 × 30.5	奥田西杜子氏寄贈
25	高橋 力雄	Life/ 生命	1966 (昭和 41)	木版、紙	72.8 × 72.3	奥田西杜子氏寄贈
26	高橋 力雄	作品	1966 (昭和 41)	木版、手彩、紙	77.6 × 76.4	奥田西杜子氏寄贈
27	高橋 力雄	Flourish/ 繁茂	1966 (昭和 41)	木版、手彩、紙	78.8 × 79.0	奥田西杜子氏寄贈
28	高橋 力雄	Series Kyoto No.35/ シリーズ京都 No.35	1966 (昭和 41)	木版、紙	67.0 × 32.0	奥田西杜子氏寄贈
29	高橋 力雄	Kyoto Series No.40 Festival/ シリーズ京都 No.40 祭	1966 (昭和 41)	木版、紙	50.0 × 81.0	奥田西杜子氏寄贈
30	高橋 力雄	Summer Vacation/ 夏休み	1967 (昭和 42)	木版、紙	81.0 × 53.0	奥田西杜子氏寄贈
31	高橋 力雄	Morning/ 朝	1968 (昭和 43)	木版、紙	48.5 × 38.0	奥田西杜子氏寄贈
32	高橋 力雄	Morning/ 朝	1968 (昭和 43)	木版、紙	48.5 × 38.0	奥田西杜子氏寄贈
33	高橋 力雄	呼吸一大地	1969 (昭和 44)	木版、紙	51.5 × 35.5	奥田西杜子氏寄贈
34	高橋 力雄	Move in Winter/ 冬の動き	1970 (昭和 45)	木版、紙	25.8 × 25.6	奥田西杜子氏寄贈
35	高橋 力雄	Circus A/ サーカス A	1970 (昭和 45)	木版、エンボス、紙	42.1 × 42.7	奥田西杜子氏寄贈
36	高橋 力雄	Seasonal (Negative Image) / 季節の ネガティブイメージ	1970 (昭和 45)	木版、紙	37.0 × 34.0	奥田西杜子氏寄贈
37	高橋 力雄	Young A/ わかさ A	1971 (昭和 46)	木版、紙	55.5 × 55.5	奥田西杜子氏寄贈
38	高橋 力雄	Splendid Old Town/ うるわしき古都	1972 (昭和 47)	木版、紙	82.3 × 53.9	奥田西杜子氏寄贈
39	高橋 力雄	Splendid Old Town/ うるわしき古都	1972 (昭和 47)	木版、紙	82.3 × 53.9	奥田西杜子氏寄贈
40	高橋 力雄	Kyoto Series No.46 Nunnery's Garden (A1) / 京都シリーズ No.46 尼寺の庭 A1	1975 (昭和 50)	木版、紙	76.5 × 54.0	奥田西杜子氏寄贈
41	高橋 力雄	Kyoto Series No.48 Nunnery's Garden C/ 京都シリーズ No.48 尼寺の庭 C	1975 (昭和 50)	木版、紙	77.3 × 50.0	奥田西杜子氏寄贈
42	高橋 力雄	Snow Morning/ 雪の朝	1977 (昭和 52)	木版、紙	46.5 × 61.7	奥田西杜子氏寄贈

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
43	高橋 力雄	Snow Garden/ 雪の庭	1977 (昭和 52)	木版、紙	46.3 × 61.8	奥田西杜子氏寄贈
44	高橋 力雄	Kyoto Series No.55/ 京都シリーズ No.55	1977 (昭和 52)	木版、紙	81.0 × 50.0	奥田西杜子氏寄贈
45	高橋 力雄	Garden P/ 庭 P	1977 (昭和 52)	木版、エンボス、雲母摺、紙	80.0 × 50.5	奥田西杜子氏寄贈
46	高橋 力雄	Garden (Seasonal) / 庭 季節の	1977 (昭和 52)	木版、紙	51.0 × 34.8	奥田西杜子氏寄贈
47	高橋 力雄	NIWA (Contemplation) / 庭 黙想	1978 (昭和 53)	木版、紙	48.8 × 38.0	奥田西杜子氏寄贈
48	高橋 力雄	NIWA (Contemplation) / 庭 黙想	1978 (昭和 53)	木版、紙	48.8 × 38.0	奥田西杜子氏寄贈
49	高橋 力雄	NIWA (Winter Scenery) / 庭 冬景色	1978 (昭和 53)	木版、紙	50.8 × 40.5	奥田西杜子氏寄贈
50	高橋 力雄	NIWA (Wind) / 庭 風	1978 (昭和 53)	木版、紙	77.9 × 55.6	奥田西杜子氏寄贈
51	高橋 力雄	Kyoto Series No.60/ 京都シリーズ No.60	1979 (昭和 54)	木版、紙	76.7 × 54.5	奥田西杜子氏寄贈
52	高橋 力雄	NIWA 79-A/ 庭 79-A	1979 (昭和 54)	木版、紙	78.7 × 54.0	奥田西杜子氏寄贈
53	高橋 力雄	Winter Lodge/ 冬の山荘	1979 (昭和 54)	木版、紙	25.8 × 25.6	奥田西杜子氏寄贈
54	高橋 力雄	NIWA 80-D/ 庭 80-D	1980 (昭和 55)	木版、紙	45.7 × 33.9	奥田西杜子氏寄贈
55	高橋 力雄	Snow/ 雪	1980 (昭和 55)	木版、紙	46.8 × 29.0	奥田西杜子氏寄贈
56	高橋 力雄	NIWA (Winter) / 庭 冬	1984 (昭和 59)	木版、紙	81.8 × 53.8	奥田西杜子氏寄贈
57	高橋 力雄	NIWA (End of Summer/ 庭 夏の終り	1984 (昭和 59)	木版、紙	82.8 × 55.0	個人蔵
58	高橋 力雄	NIWA (Nunnery) / 庭 尼寺	1985 (昭和 60)	木版、紙	81.2 × 51.3	個人蔵
59	高橋 力雄	NIWA (Stone Garden) / 庭 石庭	1987 (昭和 62)	木版、紙	38.0 × 52.0	奥田西杜子氏寄贈
60	高橋 力雄	NIWA (Come Again the Season) / 庭 めぐる季節	1988 (昭和 63)	木版、紙	21.0 × 22.2	奥田西杜子氏寄贈
61	高橋 力雄	NIWA (H-1) / 庭 H-1	1989 (平成元)	木版、紙	83.9 × 53.4	個人蔵
62	高橋 力雄	NIWA H-3/ 庭 H-3	1989 (平成元)	木版、紙	54.0 × 39.6	奥田西杜子氏寄贈
63	高橋 力雄	NIWA H-3/ 庭 H-3	1989 (平成元)	木版、紙	54.0 × 39.6	奥田西杜子氏寄贈
64	高橋 力雄	Garden of Poet A/ 詩人の庭 A	1990 (平成 2)	木版、紙	47.9 × 70.2	奥田西杜子氏寄贈
65	高橋 力雄	庭の韻	1994 (平成 6)	木版、紙	81.1 × 55.0	奥田西杜子氏寄贈
66	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 ドビュッシー「金色の魚」	1950 (昭和 25)	木版、紙	29.3 × 14.5	
67	品川 工	真昼の夢	1952 (昭和 27)	木版、紙	51.9 × 37.3	
68	品川 工	即興	1954 (昭和 29)	木版、紙	42.2 × 28.8	
69	品川 工	ゆうぎ	1958 (昭和 33)	木版、紙	37.6 × 28.8	
70	品川 工	転身	1959 (昭和 34)	木版、紙	55.0 × 40.0	
71	品川 工	芽生え	1961 (昭和 36)	木版、紙	51.7 × 37.0	
72	吉田 政次	空間 No.27	1963 (昭和 38)	木版、紙	45.0 × 44.8	
73	内間 安理	ロンド	1957 (昭和 32)	木版、紙	19.6 × 27.7	荒木高子氏寄贈
74	内間 安理	相撲	1957 (昭和 32)	木版、紙	57.1 × 40.5	荒木高子氏寄贈
75	泉 茂	叩く	1960 (昭和 35)	エッチング、アクアチント、紙	38 × 45.4	泉照子氏寄贈
76	泉 茂	WAVE	1965 (昭和 40)	石版、紙	45.0 × 63.8	作者寄贈
77	泉 茂	シドニー	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、紙	38.4 × 53.4	作者寄贈

資料 高橋力雄が使用した制作道具



展示風景



### 3-3. 特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅡ 紅児会・赤曜会に集える俊英」

会 期：2018(平成30)年4月28日(土)～7月8日(日)

会 場：展示室A(1階)

主 催：和歌山県立近代美術館

内 容：特集として滋賀県立近代美術館の寄託作品を主に紹介する「特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅡ 紅児会・赤曜会に集える俊英」のコーナーを設けた。

展 示 点 数：9作家19点

担当学芸員：藤本真名美

関 連 事 業：・フロアレクチャー(「コレクション展 2018- 春夏」特集「庭園の眺め 高橋力雄の木版画」を含む)

日時：5月3日(木) 20名 14:00～15:00 井上芳子、藤本真名美、6月9日(土) 6名 14:00～15:00 藤本真名美、7月1日(日) 12名 井上芳子、藤本真名美 いずれも14:00～15:00

制 作 物：・出品目録(A4判8頁) ※「コレクション展 2018- 春夏」と共通

・プレスリリース(A4判3頁)

・英語版概要(A4判1頁)

入 場 料 金：一般340円(270円)、大学生230円(180円) ( )内は20名以上の団体料金 「コレクション展 2018- 春夏」と共通 高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第4土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫：滋賀県立近代美術館の日本画コレクションの中から、今村紫紅に感化を受け、紅児会や赤曜会で活動し、明治末から大正期に院展の若手として注目された作家たちを取り上げた。

自己評価・課題・改善案：速水御舟《洛北修学院村》や、安田鞞彦《飛鳥の春の額田王》など、近代日本画の名作を紹介し、作品・作家解説パネルを設けて、展覧会を充実させることができた。これ以降、「院展の画家たち」シリーズについてもプレスリリースでの広報を開始したが、著作権者への連絡の段取りなど、計画的な進行為課題として残った。

情 報 掲 載：・「カルチャーインフォメーション◇和歌山県立近代美術館 コレクション展 2018- 春秋 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅡ」『ワカビー』5・6月号 vol.79、2018年5月発行、p.8

#### 特集「院展の画家たちⅡ 紅児会・赤曜会に集える俊英」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
1	速水 御舟	洛北修学院村	1918(大正7)	顔料、絹	132.0×97.5	滋賀県立近代美術館蔵
2	速水 御舟	洛北修学院村 関連写生	1918(大正7)	水彩、クレヨン、鉛筆、紙	15.6×18.7	滋賀県立近代美術館蔵
3	速水 御舟	洛北修学院村 関連写生	1918(大正7)	水彩、クレヨン、鉛筆、紙	15.8×18.7	滋賀県立近代美術館蔵
4	速水 御舟	洛北修学院村 関連写生	1918(大正7)	水彩、クレヨン、鉛筆、紙	15.5×18.5	滋賀県立近代美術館蔵
5	速水 御舟	比叡山 スケッチ	1918-19(大正7-8)	鉛筆、紙	43.2×67.5	滋賀県立近代美術館蔵
6	小茂田 青樹	出雲嵩山冬景図	1922(大正11)	顔料、絹	40.8×56.5	滋賀県立近代美術館蔵
7	中島 清之	保土ヶ谷風景	1923(大正12)	顔料、絹	80.3×100.0	滋賀県立近代美術館蔵
8	安田 鞞彦	飛鳥の春の額田王	1964(昭和39)	顔料、紙	131.1×80.2	滋賀県立近代美術館蔵
9	今村 紫紅	草廬三顧	1911(明治44)	顔料、絹	126.8×50.5	滋賀県立近代美術館蔵
10	速水 御舟	遊魚	1922(大正11)	顔料、絹	48.1×54.5	滋賀県立近代美術館蔵
11	速水 御舟	竹生図	1928(昭和3)	顔料、絹	124.8×41.2	個人蔵
12	速水 御舟	鳴・柿・実	1929(昭和4)	顔料、絹	38.5×50.8	滋賀県立近代美術館蔵
13	小林 古径	若鮎	1937(昭和12)	顔料、絹	39.8×49.9	森佑一郎氏寄贈
14	中村 岳陵	雪路	1916(大正5)頃	顔料、絹	143.0×50.0	滋賀県立近代美術館蔵
15	中村 岳陵	黄昏時	1921(大正10)頃	顔料、絹	139.0×50.0	滋賀県立近代美術館蔵
16	牛田 雞村	滋賀の里	1920(大正9)	顔料、絹	128.5×50.2	滋賀県立近代美術館蔵
17	山村 耕花	節季候	大正中期	顔料、絹	126.8×41.0	滋賀県立近代美術館蔵
18	小茂田 青樹	秋草に少女 画稿	1925(大正14)	顔料、紙	180.5×100.7	滋賀県立近代美術館蔵
19	小茂田 青樹	母子鹿	1928(昭和3)	顔料、絹	154.2×67.9	滋賀県立近代美術館蔵



展示風景



## 3-4. コレクション展 2018 ー夏秋

会 期： 2018 (平成 30) 年 8 月 4 日 (土) ～ 10 月 21 日 (日)

会 場： 展示室 A (1 階)

主 催： 和歌山県立近代美術館

内 容： 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示した。

展 示 点 数： 50 作家 67 点、資料 8 点 (院展の画家たちⅢ 1 作家 5 点、資料 8 点)

担当学芸員： 奥村一郎

制 作 物： ・出品目録 (A4 判 4 頁) ※特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅢ」と共通

・プレスリリース (A4 判 5 頁) ※特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅢ」/「特集「鈴木昭男 音と場の探究」と共通

・英語版概要 (A4 判 1 頁)

入 場 料 金： 一般 340 円 (270 円)、大学生 230 円 (180 円) ( ) 内は 20 名以上の団体料金 「特集「鈴木昭男 音と場の探究」/特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅢ」と共通 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫： 「和歌山ゆかりの作家と近代美術」「戦後日本の美術」「アメリカ抽象表現主義と現代の美術」のコーナーにより展示を構成した。明治・大正から昭和～現代までの時代の流れや雰囲気や伝わるような作品の選択や展示を、受託中の滋賀県立近代美術館所蔵作品も交えながら心掛けた。また本展の会期は、夏休みと重なり多くの子どもたちが来館することが想定されたので、事故を未然に防ぐために、監視職員が十分に目を配れるよう展示室の死角を少なくした。作品の数を絞り、作品ごとの間隔もゆったり確保したのだが、作品 1 点 1 点をよく鑑賞できる空間ともなった。

自己評価・課題・改善案： 事故もなく無事に展示を終えることができた。同じ作品でも、作品の並び方や文脈を変化させることで、作品の見え方は変わってくる。新しい工夫を今後も重ねていきたい。

### 「コレクション展 2018 ー夏秋」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
<b>和歌山ゆかりの作家と近代美術</b>						
1	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906 (明治 39)	油彩、キャンバス	79.6 × 64.0	
2	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳 (1910 年代)	油彩、キャンバス	79.5 × 140.7	個人蔵
3	建島 大夢	おゆのつかれ	1913 (大正 2) / 1970 (昭和 45) 铸造	ブロンズ	68.0 × 40.0 × 56.0	
4	寺中 美一	自画像	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	45.7 × 33.6	立石靖子氏寄贈
5	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正 3)	油彩、板	51.3 × 39.2	個人蔵
6	保田 龍門	少年	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.8 × 60.6	保田春彦氏寄贈
7	萬 鉄五郎	風景	1922 (大正 11) 頃	油彩、キャンバス	33.3 × 46.0	個人蔵
8	古賀 春江	海水浴	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	91.3 × 117.0	
9	東郷 青児	静物	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	46.0 × 38.0	
10	森 有材	ピエロ	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	91.3 × 73.0	河野 喬氏寄贈
11	川口 軌外	ボヘミアン	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	117.0 × 80.7	
12	原 勝四郎	画工像	1932 (昭和 7)	油彩、厚紙	65.0 × 52.6	
13	高井 貞二	煙	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	91.1 × 117.0	高井志づ氏寄贈
14	佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	73.3 × 53.9	玉井一郎氏寄贈
15	佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9 × 73.2	玉井一郎氏寄贈
16	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	60.0 × 73.1	玉井一郎氏寄贈
17	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	73.2 × 91.8	玉井一郎氏寄贈
18	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	72.3 × 60.8	玉井一郎氏寄贈
19	佐伯 祐三	モラン風景	1928 (昭和 3)	油彩、ボード	38.0 × 44.5	玉井一郎氏寄贈
<b>戦後日本の美術</b>						
20	村井 正誠	母と子	1952 (昭和 27)	油彩、キャンバス	162.3 × 131.0	作者寄贈
21	菅井 汲	夜の風景	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	77.5 × 195.5	
22	池田 龍雄	規格品	1956 (昭和 31)	油彩、キャンバス	145.8 × 111	
23	豊 嘯	鉄骨とクレーンと人と	1954 (昭和 29)	油彩、板	116.5 × 91.6	
24	加藤 正	空ろなる真昼 (王国)	1951 (昭和 26)	油彩、キャンバス	91.0 × 91.1	
25	池田 満寿夫	骨を持つ人 (C)	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	72.8 × 57.2	
26	瑛 九	自転車	1956 (昭和 31)	油彩、キャンバス	50.0 × 60.8	
27	オノサト トシノブ	A-11	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	116.0 × 91.2	
28	岡田 謙三	入江	1959 (昭和 34)	油彩、キャンバス	189.0 × 155.5	
29	近藤 竜男	Combine 20-65	1965 (昭和 40)	油彩、キャンバス	226.7 × 226.7	
<b>アメリカ抽象表現主義と現代美術</b>						
30	スティル、クリフォード	PH-386	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	287.0 × 393.7	滋賀県立近代美術館蔵
31	ラインハート、アド	トリプティック	1960 (昭和 35)	油彩、キャンバス	228.6 × 76.2	滋賀県立近代美術館蔵
32	ノーランド、ケネス	カドミウム・レイディアンズ	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	237.0 × 241.0	滋賀県立近代美術館蔵
33	ロスコ、マーク	ナンバー 28	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	205.8 × 193.5	滋賀県立近代美術館蔵
34	ステラ、フランク	バルバライソ・フレッシュ	1964 (昭和 39)	メタリックペイント、キャンバス	197.5 × 457.2	滋賀県立近代美術館蔵
35	レイス、モーリス	ダレット・ペー	1959 (昭和 34)	アクリル、キャンバス	234.0 × 367.5	滋賀県立近代美術館蔵
36	シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6 × 359.9 × 270.4	
37	クロス、チャック	フィル	1982 (昭和 57)	ペーパーバルブ	130.4 × 105.8	
38	フォンタナ、ルーチョ	空間概念	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	100.0 × 73.0	滋賀県立近代美術館蔵

No. 作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
39 元永定正	作品	1964 (昭和 39)	アクリル、小石、キャンバス	281.0 × 181.2	
40 金山 明	Work1961	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	178.5 × 174.0	滋賀県立近代美術館蔵
41 田中 敦子	WORK '91G	1991 (平成 3)	塗料、キャンバス	200.0 × 200.0	
42 白髪 一雄	地察星 青眼虎	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	194.0 × 130.6	
43 李 禹煥	点より	1980 (昭和 55)	岩彩、キャンバス	193.9 × 258.8	
<b>展示室外の作品 エントランス周辺</b>					
44 ステラ、フランク	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル、キャンバス	304.0 × 760.0	
45 クルーガー、バーバラ	無題(私を覚えている)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7 × 268.1	
46 フラナガン、パリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
47 グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
48 鈴木久雄	塔体 I	1989(平成元)	鉄	230.0 × 52.0 × 54.0	
49 鈴木久雄	塔体 III	1989(平成元)	鉄	230.0 × 54.0 × 54.0	
50 秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	
<b>ライトコート</b>					
51 保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994 - 95 (平成 6 - 7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
52 ノグチ、イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
<b>階段・ホワイエ</b>					
53 北堅 吉彦	山並 - senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0 × 1020.0	作者の厚意により保存
54 鈴木久雄	単錐台 - II	1984 (昭和 59)	鉄	113.0 × 119.5 × 120.0	
<b>テラス</b>					
55 鈴木久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作家寄贈
56 鈴木久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作家寄贈
57 鈴木久雄	木の現象<橋木 1>	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作家寄贈
58 鈴木久雄	木の現象<橋木 2>	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作家寄贈
<b>館周辺</b>					
59 北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈
60 スネルソン、ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
61 建畠 寛造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	
62 保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	



展示風景



## 3-5. 特集「鈴木昭男 音と場の探究」

会 期： 2018 (平成 30) 年 8 月 4 日 (土) ～ 10 月 21 日 (日)  
 会 場： 展示室 B (1 階)  
 主 催： 和歌山県立近代美術館  
 特 別 協 力： 公益財団法人 脇村奨学会  
 内 容： サウンド・アートの先駆者として知られる鈴木昭男 (1941 ～) の活動を、熊野古道なかへち美術館での開館 20 周年記念特別展と連携して紹介した。

展 示 点 数： 作品および資料 240 点 + ファイリング資料

担当学芸員： 奥村一郎

関 連 事 業： ・鈴木昭男トーク&パフォーマンス

日時： 8 月 5 日 (日) 98 名 14:00 ～ 16:00

・「鈴木昭男 音と場の探究」ギャラリートーク

日時： 9 月 15 日 (土) 5 名、9 月 23 日 (日) 8 名 いずれも 14:00 ～ 15:00 奥村一郎

・「鈴木昭男 音と場の探究」クロージングイベント

鈴木昭男×中川真 (大阪市立大学特任教授) スペシャル・トーク+鈴木昭男パフォーマンス

日時： 10 月 21 日 (日) 63 名 14:00 ～ 16:00

制 作 物： ・チラシ (A4 判、オフセット印刷) ※熊野古道なかへち美術館 開館 20 周年記念特別展「鈴木昭男 一内在一」と共通のチラシ

・プレスリリース (A4 判 5 頁) ※「コレクション展 2018- 夏秋」/ 特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III」と共通

・英語版概要 (A4 判 1 頁)

入 場 料 金： 一般 340 円 (270 円)、大学生 230 円 (180 円) ( ) 内は 20 名以上の団体料金 「コレクション展 2018- 夏秋」/ 特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III」と共通 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫： 熊野古道なかへち美術館と連携し、鈴木昭男の活動の初期から最新作までを紹介した。熊野古道なかへち美術館では鈴木に新作を依頼し、当館では 1960 年代より続く活動のアーカイブ展示をおこなった。パフォーマンスから作品展示まで多岐にわたる鈴木をどのように見せるかは考え、音具、パフォーマンスの映像、写真、チラシやポスター、カタログ、リーフレットといった印刷物など、資料をできる限り紹介し、それらなるべく鈴木自身の言葉や、他者による同時代の記事や回想などによって語らせることから、鈴木歩みを辿る方法をとった。一部の音具は、来館者が実際に触って音を出し体験できる場も設けた。

自己評価・課題・改善案： 鈴木活動全体を見渡す、初めての展覧会となった。鈴木との全面的な協力を得て、所蔵資料を調査、整理するなかから、特に知られざる初期の鈴木活動を伝える資料を発掘し、紹介できたことは大きな成果だった。鈴木にとって大きな転機となった、1976 年開催の南画廊での初個展を再現的に展示できたことも収穫である。これらの資料は、鈴木活動だけでなく、国内外のサウンド・アートをめぐる状況を知り得る資料としても貴重である。当館にて図録は制作できなかったが、調査研究の成果の一部は、年譜の編集に反映し、熊野古道なかへち美術館の展覧会記録集に掲載した。今後も資料類の整理と調査は継続し、いずれ書籍などで公開するべく準備を進めたい。

関 連 記 事： ・「富田溪仙と鈴木昭男 近代美術館で二つの特集展示」『わかやま新報』2018 年 8 月 8 日、3 面

・岸桂子「Topics 鈴木昭男さんと和歌山で特集展示「音」と「場」探究の旅路 サウンド・アートの先駆 文献や映像」『毎日新聞』2018 年 8 月 27 日夕刊、5 面

・T生「美と遊ぶ 鈴木昭男 音と場の探究展 和歌山県立近代美術館 音と仕掛けが満載」『産経新聞』2018 年 8 月 31 日夕刊、5 面

・松本紗知「アート 音と向き合い半世紀 じっくりと想像する「道草」の誘い サウンド・アートの鈴木昭男 和歌山で 2 展覧会」『朝日新聞』2018 年 10 月 12 日夕刊、4 面

・小吹隆文「和歌山で、サウンドアートの巨匠が個展」Lmaga.jp、2018 年 7 月 31 日、<https://www.lmaga.jp/news/2018/07/45431/>

・「日本のサウンド・アートの先駆者。鈴木昭男の初期から最新作までを一気にチェック」ウェブ版美術手帖、2018 年 8 月 11 日、<https://bijutsutecho.com/magazine/news/exhibition/1822>

情 報 掲 載： ・「カルチャーインフォメーション◇和歌山県立近代美術館 コレクション展 2018- 夏秋 特集 鈴木昭男 音と場の探究 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III」『ワカビー』7・8 月号 vol.80、2018 年 7 月発行、p.8

・「コレクション展 2018- 夏秋 県立近代美術館 改修中の滋賀県立近代美術館コレクションの一部も公開 10/21 まで」『和歌山特報』2018 年 8 月 11 日、10 面

・「ART 開催中 -10/21 鈴木昭男『音と場の探究』@ 和歌山県立近代美術館」『POPEYE』10 月号、2018 年 9 月 7 日発行、P.240

・「和歌山近代美術館で「コレクション展 2018 夏秋」開催中」ウォーカープラス、2018 年 10 月 13 日、<https://www.walkerplus.com/article/165379/>

### 特集「鈴木昭男 音と場の探究」出品目録

※全て作家蔵

No.	作者名	作品名 / 資料名	制作年 / 発行年	材質、技法	所蔵 / 備考
自修イベント～アナラボスの誕生					
1		牛山設計研究室時代の写真 (撮影：牛山勉)	1963 (昭和 38)	写真 (2 枚)	
2		沖縄国際海洋博覧会 (1975) 西武パビリオンのためのプレゼンテーション用 (アナラボス C) のパネル	1972 (昭和 47)	パネル (4 枚)	
3		「アナラボス」鈴木昭男の項『ニューグロブ世界音楽大事典』(1981 年版)	1981 (昭和 56)	コピー	
4		鈴木昭男「音の残像」『季刊デザイン』1976 年夏号 (撮影：鈴木七恵)	1976 (昭和 51)	印刷物	階段に物を投げる (1963) の再演
5	鈴木昭男	「自修イベント」の復元図	1982 (昭和 57)	コピー・鉛筆、紙 (2 枚)	

No. 作者名	作品名 / 資料名	制作年 / 発行年	材質、技法	所蔵 / 備考
6	鈴木昭男「レポート・一九七六・十八」『トランソニック』1976 年夏号	1976 (昭和 51)	印刷物	
7	鈴木昭男「レポート・一九七六・十八」のための写真	1976 (昭和 51)	写真	
8	鈴木昭男アトリエ風景 (高輪泉岳寺)	1974 (昭和 49) 頃	写真	
9	鈴木昭男 サウンドスケッチノート (私家版)	1975 (昭和 50)	印刷物	
10	鈴木昭男「ANALAPOS-室内音響基本装置-1」のための構想図	1974 (昭和 49) -75(昭和50)頃	インク、紙	
11	「ひとりぼっちの出発駅」鈴木昭男の名古屋(聞き手・まとめ 高橋綾子)『REAR』16号	2007 (平成 19)	コピー	
<b>図形楽譜のころみ</b>				
12	鈴木昭男 音のエクササイズ	1973 (昭和 48) -75(昭和50)頃	カセットテープ (20 本)、 ノート (2 冊)	図形楽譜などからのインスピレーションを元に、 ピアノ等を使って演奏
13	鈴木昭男 SCORE	1973 (昭和 48)	印刷物	
14	鈴木昭男 SCORE	1974 (昭和 49)	印刷物	
15	鈴木昭男 SCORE 句	1975 (昭和 50)	印刷物	
16	鈴木昭男 アナラボスのための図形楽譜 1	1975 (昭和 50)	鉛筆・水彩、紙	
17	鈴木昭男 アナラボスのための図形楽譜 2	1975 (昭和 50)	鉛筆・水彩、紙	
18	鈴木昭男 Picture Score for Inspiration: Markings #1	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン、紙	Sound on Paper: Music Notation in Japan (1981) に出品
19	鈴木昭男 Picture Score for Inspiration: Markings #2	1981 (昭和 56)	シルクスクリーン、紙	Sound on Paper: Music Notation in Japan (1981) に出品
<b>南画廊での初個展 1976 年</b>				
20	「音のオブジェと音具展・鈴木昭男の世界」リーフレット	1976 (昭和 51)	印刷物 (3 点展示)	鈴木昭男《music for play》、鈴木昭男《ぼくの心 は横たわって》、一柳慧 (企画者) テキスト掲載
21	「音のオブジェと音具展・鈴木昭男の世界」案内状	1976 (昭和 51)	印刷物	
22	「音のオブジェと音具展・鈴木昭男の世界」カセットブック (私家版)	1976 (昭和 51)	印刷物、カセット	
23	「音のオブジェと音具展・鈴木昭男の世界」演奏風景	1976 (昭和 51)	写真 (2 枚)	
24	「音のオブジェと音具展・鈴木昭男の世界」会場風景	1976 (昭和 51)	写真 (ファイル)	
25	「音のオブジェと音具展・鈴木昭男の世界」写真アルバム	1976 (昭和 51)	写真 (アルバム)	
26	「音のオブジェと音具展・鈴木昭男の世界」会場レイアウト図	1976 (昭和 51)	コピー (2 枚)	
27	小杉武久「惑星の廻る速さは幻像の声となって 鈴木昭男の<音のオブジェと音具 展>」『みづゑ』1976 年 4 月号	1976 (昭和 51)	印刷物	
28	「音の出るオブジェ“音具”展」『藝術新潮』1976 年 3 月号	1976 (昭和 51)	印刷物	
29	「音のオブジェと音具展—鈴木昭男の世界」『音楽芸術』1976 年 3 月号	1976 (昭和 51)	印刷物	
30	鈴木昭男「スタディ・タイム」『音楽芸術』1984 年 10 月号	1984 (昭和 59)	コピー	
<b>音具</b>				
31	鈴木昭男 アナラボスの原器	1969 (昭和 44)		
32	鈴木昭男 アナラボス-A	1970 (昭和 45)	3 台展示	
33	鈴木昭男 アナラボス-A	制作年不詳		来館者体験用
34	鈴木昭男 アナラボス-B	1973 (昭和 48)		
35	鈴木昭男 アナラボス-C	1972 (昭和 47) 頃	3 台展示	
36	鈴木昭男 アナラボス-C の原器	1972 (昭和 47) 頃		沖縄国際海洋博覧会 (1975) 西武バリオンの ためのプレゼンテーション用として制作
37	鈴木昭男 デコールメス (スズキタイプ・グラス・ハーモニカ) (小)	1975 (昭和 50) 頃		
38	鈴木昭男 ハウリング・オブジェ	1976 (昭和 51)		
39	鈴木昭男 キッコキキキキ	1976 (昭和 51)		
40	鈴木昭男 うつろい	1977 (昭和 52)		
41	鈴木昭男 スプリング・ハンマー	1977 (昭和 52)		
42	鈴木昭男 ポータブル・プレーヤーによる皿まわし	1978 (昭和 53)		
43	鈴木昭男 らせん状エンドレスの音づくり	1979 (昭和 54)		
44	鈴木昭男 ジャンピング&スタンディング	1986 (昭和 61) 頃	一部を展示	
<b>南画廊での初個展以降の展開</b>				
45	「サウンドパフォーマンス 音の水族館」(天井敷散館アトリエ) チラシ	1976 (昭和 51)	印刷物	
46	『EXhouse RANDOM NEWS』3	1977 (昭和 52)	印刷物	表紙: 鈴木昭男《個人のためのシミの譜》
47	「鈴木昭男個展」(Exhouse) 案内状	1977 (昭和 52)	印刷物	
48	湯浅譲二「非電気的手段のナイーブな音響 EX・ハウス<鈴木昭男・個展>」『音 楽芸術』1977 年 11 月号	1977 (昭和 52)	コピー	
49	『音楽芸術』1977 年 11 月号	1977 (昭和 52)	印刷物	
50	「スポーツと嬉遊曲 17 人のパフォーマンスによるエリック・サティ」(芝増上寺ホール) 案内状	1977 (昭和 52)	印刷物	
51	「スポーツと嬉遊曲 17 人のパフォーマンスによるエリック・サティ」(芝増上寺ホール) ポスター	1977 (昭和 52)	印刷物	
52	「スポーツと嬉遊曲 17 人のパフォーマンスによるエリック・サティ」演奏風景 (1977 年 3 月 25 日)	1977 (昭和 52)	写真	
53	「フォトグラフィティ・サウンドパフォーマンス」(平山ビル屋上) 演奏風景 (1977 年 6 月 26 日)	1977 (昭和 52)	写真	
54	「ホットプレス / 実験室とメディアの箱」(宇宙館) チラシ	1977 (昭和 52)	印刷物	
55	「ホットプレス / 実験室とメディアの箱」演奏風景 (1977 年 9 月 10 日、撮影: 安斎重男)	1977 (昭和 52)	写真	鈴木昭男と吉村弘ほか
56	「甲斐説宗と鈴木昭男のばあいには……」いわさきちひろ絵本美術館開館記念コン サート Vol.2 案内状	1977 (昭和 52)	印刷物	
57	「甲斐説宗と鈴木昭男のばあいには……」いわさきちひろ絵本美術館開館記念コン サート Vol.2 プログラム	1977 (昭和 52)	印刷物	
58	松平頼暁「かすかな振幅を通じての相互交感 インターアクティヴィティ・シリーズ」 『音楽芸術』1978 年 2 月号	1978 (昭和 53)	コピー	

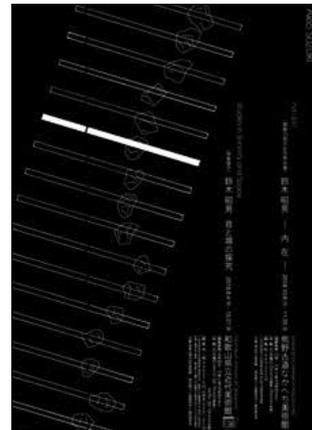
No.	作者名	作品名 / 資料名	制作年 / 発行年	材質、技法	所蔵 / 備考
59		「Continuous Performance No.2-5」案内状	1977 (昭和 52)	印刷物	
60		『Continuous PERFORMANCE』#001 発行: サムタイムプレス 編集: 浜田剛爾、鈴木昭男、吉村弘 デザイン: 鈴木昭男	1978 (昭和 53)	印刷物	
<b>フェスティバル・ドートンヌ・パリ「間展」 1978 年</b>					
61	鈴木昭男	「自分の尺度を取り戻せ 手探り体験こそ滋養 裸の心で真の味わいを」『日経流通新聞』1978年2月6日付	1978 (昭和 53)	印刷物	
62		「Simultaneous Dream Sequence: White Staircase」(東京アメリカンセンター) チラシ	1978 (昭和 53)	印刷物	レスリー・ゲター(ダンス)との共演
63		「フェスティバル・ドートンヌ・パリ」ポスター	1978 (昭和 53)	印刷物	
64		「フェスティバル・ドートンヌ・パリ」(「間展」)ポスター	1978 (昭和 53)	印刷物	
65		「フェスティバル・ドートンヌ・パリ「間展」日本の伝統音楽とダンス・シアター」チラシ	1978 (昭和 53)	印刷物	
66		フェスティバル・ドートンヌ・パリ「間展」図録	1978 (昭和 53)	印刷物	
67		フェスティバル・ドートンヌ・パリ「間展」、小杉武久と鈴木昭男演奏風景(撮影: 青山マミ)	1978 (昭和 53)	写真	
68		鈴木昭男のポートレート(撮影: 田原桂一)	1978 (昭和 53)	写真	
69		Serge LOUPIEN「Kosugi et Suzuki les bricolos nippons」『Liberation』1978年12月19日付	1978 (昭和 53)	コピー	
70		「OBJETS SONORES et MULTI-MUSIQ 小杉武久と鈴木昭男によるインプロビゼーション」(LEURS AMIS、パリ)チラシ	1978 (昭和 53)	印刷物	
71		秋山邦晴「パリ秋の芸術祭」日本音楽特集『音楽芸術』1979年4月号	1979 (昭和 54)	印刷物	
<b>「間展」以降の展開</b>					
72		「小杉武久 鈴木昭男 ジョイントコンサート」(青山ベルコモンズ) チラシ	1979 (昭和 54)	印刷物	
73		木村要一「空間の音楽 小杉武久と鈴木昭男のデュオ・パフォーマンス」『音楽芸術』1979年5月号(撮影: 神山貞次郎)	1979 (昭和 54)	印刷物	
74		松岡正剛「新聴力物質発見のために」『美術手帖』1979年5月号	1979 (昭和 54)	コピー	
75		『美術手帖』1979年5月号	1979 (昭和 54)	印刷物	
76		丸山亮「日常の地平の置かれた音たち」『象』1979年夏号	1979 (昭和 54)	コピー	
77		『象』1979年夏号	1979 (昭和 54)	印刷物	
78		「小杉武久と鈴木昭男」(クーバー・ヒューイット装飾美術館、ニューヨーク) チラシ	1979 (昭和 54)	印刷物	「間展」巡回展
79		Tom Johnson「Kosugi and Suzuki: Stunning by Coincidence」『Village Voice』1979年4月23日付	1979 (昭和 54)	印刷物	
80		本山薫「ニューヨークの鈴木昭男と小杉武久」『音楽芸術』1979年8月号	1979 (昭和 54)	印刷物	
81		「FESTIVAL NIEUWE MUSIEK」(ミドルブルグ、オランダ)パンフレット	1979 (昭和 54)	印刷物	
82		「FESTIVAL NIEUWE MUSIEK」にて小杉武久との演奏風景	1979 (昭和 54)	写真	
83		「6つの音響楽」展(白樺画廊) チラシ	1979 (昭和 54)	印刷物	
84		鈴木昭男《らせん状エンドレスの音づくり》のためのテキスト	1979 (昭和 54)	コピー	「6つの音響楽」展にて演奏
85		《らせん状エンドレスの音づくり》	1979 (昭和 54)	写真	「6つの音響楽」展にて演奏
86		「即興群」(明大前キッドアイラックホール) チラシ	1979 (昭和 54)	印刷物	
87		「Summer Performance 1979 Plan for continuous Performance Vol.3」チラシ	1979 (昭和 54)	印刷物	
88		「Summer Performance 1979 Plan for continuous Performance Vol.3」チケット	1979 (昭和 54)	印刷物	
89		「鈴木昭男(演奏)による新しい音の聴き方」(名古屋アメリカンセンター)リーフレット	1979 (昭和 54)	印刷物	
90		「鈴木昭男 新聴力コンサート」(大阪アメリカンセンター)リーフレット	1979 (昭和 54)	印刷物	
91		「鈴木昭男 吉沢元治 芳賀隆夫」(鈴木昭男アトリエ) チラシ	1979 (昭和 54)	印刷物	
92		「一角双紙 鈴木昭男の側面展」(白樺画廊)案内状	1980 (昭和 55)	印刷物	
93		「一角双紙 鈴木昭男の側面展」会場風景	1980 (昭和 55)	写真	
94	鈴木 昭男	《非定型概念誌メッツオ0号》	1980 (昭和 55)	印刷物	「一角双紙 鈴木昭男の側面展」にて展示
<b>コンセプトチュアル・パフォーマンスの展開</b>					
95		「オープニング・コンサート」(ローマ)ポスター	1980 (昭和 55)	印刷物	
96		「オープニング・コンサート」(ローマ)プログラム	1980 (昭和 55)	印刷物	
97		「オープニング・コンサート」時のスナップ(撮影: 青山マミ)	1980 (昭和 55)	写真	中央に鈴木七恵、右に Giorsio Battistel
98		「AKIO SUZUKI IN CONCERT」(アート・ギャラリー・オブ・オンタリオ、トロント) チラシ	1980 (昭和 55)	印刷物	
99		「AKIO SUZUKI IN CONCERT」(アート・ギャラリー・オブ・オンタリオ、トロント)案内状	1980 (昭和 55)	印刷物	
100		「サウンド・オン・ペーパー 日本の楽譜」展図録(ジャパン・ハウス・ギャラリー、ニューヨーク)	1981 (昭和 56)	印刷物	鈴木昭男《Picture Score for Inspiration: Markings #1》が表紙
101		「サウンド・オン・ペーパー 日本の楽譜」展チケット	1981 (昭和 56)	印刷物	
102	鈴木 昭男	《パフォーマンス・ブック》	1977 (昭和 52)	印刷物	「サウンド・オン・ペーパー 日本の楽譜」展に出品
103		Gregory Sandow「Minor Ideals」『ヴィレッジ・ヴォイス』Vol.XXXVI No.22 (1981年5月27日〜6月2日)	1981 (昭和 56)	コピー	
104		John Rockwell「Art and Music Notation Combine at Japan House」『ニューヨーク・タイムズ』1981年7月18日付	1981 (昭和 56)	コピー	
105		「鈴木昭男の音の展覧会」(サブリメントギャラリー) 冊子の青焼き	1981 (昭和 56)	印刷物	
106		「鈴木昭男の音の展覧会」(サブリメントギャラリー) 案内状	1981 (昭和 56)	印刷物	
107		鎌谷幸信「宇宙の音をつかまえて」『TODAY』1981年6月号	1981 (昭和 56)	印刷物	
108		「鈴木昭男・たどりの音楽展」(Studio200) チラシ	1982 (昭和 57)	印刷物	
109		「カンパニー・ウィーク 1982」(ICA ロンドン) チラシ	1982 (昭和 57)	印刷物	デレク・ベイリー企画
110		「ICA イベント」プログラム	1982 (昭和 57)	印刷物	
111		「ミクロ・サウンド・イベント」(オリヴィエ・ケピユ・吉村弘・鈴木昭男) (サブリメント・ギャラリー) チラシ	1982 (昭和 57)	印刷物	
112	オリヴィエ・ケピユ、吉村弘、鈴木 昭男	「ミクロ・サウンド・イベント」ボックスセット(サブリメント・ギャラリー)	1982 (昭和 57)	各作家の作品	やテキストなど
113		「スペース桐里 '82 催し②—⑦」(スペース桐里) チラシ	1982 (昭和 57)	印刷物	
114		「鈴木昭男・背景のある展覧会」(スペース桐里) チラシ	1982 (昭和 57)	印刷物	
115		「鈴木昭男・背景のある展覧会」演奏風景(撮影: 木之下晃)	1982 (昭和 57)	写真	
116		『桐里通信』第3号、スペース桐里、1982年12月1日	1982 (昭和 57)	印刷物	
117		鈴木昭男個展「サウンド・ワーク」(ジャパンハウス、ニューヨーク) チラシ	1983 (昭和 58)	印刷物	

No.	作者名	作品名/資料名	制作年/発行年	材質、技法	所蔵/備考
118	鈴木昭男	個展「サウンド・ワーク」(ジャパンハウス、ニューヨーク) 案内状	1983 (昭和 58)	印刷物	
119	鈴木昭男	個展「サウンド・ワーク」(ジャパンハウス、ニューヨーク) 演奏風景 (撮影: 本田理)	1983 (昭和 58)	写真	
120	鈴木昭男	個展「サウンド・ワーク」にて流した映像から	1983 (昭和 58)	写真	
121	鈴木昭男	「サウンドアラウンド・コンサート」(フランクリン・ファーンズ、ニューヨーク) チラシ	1983 (昭和 58)	印刷物	
122		「SOUND WORK Vol.1 Philip Corner & 鈴木昭男」(鎌倉画廊) チラシ	1983 (昭和 58)	印刷物	
123		鎌倉画廊での演奏風景 (撮影: 安斎重男)	1983 (昭和 58)	写真	前方: 小杉武久 後方: 左から 吉村弘、高木元輝、鈴木昭男
124		「ART-NOW no.5 波動・音波・波・ことば」(板橋区立美術館) ポスター	1983 (昭和 58)	印刷物	
125		「鈴木昭男のサウンドワーク」(宮城県美術館) チラシ	1983 (昭和 58)	印刷物	
126		「鈴木昭男のサウンドワーク」(宮城県美術館) 企画書	1983 (昭和 58)	印刷物	
127		「プロ・ムジカ・ノーバ 84」(プレーメン) ポスター	1984 (昭和 59)	印刷物	
128		「プロ・ムジカ・ノーヴァ 84」(プレーメン) 図録	1984 (昭和 59)	印刷物	
129		「ツァイト・スタディ」(クンストラーハウス・ベタニエン、ベルリン) ポスター	1984 (昭和 59)	印刷物	
130		「ツァイト・スタディ」(クンストラーハウス・ベタニエン、ベルリン) コンサート風景	1984 (昭和 59)	写真	
131		「小杉武久 鈴木昭男コンサート」(ギャラリー・ジャノッツォ、ベルリン) プログラム	1984 (昭和 59)	印刷物	
132		「鈴木昭男「スタディ・タイム」」(Studio200) チラシ	1984 (昭和 59)	印刷物	
133		「11月のスタジオ 200 スケジュール」(Studio200)	1984 (昭和 59)	印刷物	
134		「サウンド・ジャック 小杉武久と鈴木昭男のデュオ」Studio200での演奏風景 (撮影: 須藤力)	1984 (昭和 59) 頃	写真	
135		「高橋アキ・新しい耳」シリーズ III」(横浜市教育文化ホール) プログラム	1985 (昭和 60)	印刷物	鈴木昭男作曲「モアレ」
136		「日本前衛の未来展」(テアトロ・ガリバルディ、ジェノバ) ポスター	1985 (昭和 60)	印刷物	
137		「日本前衛の未来」展(テアトロ・ガリバルディ、ジェノバ) リーフレット	1985 (昭和 60)	印刷物	
138		「鈴木昭男 点音」展(転形劇場 T2 スタジオ) ポスター	1986 (昭和 61)	印刷物	
139		「鈴木昭男 点音」展(転形劇場 T2 スタジオ) チラシ	1986 (昭和 61)	印刷物	
140		「鈴木昭男 点音」展(転形劇場 T2 スタジオ) リーフレット	1986 (昭和 61)	印刷物	
141		「神奈川「芸術のー平和への対話」展」ポスター	1986 (昭和 61)	印刷物	
142		「鈴木昭男 サウンド・エキシビジョン」(フロインデ・ゲーター・ムジック)	1986 (昭和 61)	印刷物	Matias Osterwald 企画
143		「アルメディア・インターナショナル・フェスティバル」(アルメディア・シアター、ロンドン) プログラム	1987 (昭和 62)	印刷物	
144		「ドクメンタ 8・パフォーマンス部門」(カッセル) ポスター	1987 (昭和 62)	印刷物	
145		ドクメンタ 8 (カッセル) のパフォーマンス部門に出場した際の私家版冊子	1987 (昭和 62)	印刷物	
146		ドクメンタ 8 (カッセル) での演奏風景 (撮影: テリー・フォックス)	1987 (昭和 62)	写真	
147		「目で聴くサウンド・ウォッチング FROM SCRATHU」(こどもの城) チラシ	1988 (昭和 63)	印刷物	
148		「目で聴くサウンド・ウォッチング」(こどもの城) 図録	1988 (昭和 63)	印刷物	
<b>日向ぼっこの空間 1988 年</b>					
149	高橋睦郎 (編集)	『未来のアダム』展図録 (西武百貨店渋谷店美術画廊)	1985 (昭和 60)	印刷物	「日向ぼっこの空間」に ついてのテキスト掲載
150		日干しブロック型	1987 (昭和 62)	木、ゴム	スタッフと共に考案
151		「鈴木昭男展」案内状 (鎌倉画廊)	1987 (昭和 62)	印刷物	「日向ぼっこの空間」中間報告
152		「鈴木昭男展」カタログ (鎌倉画廊)	1987 (昭和 62)	印刷物	「日向ぼっこの空間」中間報告
153		「プロジェクトのカレンダー」式ポスター」	1987 (昭和 62)	シルクスクリーン、紙	「鈴木昭男展」(鎌倉画廊)に出品
154		「鈴木昭男展」(鎌倉画廊) パフォーマンス風景	1987 (昭和 62)	写真 (2 枚)	
155		『ブロックカンパ趣意書』	1987 (昭和 62)	印刷物	
156	鈴木昭男	「日向ぼっこの空間」モノタイプ版画	1988 (昭和 63)	高天山の赤土、ボンド 空刷りにステンシル	鎌倉画廊の依頼により 制作
157		「日向ぼっこの空間」のためのスケッチ	1988 (昭和 63)	コピー	
158		「日向ぼっこの空間」の制作現場	1988 (昭和 63)	写真 (2 枚)	
159		「日向ぼっこの空間」(1988 年 9 月 22 日に撮影: 和田淳子)	1988 (昭和 63)	写真 (2 枚)	
160		「音楽人探訪第 9 回 鈴木昭男」(インタビュー: 武田明倫) 『ポリフォーン』1992 年 10 月号 (サントリー音楽財団)	1992 (平成 4)	コピー	
161		『ポリフォーン』1992 年 10 月号 (サントリー音楽財団)	1992 (平成 4)	印刷物	
162		「耳すまし手で触れよう / 地球の音きく / 丹後の山中 壮大な実験 / 現代音楽家・鈴木昭男さんらー レンガ 2 万個で「壁」」『読売新聞』1988 年 1 月 1 日付	1988 (昭和 63)	コピー	
163		『日向ぼっこの空間 1987 ~ 1988』	1993 (平成 5)	印刷物	「音・鈴木昭男 + - 0 展(ジー ベックホール)に際し制作
164		風化した日干しブロック	1988 (昭和 63)-2017 (平成 29)	高天山の赤土	「日向ぼっこの空間」(1988) から 29 年目の 2017 年に採取
<b>古代の丘のあそび</b>					
165		「古代の丘のあそび 3」ポスター	1996 (平成 8)	印刷物	
166		「古代の丘のあそび」冊子	1991 (平成 3)	印刷物	
167		「古代の丘のあそび 2」冊子	1993 (平成 5)	印刷物	
168		「古代の丘のあそび 3 丹後 '96 一聖域一」冊子	1996 (平成 8)	印刷物	
<b>サウンド・インスタレーション</b>					
169	鈴木昭男	《Seseragi》「仮装する空間」展 (愛知芸術文化センター) カタログより	1994 (平成 6)	コピー	
170		「Die Stillen」展 (マール彫刻美術館、ドイツ) リーフレット	1994 (平成 6)	印刷物	
171	鈴木昭男	《アカシヤに・・》「Die Stillen」展での展示	1994 (平成 6)	写真	
172	鈴木昭男	《アカシヤに・・》スケッチ	1994 (平成 6)	コピー	
173		個展「Quartett」(プレーメン市立ギャラリー、ドイツ) リーフレット	1994 (平成 6)	印刷物	
174	鈴木昭男	《Quartett》スケッチ	1994 (平成 6)	コピー	
175		個展「Lyd Udstilling なげかけとたどり」(ロスキレ現代美術館、デンマーク) ポスター	1994 (平成 6)	印刷物	

No.	作品名 / 資料名	制作年 / 発行年	材質、技法	所蔵 / 備考
176	個展「Lyd Udstilling なげかけとたどり」(ロスキレ現代美術館、デンマーク) チラシ	1994 (平成 6)	印刷物	
177	「Lyd på Udstilling」『Politiken』1994 年 11 月 29 日付	1994 (平成 6)	コピー	鈴木昭男《NOWAKI (野分き)》図版
178	個展「なげかけとたどり」(Het Apollohuis、アイントホーフェン / オランダ) チラシ	1994 (平成 6)	印刷物	
179	個展「Stone」(クンストラーハウス・ベタニエン、ベルリン) 招待状	1994 (平成 6)	印刷物	
180	個展「Stone」(クンストラーハウス・ベタニエン、ベルリン) パンフレット	1994 (平成 6)	印刷物	
181	「Berliner Künstlerprogramm Akio Suzuki」『DAAD Letter』1995 年 2 月	1994 (平成 6)	コピー	
182	「第 7 回京都国際現代音楽フォーラム [音は社会]」チラシ	1995 (平成 7)	印刷物	鈴木昭男《耳・住む・澄ます》白川流域 (京都市) に展示
183	「第 7 回京都国際現代音楽フォーラム [音は社会]」冊子	1995 (平成 7)	印刷物	
184	中川真「音への気づき」(サウンドフィールド京都 16) 『京都新聞』1995 年 11 月 21 日付	1995 (平成 7)	コピー	
185	中川真「せせらぎの波紋」(サウンドフィールド京都 17) 『京都新聞』1995 年 11 月 28 日付	1995 (平成 7)	コピー	
186	個展「鈴木昭男 Klangräume (音の空間)」(ザールブリュッケン市立ギャラリー、ドイツ) ポスター	1997 (平成 9)	印刷物	
187	鈴木昭男《花》個展「鈴木昭男 Klangräume (音の空間)」での展示	1997 (平成 9)	写真	
188	「ドナウエッシンゲン現代音楽祭」(ドイツ) プログラム	1998 (平成 10)	印刷物	鈴木昭男《せせらぎ》出品
189	「サウンドカルチャー 99」(オークランド / ニュージーランド) 冊子	1999 (平成 11)	印刷物	鈴木昭男《ピラミッド》出品
190	「UND II Klang-Kunst-Festiva」(ヴァースバーデン / ドイツ) 招待状	1999 (平成 11)	印刷物	鈴木昭男《ピラミッド》出品
191	「UND II Klang-Kunst-Festiva」(ヴァースバーデン / ドイツ) 図録	1999 (平成 11)	印刷物	鈴木昭男《ピラミッド》出品
192	鈴木昭男《ピラミッド》スケッチ	1999 (平成 11)	コピー	
193	個展「チューブリッジ 99 - 00」(DAAD ギャラリー、ベルリン) 図録	1999 (平成 11)	コピー	
194	個展「Bamblock」(Gelbe Musik、ベルリン) 招待状	2000 (平成 12)	印刷物	鈴木昭男《Bamblock》出品
195	「Stimme Klänge der Natur Die Installationen von Akio Suzuki und Ulrich Eller in Berlin verlangen genaues Zuhören」『Die Spiegel』2000 年 9 月 25 日付	2000 (平成 12)	コピー	
196	「Musik für den Blick nach draußen」(ハンブルガー・バーンホフ、ベルリン) 招待状	2001 (平成 13)	印刷物	鈴木昭男《ハンバー・ハーブ》出品
197	鈴木昭男《ハンバー・ハーブ》ハンブルガー・バーンホフでの展示	2001 (平成 13)	写真	
198	個展「なげかけ」&「たどり」(アートスペース虹、京都市) 案内状	2002 (平成 14)	印刷物	
199	個展「なげかけ」&「たどり」展示風景	2002 (平成 14)	写真	
200	鈴木昭男「サウンドスフィア 2003」展(大英博物館、ロンドン) チラシ	2003 (平成 15)	印刷物	
201	鈴木昭男《フィフティーン》「アーキベル・フェスティバル」(ジュネーブ) での展示	2003 (平成 15)	写真	
202	個展「つらなり」(ヨコハマポートサイドギャラリー) 招待状	2003 (平成 15)	印刷物	鈴木昭男《つらなり》出品
203	個展「つらなり」(ヨコハマポートサイドギャラリー) リーフレット	2003 (平成 15)	印刷物	
204	鈴木昭男《I ZA NA I 2004 (いざないの空間)》ストラズブル市ライン川公園での展示	2004 (平成 16)	写真	
205	鈴木昭男《一本の竹から》スケッチ	2004 (平成 16)	コピー	鈴木昭男「レゾナンス」展 (2004、ザツキン美術館、パリ)
206	「Cosmique Bled」展(レ・ザック / フランス) ポスター	2004 (平成 16)	印刷物	
207	「Cosmique Bled」展(レ・ザック / フランス) パンフレット	2004 (平成 16)	印刷物	
208	鈴木昭男《風のキッス》「Cosmique Bled」展での展示	2004 (平成 16)	写真	
209	鈴木昭男《点気》個展「鈴木昭男展 点気」一宮市三岸節子記念美術館での展示	2008 (平成 20)	写真	
210	高橋綾子「鈴木昭男展 五感を聞き、「気配」実感」『朝日新聞』2008 年 8 月 5 日付	2008 (平成 20)	コピー	
211	鈴木昭男《たたずみ》「音が描く風景 / 風景が描く音—鈴木昭男・八木良太—」(横浜市民ギャラリーあざみ野) での展示	2010 (平成 20)	写真	
212	鈴木昭男《na ge ka ke》「AV フェスティバル」(Globe Gallery、ニューカッスル) での展示	2014 (平成 26)	写真	
213	「AV フェスティバル」(Globe Gallery、ニューカッスル) パンフレット	2014 (平成 26)	印刷物	
214	個展《pa chi n ko》(SOUTHFIRST、ニューヨーク) 案内	2016 (平成 28)	印刷物	
215	Holland Cotter 「Where the art is: 49 Shoes to Browse This Spring」『New York Times』2016 年 4 月 21 日付	2016 (平成 28)	コピー	個展《pa chi n ko》記事
<b>点音</b>				
216	「ソナムビエンテ・フェスティバル(聴くことと見ることのために)」(ベルリン) ポスター	1996 (平成 8)	印刷物	ベルリンにて初めて《点音》を発表
217	ベルリンでの点音(撮影: Akinbode Akinbiyi)	1996 (平成 8)	写真(2 枚)	
218	「レゾナンス 鈴木昭男—オシップ・ザツキン展」(ザツキン美術館、パリ) ポスター	2004 (平成 16)	印刷物	
219	「d'ou l'e coute prend forme」展(バスレル・アート・センター、プレスト) ポスター	2006 (平成 18)	印刷物	
220	「ノイズレス」鈴木昭男+ホルフ・ユリウス 展(京都国立近代美術館) ポスター	2007 (平成 19)	印刷物	
221	「oto-date NA GI SA」(水の塔公園地区、ベルリン) ポスター	2008 (平成 20)	印刷物	
222	「AV フェスティバル」(Globe Gallery、ニューカッスル) での「点音」	2014 (平成 26)	写真(4 枚)	
223	国内外各地での「点音」の記録。チラシ、マップ、写真など多数			
<b>パフォーマンス映像記録</b>				
224	「+0 音・鈴木昭男」サウンドイベントと展覧会(ジーベックホール、神戸)の映像記録 1993 年 7 月 7 日、8 日、9 日、10 日、9 月 4 日に収録 撮影・編集: 久保憲二 再編集: 塩崎朗浩 (2018 年)	1993 (平成 5)		約 60 分、ビデオテープからデジタルデータに変換
01	ハウリング・オブジェ Howling Object			
02	アナラポス + デコールメス (グラスハーモニカ) ANALAPOS+Glass Harmonica "De Koolmees"			
03	スプリング・ハンマー Spring Hammer			
04	うちのねこ u chi no neko(My Cat)			
05	ポータブルプレーヤーによる皿まわし Plate Juggling			
06	笛つき風船による PLAY Reed Balloon Juggling			
07	ユージング・ペーパーズ Using Papers			
08	段ボール箱とセロハンテープ Cardboard Box			
09	ディナー・プレート Dinner Plate			
10	石うち ishi u chi(Stone)			
11	パフォーマンス・ブック Performance Book			
12	かのように als ob			

No.	作品名/資料名	制作年/発行年	材質、技法	所蔵/備考
<b>音源や図録など</b>				
225	「Mezzo N° 0」 コジマ録音 (日本)	1980 (昭和 55)	ソノシート	
226	鈴木昭男「時間の穴 ANALAPOS」 ALM Record(日本)	1980 (昭和 55)	レコード	
227	小杉武久 + 鈴木昭男「A New Sense Of Hearing」 ALM-Uranoia(日本)	1980 (昭和 55)	レコード	
228	鈴木昭男「Zeitstudie」 Edition Giannozzo (ドイツ)	1984 (昭和 59)	カセットテープ	
229	鈴木昭男「Soundsphere」 Het Apollohuis / Apollo Records (オランダ)	1990 (平成 2)	図録と CD	
230	鈴木昭男「Stone」 Berliner Künstlerprogramm des DAAD (ドイツ)	1994 (平成 6)	図録と CD	
231	鈴木昭男「A' Sound Works - Throwing and Following」 Stadtgalerie Saarbrücken (ドイツ)	1998 (平成 10)	図録	
232	鈴木昭男「Tubridge 99-00」 Berliner Künstlerprogramm des DAAD (ドイツ)	2000 (平成 12)	図録と CD	
233	鈴木昭男「奇集」 Hören (日本)	2002 (平成 14)	CD	
234	鈴木昭男「Résonances: Akio Suzuki - Ossip Zadkine」 ザツキン美術館 (フランス)	2005 (平成 17)	図録と CD	
235	鈴木昭男「K7 Box」 ALM Records (日本)	2007 (平成 19)	CD	
236	鈴木昭男「点音 in 和歌山 2005」 和歌山県立近代美術館 (日本)	2006 (平成 18)	記録集と CD	
237	鈴木昭男「点音」 一宮市三岸節子記念美術館 (日本)	2009 (平成 21)	図録と DVD	
238	鈴木昭男「Gelbe Musik Editions 1999 - 2000」 and/OAR (アメリカ)	2014 (平成 26)	CD	
239	鈴木昭男「Mu Ro Bi Ko」 Senufo Editions (イタリア)	2014 (平成 26)	レコード	
240	「甲斐説宗の音楽」 fontec (日本)	2016 (平成 28)	CD	「アナラポスのためのインターアクティヴィティ」 収録

その他ファイリング資料



チラシ表



チラシ裏



オープニング・パフォーマンス



クロージングイベント



展示風景



## 3-6. 特集「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III 禅僧の如き風姿—富田溪仙の画境」

- 会 期： 2018 (平成 30) 年 8 月 4 日 (土) ～ 10 月 21 日 (日)
- 会 場： 展示室 A (1 階)
- 主 催： 和歌山県立近代美術館
- 内 容： 特集として、滋賀県立近代美術館の寄託作品を主に紹介する「特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III 禅僧の如き風姿—富田溪仙の画境」のコーナーを設けた。
- 展 示 点 数： 1 作家 5 点、資料 8 点
- 担当学芸員： 藤本真名美
- 制 作 物： ・出品目録 (A4 判 4 頁) ※「コレクション展 2018- 夏秋」と共通  
・プレスリリース (A4 判 5 頁) ※「コレクション展 2018- 夏秋」/「特集「鈴木昭男 音と場の探究」と共通  
・英語版概要 (A4 判 1 頁)
- 入 場 料 金： 一般 340 円 (270 円)、大学生 230 円 (180 円) ( ) 内は 20 名以上の団体料金 「コレクション展 2018- 夏秋」と共通 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。
- 工 夫： 滋賀県立近代美術館の日本画コレクションの中から、院展で活躍した京都の日本画家富田溪仙 (1879 ～ 1936) の作品を取り上げた。
- 自己評価・課題・改善案： 少ない作品点数ではあったが、個人から溪仙自筆の書簡類なども借用して展示し、展覧会を充実させることができた。特別展の準備で手が回らず、解説パネルの設置は一部の書簡の翻刻にとどまり、作品解説パネルを設置できなかった。
- 関 連 記 事： ・「富田溪仙と鈴木昭男 近代美術館で二つの特集展示」『わかやま新報』2018 年 8 月 8 日、3 面  
・正木利和「院展の画家たち III 禅僧の如き風姿—富田溪仙の画境 和歌山県立近代美術館 自由で軽快 澄んだ精神」『産経新聞』2018 年 8 月 24 日夕刊、4 面
- 情 報 掲 載： ・「カルチャーインフォメーション◇和歌山県立近代美術館 コレクション展 2018- 夏秋 特集 鈴木昭男 音と場の探究 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III」『ワカビー』7・8 月号 vol.80、2018 年 7 月発行、p.8  
・「コレクション展 2018- 夏秋 県立近代美術館 改修中の滋賀県立近代美術館コレクションの一部も公開 10/21 まで」『和歌山特報』2018 年 8 月 11 日、10 面  
・「カルチャーインフォメーション◇和歌山県立近代美術館 特集 院展の画家たち III 禅僧の如き風姿—富田溪仙の画境」『ワカビー』9・10 月号 vol.81、2018 年 9 月発行、p.8  
・「展覧会 INFORMATION 和歌山県立近代美術館 院展の画家たち III 禅僧の如き風姿—富田溪仙の画境」『つくりびと』2018 年 9 月発行、p.15

### 特集「院展の画家たち III 禅僧の如き風姿—富田溪仙の画境」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
1	富田 溪仙	祇園夜桜図	制作年不明	顔料、絹	71.7 × 71.0	滋賀県立近代美術館蔵
2		淡路島	1930 (昭和 5) 頃	顔料、絹	125.0 × 28.0	滋賀県立近代美術館蔵
3		保津鮎釣	1935 (昭和 10) 頃	顔料、絹	132.0 × 41.5	滋賀県立近代美術館蔵
4		「列仙」のうち 西王母	1920 (大正 9)	顔料、紙	69.5 × 72.5	滋賀県立近代美術館蔵
5		蕭史	1920 (大正 9)	顔料、紙	71.5 × 73.5	滋賀県立近代美術館蔵
6		孫登	1920 (大正 9)	顔料、紙	71.5 × 73.5	滋賀県立近代美術館蔵
7		羅真人	1920 (大正 9)	顔料、紙	71.5 × 73.5	滋賀県立近代美術館蔵
8		朱繻子	1920 (大正 9)	顔料、紙	71.5 × 73.5	滋賀県立近代美術館蔵
9		瞿夫人	1920 (大正 9)	顔料、紙	71.5 × 73.5	滋賀県立近代美術館蔵
10		王延	1920 (大正 9)	顔料、紙	71.5 × 73.5	滋賀県立近代美術館蔵
11		雲上鶴図	1935 (昭和 10) 頃	顔料、絹	各 167.2 × 184.6	滋賀県立近代美術館蔵
〈富田溪仙関係資料〉						
12		富田溪仙編『華香墨蹟』	発行：富田溪仙 1932 (昭和 7) 年			個人蔵
13		淡川康一編『富田溪仙画伯遺愛 仙厓墨蹟』	発行：マリア書房 1954 (昭和 29) 年			個人蔵
14		富田溪仙著・装幀『無用の用』	発行：人文書院 1936 (昭和 11) 年 第九版			個人蔵
15		下店静市編『溪仙八十一話』	発行：改造社 1925 (大正 14) 年			個人蔵
16		富田溪仙下店静市宛書簡、1925 (大正 14) 年 9 月 23 日消印				個人蔵
17		富田溪仙下店静市宛書簡、1926 (大正 15) 年 □月 17 日消印				個人蔵
18		富田溪仙下店静市宛書簡、1928 (昭和 3) 年 2 月 2 日消印				個人蔵
19		富田溪仙下店静市宛書簡、□年 9 月 22 日消印				個人蔵



展示風景

## 3-7. コレクション展 2018 一秋冬「和歌山ゆかりの作家たち」

会 期： 2018 (平成 30) 年 10 月 30 日 (火) ～ 12 月 24 日 (月・祝)

会 場： 展示室 C (2 階)

主 催： 和歌山県立近代美術館

内 容： 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示した。

展 示 点 数： 76 作家 118 点 (特集「国展の版画」10 作家 32 点)

担当学芸員： 青木加苗

関 連 事 業： ・ギャラリートーク (特集「国展の版画」を含む)

日時：12月2日(日)13名、12月16日(日)10名 いずれも14:00～15:00 青木加苗、宮本久宣

制 作 物： ・出品目録 (A4 判 6 頁) ※特集「国展の版画」と共通

・プレスリリース (A4 判 3 頁) ※特集「国展の版画」と共通

・英語版概要 (A4 判 1 頁)

入 場 料 金： 一般 340 円 (270 円)、大学生 230 円 (180 円) ( ) 内は 20 名以上の団体料金 「特集「国展の版画」」と共通 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫： 展示全体を「和歌山ゆかりの作家たち」と題して 4 章で構成。前半 2 章では、同時期開催となる「国画創作協会の全貌展」にあわせて、同時代の洋画の流れを「個性の発露、日本と西洋」、国画創作協会の作家たちによる日本画を「コレクションに見る国展画家たち」というテーマで紹介し、加えて特集展示として「国展の版画」を設けた。後半は「和歌山と移民画家」、「戦争を挟んで、そして現代まで」というテーマを設け、1 章から 4 章にわたって和歌山ゆかりの作家を中心に構成し、コレクションの厚みを紹介した。展示の最後では、滋賀県立近代美術館からの寄託作品と当館所蔵作品から「色彩の 3 人：スティール/ロスコ/岡田謙三」という 3 人の同時代画家による 4 作品に焦点を絞って紹介した。

自己評価・課題・改善案： コレクション展示でも、出品作品の選定意図を明確に解説等で示した。またキャプションに「和歌山ゆかり」の記号をつけ、来館者に伝わりやすい工夫した。

### 「コレクション展 2018- 秋冬 和歌山ゆかりの作家たち」出品目録

※【前期展示】10月30日～11月25日／【後期展示】11月27日～12月24日 ※特に記載のない作品は当館蔵。

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
<b>和歌山ゆかりの作家たちⅠ 個性の発露、日本と西洋</b>						
1	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳 (1910 年代)	油彩、キャンバス	79.5 × 140.7	個人蔵
2	梅原 龍三郎	小川 (プルトーニョ風景)	1909 (明治 42)	油彩、キャンバス	24.6 × 32.4	個人蔵
3	有島 生馬	樹下の裸婦	1913 (大正 2)	油彩、キャンバス	52.5 × 45.5	
4	田中 恭吉	バラの刺	1914 (大正 3)	油彩、キャンバス	45.5 × 33.4	恩地邦郎氏寄贈
5	田中 恭吉	すずらん	1912 (明治 45/大正元)	油彩、板	22.2 × 15.8	恩地邦郎氏寄贈
6	藤森 静雄	花	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	33.0 × 24.0	恩地邦郎氏寄贈
7	恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治 45/大正元)	油彩、キャンバス	45.0 × 33.3	恩地邦郎氏寄贈
8	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914 (大正 3)	油彩、キャンバス	61.0 × 45.5	個人蔵
9	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正 3)	油彩、板	51.3 × 39.2	個人蔵
10	木村 荘八	水道橋	1918 (大正 7)	油彩、キャンバス	45.5 × 38.4	
11	小林 徳三郎	風景	1918 (大正 7)	油彩、キャンバス	40.8 × 31.8	
12	萬 鉄五郎	雪の景	1916-1918 (大正 5-7) 頃	油彩、キャンバス	50.0 × 60.6	個人蔵
13	萬 鉄五郎	風景	1922 (大正 11) 頃	油彩、キャンバス	33.3 × 46.0	個人蔵
14	国枝 金三	島の四月	1917 (大正 6)	油彩、キャンバス	65.2 × 80.4	国枝めい氏寄贈
15	保田 龍門	風景	1918 (大正 7)	油彩、キャンバス	46.0 × 60.8	保田春彦氏寄贈
16	保田 龍門	K 婦人の像	1920 (大正 9)	油彩、キャンバス	60.6 × 46.0	龍門展開催委員会寄贈
17	保田 龍門	アンドレの首	1922 (大正 11)	ブロンズ	20.3 × 20.0 × 20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈
18	建島 大夢	魔法使いの女	1923 (大正 12)/ 鑄造年不詳	ブロンズ	45.3 × 12.5 × 20.0	建島寛造氏寄贈
19	碓 伊之助	プザンソン風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	50.1 × 60.8	小島善太郎氏寄贈
20	川口 軌外	水差しのある静物	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	80.0 × 65.7	川口京村氏寄贈
21	木下 孝則	女優の像	1926 (大正 15/ 昭和元)	油彩、キャンバス	91.2 × 72.9	
22	佐伯 祐三	ベッドに坐る裸婦	1923 (大正 12)	油彩、キャンバス	91.1 × 65.5	玉井一郎氏寄贈
23	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.3	個人蔵
24	曾宮 一念	青色の静物	1926 (大正 15)	油彩、キャンバス	60.5 × 45.3	
25	鈴木 信太郎	静物	制作年不詳	油彩、キャンバス	39.8 × 54.4	篠田博之氏・篠田めぐみ氏寄贈
26	梅原 龍三郎	静浦 (口野) 風景	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	60.8 × 50.1	篠田博之氏・篠田めぐみ氏寄贈
<b>和歌山ゆかりの作家たちⅡ コレクションに見る国展画家たち</b>						
27	野長瀬 晩花	[秋の頃]	1917 (大正 6) 頃	顔料、紙	165.4 × 183.0	田中明里子氏寄贈
28	野長瀬 晩花	夕日に帰る漁夫 下絵	1920 (大正 9)	木炭・顔料、紙	169.4 × 360.5	野長瀬婉子氏寄贈
29	野長瀬 晩花	さみだれのころ	1920 (大正 9)	顔料、絹	154.5 × 51.0	
30	吹田 草牧	南国之初夏	1919 (大正 8) 頃	顔料、絹	127.0 × 42.1	
31	岡本 神草	舞妓図	1920 (大正 9) 頃	顔料、絹	42.0 × 51.0	
32	杉田 勇次郎	蔬菜	1925 (大正 14) 頃	顔料、絹	45.5 × 52.5	
33	伊藤 草白	葡萄之図	1925 (大正 14)	顔料、絹	41.9 × 51.4	
34	井上 永悠	南瓜	1955-1959 (昭和 30-34)	顔料、紙	31.3 × 54.0	篠田博之氏寄贈
35	丸岡 比呂史	犬	1925 (大正 14) 頃	顔料、絹	99.0 × 132.6	
36	榊原 紫峰	松に栗鼠	1925 (大正 14) 頃	顔料、絹	154.7 × 55.2	
37	日高 昌克	松に鷹	1931 (昭和 6)	顔料、絹	150.4 × 50.7	個人蔵

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
38	日高 昌克	草	1923 (大正 12)	顔料、絹	39.4 × 44.8	池田壽一氏寄贈
39	日高 昌克	澤邊の朝	1936 (昭和 11)	顔料、絹	68.2 × 86.8	個人蔵
40	日高 昌克	新秋の山	1954 (昭和 29)	顔料・墨、紙	58.2 × 30.1	個人蔵
41	野長瀬 晩花、秦テルヲ、村上華岳ほか	京都市立美術工芸学校・京都市立 絵画専門学校同窓生画帖 川井 古蛙 榑原 紫峰 平井 樺仙 秦 テルヲ 松宮 芳年 星野 空外 村上 華岳 野長瀬 晩花 野長瀬 晩花 櫻野 南陽	1912 (明治 45)	顔料、紙	18.0 × 24.0	【前期展示】 【前期展示】 【前期展示】 【前期展示】 【後期展示】 【後期展示】 【後期展示】 【後期展示】
42	小川 芋銭、野長瀬 晩花ほか	「寄合書画帖」 櫻野 南陽 川井 古蛙	1912 (明治 45)	顔料、紙	33.0 × 24.0	【前期展示】 【後期展示】
43	菅 橋彦、島成 園ほか	「寄合書画帖」 松宮 芳年 星野 空外	1913 (大正 2)	顔料、紙	30.3 × 22.8	【前期展示】 【後期展示】
44	野長瀬 晩花	『街の四季』 「春の宵」 「夕立」	1916 (大正 5)	顔料、紙	23.8 × 17.8	【前期展示】 【後期展示】
<b>和歌山ゆかりの作家たち III 和歌山と移民画家</b>						
45	浜地 清松	暖婦	1911 (明治 44)	油彩、キャンバス	102.2 × 82.1	古座町立津荷小学校寄贈
46	浜地 清松	裸婦	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	144.0 × 110.5	
47	国吉 康雄	乳しぼり	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.5	
48	杉本、ヘンリー	カーメルハイランド海辺	1937 (昭和 12)	油彩、キャンバス	80.6 × 106.0	作者寄贈
49	杉本、ヘンリー	寺院のみえるビーエー村	1940 (昭和 15)	油彩、キャンバス	80.4 × 100.6	
50	石垣 栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0 × 91.0	
51	石垣 栄太郎	キューバ島の反乱	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	181.5 × 139.0	石垣綾子氏寄贈
<b>和歌山ゆかりの作家たちIV 戦争を挟んで、そして現代まで</b>						
52	高井 貞二	感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7 × 91.0	作者寄贈
53	村井 正誠	アラブの窓	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	80.1 × 196.5	作者寄贈
54	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3 × 267.2	
55	原 勝四郎	道化	1941 (昭和 16)	油彩、厚紙	90.3 × 73.2	
56	須田 国太郎	風景	1950 (昭和 25) 頃	油彩、キャンバス	49.8 × 60.5	
57	建島 覚造	ORGAN	1962 (昭和 37)	セメント	95.0 × 123.0 × 23.8	
58	宇佐美 圭司	還元 No.6	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	135.0 × 184.8	
59	保田 春彦	作品 3-71	1971 (昭和 46)	真鍮、クロム・ホワイトメッキ	84.2 × 82.8 × 82.6	作者寄贈
60	野田 裕示	WORK 505	1988 (昭和 63)	アクリル絵具、キャンバス	262.3 × 183.2 × 7.0	
61	湯川 雅紀	Untitled (Tears)	2002 (平成 14)	油彩、キャンバス	230.0 × 190.0	作者寄贈
62	妻木 良三	Untitled	2002 (平成 14)	鉛筆、黒鉛、水彩、ケント紙	160.0 × 110.0	
63	小柳 裕	A View with the Steelworks	2014 (平成 26)	油絵、アクリル、キャンバス、パネル	153.0 × 202.2	作者寄贈
<b>色彩の3人：スタイル / ロスコ / 岡田謙三</b>						
64	スタイル、クリフォード	PH-386	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	287.0 × 393.7	滋賀県立近代美術館蔵
65	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6	
66	ロスコ、マーク	ナンバー 28	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	205.8 × 193.5	滋賀県立近代美術館蔵
67	岡田 謙三	入江	1959 (昭和 34)	油彩、キャンバス	189.0 × 155.5	
<b>展示室外の作品 エントランス周辺</b>						
68	ステラ、フランク	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル、キャンバス	304.0 × 760.0	
69	クルーガー、バーバラ	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7 × 268.1	
70	フラナガン、バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
71	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
72	鈴木 久雄	塔体 I	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 52.0 × 54.0	
73	鈴木 久雄	塔体 III	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 54.0 × 54.0	
74	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	
<b>ライトコート</b>						
75	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
76	ノグチ、イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
<b>階段・ホワイエ</b>						
77	北堅 吉彦	山並 - senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0 × 1020.0	作者の厚意により保存
78	鈴木 久雄	単錐台 - II	1984 (昭和 59)	鉄	113.0 × 119.5 × 120.0	
<b>テラス</b>						
79	鈴木 久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作者寄贈
80	鈴木 久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作者寄贈
81	鈴木 久雄	木の現象〈喬木 1〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
82	鈴木 久雄	木の現象〈喬木 2〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
<b>館周辺</b>						
83	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈

No.	作者名	作品名 / 題名	制作年 / 発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
84	スネルソン, ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
85	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	作者寄贈
86	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	



展示風景

## 3-8. 特集「国展の版画」

会 期：2018(平成30)年10月30日(火)～12月24日(月・祝)  
 会 場：展示室C(2階)  
 主 催：和歌山県立近代美術館  
 内 容：特別展「国画創作協会の全貌展」と同時期に2階展示室の一角で開催。国画創作協会展覧会(国展)の実際の出品作や、版画作品の出品作家の関連作品を展示した。

展 示 点 数：10作家32点

担当学芸員：宮本久宣・青木加苗

関 連 事 業：・ギャラリートーク(「コレクション展 2018- 秋冬」を含む)

日時：12月2日(日)13名、12月16日(日)10名 いずれも14:00～15:00 青木加苗、宮本久宣

制 作 物：・出品目録(A4判6頁)※「コレクション展 2018- 秋冬」と共通

・プレスリリース(A4判3頁)※「コレクション展 2018- 秋冬」と共通

・英語版概要(A4判1頁)

入 場 料 金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金 「コレクション展 2018- 秋冬「和歌山ゆかりの作家たち」と共通 高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料。第4土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料。

工 夫：国展開催当時には、日本画と版画が混ざって展示されていたことをイメージし、日本画コーナーと対置させた。所蔵品の中から国展の出品作やそれに近いものを選んで展示した。

自己評価・課題・改善案：国展に出品された版画作品の他、日本画を出品していながらも後に版画家として活躍する作家の作品を展示した。特別展との関連を全て当館所蔵作品で構成することで、コレクションの厚みを示すことができた。

関 連 記 事：・「新たな表現を創造 コレクション展で「国展の版画」近代美術館」『わかやま新報』2018年11月28日、3面

情 報 掲 載：・「カルチャーインフォメーション◇和歌山県立近代美術館 コレクション展 2018- 秋冬 和歌山ゆかりの作家たち 特集 国展の版画」『ワカビー』11・12月号 vol.82、2018年11月発行、p.8

### 特集「国展の版画」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
1	永瀬 義郎	[郊外風景]	1927(昭和2)	木版、紙	19.2×23.2	
2	永瀬 義郎	ある日の草人	1928(昭和3)	木版、紙	39.0×20.0	
3	平塚 運一	牛久沼付近	1924(大正13)	木版、紙	18.2×27.3	
4	平塚 運一	裸婦(『詩と版画社作集』より)	1925(大正14)	木版、紙	29.2×19.4	藤森素彦氏寄贈
5	平塚 運一	築地(『東京震災跡風景』より)	1923(大正12)	木版、紙	21.9×30.0	
6	平塚 運一	ニコライ会堂(『東京震災跡風景』より)	1923(大正12)	木版、紙	28.8×21.2	
7	平塚 運一	ネギ	1924(大正13)	木版、紙	23.1×14.5	
8	川上 澄生	春の伏兵	1924(大正13)	木版、紙	23.4×33.0	
9	川上 澄生	異国 雨の夕景	1925(大正14)	木版、紙	15.6×20.2	
10	川上 澄生	静物	1926(昭和元)頃	木版、紙	24.3×16.7	
11	川上 澄生	野球大会之図	1932(昭和7)	木版、紙	21.5×28.5	
12	平川 清蔵	風景A(『平川清蔵版画集』第1輯)より	1926(昭和元)	木版、紙	26.8×35.0	
13	平川 清蔵	マンドリンを弾く少女(『平川清蔵版画集』第1輯)より	1926(昭和元)	木版、紙	32.8×23.6	
14	川西 英	銭湯図	1920(大正9)	木版、紙	23.6×28.9	
15	川西 英	曲馬マーチ	1928(昭和3)	木版、紙	11.7×22.2	
16	川西 英	曲馬(黒白)	1929(昭和4)	木版、紙	21.4×28.2	
17	川西 英	トリオ	1929(昭和4)	木版、紙	26.2×23.3	
18	畦地 梅太郎	[母子像]	制作年不詳	木版、紙	29.1×25.5	
19	畦地 梅太郎	尾張町の一角(『きつつき』第二號 銀座号より)	1930(昭和5)	木版、紙	17.0×13.7	杉本義夫氏寄贈
20	畦地 梅太郎	満州 街の家(二)	1944(昭和19)	木版、紙	24.6×33.5	
21	麻田 辨自	湖水風景	制作年不詳	木版、紙	24.1×36.5	
22	麻田 辨自	煙管	制作年不詳	木版、紙	36.7×24.2	
23	麻田 辨自	雪の疏水	制作年不詳	木版、紙	21.4×28.4	
24	亀井 玄兵衛	鯛	1927(昭和2)	木版、紙	28.8×37.7	亀井寛子氏寄贈
25	亀井 玄兵衛	黒い家の風景	1928(昭和3)	木版、紙	21.0×31.0	亀井寛子氏寄贈
26	亀井 玄兵衛	静まれる四条街頭	1935(昭和10)頃	木版、紙	17.6×24.2	亀井寛子氏寄贈
27	亀井 玄兵衛	洛西鳴滝	1937(昭和12)頃	木版、紙	19.7×26.6	亀井寛子氏寄贈
28	徳力 富吉郎	[水路のある風景]	制作年不詳	木版、紙	14.8×20.5	
29	徳力 富吉郎	[建物のある風景]	制作年不詳	木版、紙	15.7×21.3	
30	徳力 富吉郎	静物	制作年不詳	木版、紙	19.9×25.2	
31	徳力 富吉郎	道頓堀の夜	1938(昭和13)	木版、紙	22.5×30.0	
32	中川 伊作	戦前の守礼門	1947(昭和22)	木版、紙	29.7×37.8	



展示風景

## 3-9. コレクション名品選

会 期：2019(平成31)年1月4日(金)～1月20日(日)

会 場：展示室B(1階)

主 催：和歌山県立近代美術館

内 容：県展と同時期に開催するため、通常の1/3の規模となり、所蔵品からよりすぐった作品で構成した。

展 示 点 数：33作家48点

担当学芸員：井上芳子

関 連 事 業：・こども美術館部「ひ・み・つ♡の美術館(美術館たんけん)」

日時：1月5日(土)12名11:00～11:45 青木加苗

・だれでも美術館部

日時：1月5日(土)5名14:00～14:45 青木加苗

制 作 物：・出品目録(A4判4頁)

・プレスリリース(A4判2頁)

・英語版概要(A4判1頁)

入 場 料 金：無料

工 夫：建畠大夢、保田龍門、川口軌外、石垣栄太郎、村井正誠らと和歌山ゆかりの代表的な作家をはじめ、岸田劉生、萬鉄五郎、佐伯祐三ほか同時代の作家たち、海外作品のコレクションからは、ピカソの版画とマーク・ロスコの油彩画を紹介。幅広いコレクションから精選した作品を無料公開した。

自己評価・課題・改善案：無料公開とし、県展を見に来た来館者にも、美術館のコレクションに親しんでもらう流れを作ることができた。展示室Bのみの小規模な展覧会だったため、遠方から同展だけを目的に訪れた来館者にはもっと事前の情報や説明が必要だった。

関 連 記 事：・「コレクション名品選1月4日～県立近代美術館」『わかやま新報』2018年12月26日、3面

・「入場無料!県展と併せて見てね 20日まで コレクション名品選—近代美術館—」『わかやま新報』2019年1月9日、3面

情 報 掲 載：・「ミュージアム 和歌山県立近代美術館 常設展 コレクション名品選」『紀州浪漫』秋号 Vol.67、2018年12月1日発行、p.19

・「カルチャーインフォメーション◇和歌山県立近代美術館『コレクション名品選』」『ワカビー』1・2月号 vol.83、2019年1月発行、p.8

・「art 和歌山県立近代美術館 コレクション名品選」『NATTS』1月号、2019年1月発行、p.16

・「展示1 美術館の名品紹介」『ニュース和歌山』2019年1月12日、6面

### 「コレクション名品選」出品目録

※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
1	保田龍門	アンドレ像	1921(大正10)	油彩、キャンバス	54.7×45.8	
2	保田龍門	アンドレの首	1922(大正11)	ブロンズ	20.3×20.0×20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈
3	川口軌外	貝殻	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	80.4×115.2	川口京村氏寄贈
4	川口軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
5	川口軌外	エスキースB	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	130.8×162.3	川口京村氏寄贈
6	岸田劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
7	萬鉄五郎	風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
8	佐伯祐三	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
9	浜地清松	赤い帽子	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	100.0×73.0	
10	建畠大夢	おゆのつかれ	1913(大正2)/1970(昭和45)	銅造	68.0×40.0×56.0	
11	国吉康雄	乳しぼり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	
12	石垣栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	
13	高井貞二	機械	1931(昭和6)頃	油彩、キャンバス	52.9×45.5	作者寄贈
14	村井正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
15	松本竣介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
16	原勝四郎	道化	1941(昭和16)	油彩、厚紙	90.3×73.2	
17	白髪一雄	地察屋 青眼虎	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	194.0×130.6	
18	元永定正	無題	1972(昭和47)	アクリル絵具、キャンバス	130.5×162.5	
19	建畠覚造	核	1956(昭和31)	セメント、鉄	63.0×53.0×43.0	作者寄贈
20	保田春彦	伝説	1957(昭和32)	木	99.5×36.5×39.2	
21	瑛九	自転車	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	50.0×60.8	
22	野田裕示	WORK 1486	2003(平成15)	アクリル、キャンバス	82.0×118.0	
23	前川強	作品	1960(昭和35)	塗料、麻布、綿布	162.8×130.5	
24	ピカソ、パブロ	貧しき食事	1904(明治37)/1913(大正2)	刷り	46.3×38.0	
25	ピカソ、パブロ	ミノトーロマシー	1935(昭和10)	銅版、紙	49.5×69.0	
26	ピカソ、パブロ	泣く女	1937(昭和12)	銅版、紙	72.3×49.3	
27	ゴーキー、アーシル	無題(バージニア風景)	1943-44(昭和18-19)	油彩、キャンバス	86.4×116.8	滋賀県立近代美術館蔵
28	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
29	ロスコ、マーク	ナンバー 28	1962(昭和37)	油彩、画布	205.8×193.5	滋賀県立近代美術館蔵
<b>展示室外の作品 エントランス周辺</b>						
44	ステラ、フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304.0×760.0	
45	クルーガー、バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1	
46	フラナガン、バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989(平成元)	ブロンズ	230.0×187.0×128.5	

No.	作者名	作品名/題名	制作年/発行年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
47	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
48	鈴木久雄	塔体 I	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 52.0 × 54.0	
49	鈴木久雄	塔体 III	1989 (平成元)	鉄	230.0 × 54.0 × 54.0	
50	秋山陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	
<b>ライトコート</b>						
51	保田春彦	聚落を囲う壁 II	1994 - 95 (平成 6 - 7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
52	ノグチ, イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
<b>階段・ホワイエ</b>						
53	北堅吉彦	山並 - senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0 × 1020.0	作者の厚意により保存
54	鈴木久雄	単錐台 - II	1984 (昭和 59)	鉄	113.0 × 119.5 × 120.0	
<b>テラス</b>						
55	鈴木久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作者寄贈
56	鈴木久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作者寄贈
57	鈴木久雄	木の現象 < 喬木 1 >	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
58	鈴木久雄	木の現象 < 喬木 2 >	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
<b>館周辺</b>						
59	北尾博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈
60	スネルソン, ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
61	建島覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	
62	保田春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	



展示風景

# 普及事業

## 1 講演会、ワークショップなどの開催

- 各展覧会に際して講演会やフロアレクチャーを開催した。(展覧会事業の項を参照)
- ワークショップ・バックヤードツアー等の体験的プログラムやコンサート  
年間を通じて講演会や鑑賞ワークショップ、バックヤードツアーなどのイベントを開催した。
- ゴールデンウィーク 2018 の取り組み  
ゴールデンウィーク中に講演会や鑑賞ワークショップ、バックヤードツアーなどのイベントを集中して開催した。
  - 4月28日(土) 11:00～11:45  
こども美術館部「印・印・刷・刷・物・物・物」(「産業と美術のあいだで」展)
  - 4月29日(日) 14:00～15:00  
フロアレクチャー(「産業と美術のあいだで」展)
  - 4月30日(月・振休) 9:30～17:00  
おしゃべり美術館の日  
自由に話をしながら展覧会を楽しめる日を設けた。
  - 5月3日(木・祝) 14:00～15:30  
フロアレクチャー(「コレクション展 2018- 春夏」)
  - 5月4日(金・祝) 14:00～15:00  
ギャラリートーク「おこのみ鑑賞会」(「コレクション展 2018- 春夏」)  
参加者と選んだ作品を、学芸員の案内で鑑賞した。
  - 5月5日(土・祝) 14:00～15:00  
フロアレクチャー(「産業と美術のあいだで」展)
  - 5月6日(日) 13:00～15:00  
バックヤードツアー「たんけん美術館・博物館」  
美術館・博物館の裏側を紹介し、業務への理解を深めることに取り組んだ。
- 「なつやすみの美術館 8」を中心にワークショップ等の体験的プログラムに取り組んだ。(展覧会事業の項を参照)

### 「こども美術館部」の実施

小学生を対象に、展示作品と関連したワークショップを行いながら作品を鑑賞する「こども美術館部」を6回開催した。

- 4月28日(土) 印・印・刷・刷・物・物・物(産業と美術のあいだで) 参加7名
  - 6月16日(土) 絵にとびこむぞ!(コレクション展 2018- 春夏) 参加7名
  - 8月25日(土) バック・トゥ・ザ・??? (なつやすみの美術館 8 タイムトラベル) 参加6名
  - 10月13日(土) つなひきだいさくせん(和歌山-日本) 参加9名
  - 12月1日(土) ボクラ・コウサク・キョウダイ・ノ・ヘンソウ(国画創作協会の全貌展) 参加16名
  - 1月5日(土) ひ・み・つ♡の美術館(美術館たんけん) 参加12名
- いずれも 11:00～11:45

### 「だれでも美術館部」の実施

対話を行いながら作品鑑賞を行う取り組みとして「だれでも美術館部」を実施した。

- 8月11日(土) 参加15名、19日(日) 参加8名、10月8日(月・祝) 参加4名、12月1日(土) 参加11名、1月5日(土) 参加5名
- いずれも 14:00～15:00

## 2 学校教育・社会教育との連携

### 1 学校・団体鑑賞の受入

- 団体での来館数  
2018(平成30)年4月～2019(平成31)年3月

団体種別	美術館による対応有		自由鑑賞	
	件数	参加人数	件数	参加人数
一般	15件	587名	28件	378名
教員	16件	141名	0件	0名
大学	14件	222名	0件	0名
高等学校	13件	274名	12件	203名
中学校	36件	674名	7件	62名
小学校	16件	720名	1件	9名
幼稚園	1件	47名	2件	205名
その他(専門学校など)	4件	43名	1件	7名
計	115件	2,708名	51件	864名
総計	166件 3,572名			

## 2 学校・教員等と連携した事業

- 目 標：県内の各学校と連携して展覧会を課題とした鑑賞、制作、指導法の策定に取り組む。和歌山市美育協会に協力し、鑑賞に関する研修会を開催するほか、学校教員との協力体制の強化を目的とした研修会を継続して実施する。中学校を中心に夏休み中の宿題での来館を呼びかけ、期間中の展示の概要紹介、前年までの事例紹介、宿題を出す際の課題等について情報を交換する場を設ける。
- ・施設利用の浸透を図り、学校教育との連携を深め、団体での来館に際して事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行い、必要に応じて鑑賞用補助プリントを作成するなどの活動を行った。
  - ・和歌山大学教育学部との連携  
和歌山大学教育学部、同附属小学校・中学校と連携して展覧会を課題とした鑑賞、制作、指導法の策定に取り組んだ。
  - ・中学校教科等研究会の開催  
市内の中学校教科等研究会（美術科）開催に協力し、意見交換等を行った。  
開催記録：2018（平成30）年4月18日（水）参加20名
  - ・和歌山大学教育学部の学芸員資格取得に関する一部開設授業科目への協力  
2018（平成30）年6月3日（日）「資料保存論」講義を当館で実施した。出席30名  
2018（平成30）年9月27日（木）「展示論」講義を当館で実施した。出席64名
  - ・桃山学院教育大学・プール学院短期大学短期大学との連携  
2018（平成30）年8月9日（木）和歌山中央幼稚園の鑑賞を学生とともに実施した。
  - ・和歌山市美育協会夏季研修会  
和歌山市美育協会に協力し、実技と鑑賞に関する研修会を開催した。  
2018（平成30）年7月26日（木）実技指導（当館会議室）参加14名  
2018（平成30）年8月3日（金）鑑賞指導（当館展示室）参加32名
  - ・和歌山美術館教育研究会  
2011（平成23）年度より、学校教育との連携強化を目的とした研究会を継続して開催している。2018（平成30）年度末までに65回の会合を開催。中学校を中心に夏休み中の宿題での来館を呼びかけ、期間中の展示の概要紹介、前年までの事例紹介、宿題を出す際の課題等について情報を交換する場を設けている。市内のほとんどの中学校から来館がある。2013（平成25）年度から、夏季休暇中に開催する展覧会「なつやすみの美術館」のワークシートの作成を教員たちと協力して行っている。  
開催記録：2018（平成30）年4月21日（土）8名、5月12日（土）7名、5月26日（土）5名、6月9日（土）6名、6月23日（土）8名、7月7日（土）11名、9月1日（土）6名、10月13日（土）6名、12月15日（土）4名、2019（平成31）年1月19日（土）6名、3月9日（土）7名
  - ・和歌山大学教育学部附属中学校美術科研究授業への協力  
日時：2018（平成30）年12月12日（水）～12月19日（水）  
内容：当館周辺でのインスタレーション授業に協力した。
  - ・『わかやま探検ミュージアム』（季刊・県内全小学校4～6年生に配布）の隔号に展覧会紹介記事を掲載した。
  - ・和歌山大学美術館部への協力  
当館の活動への協力を主な目的として設立されたサークル（2015（平成27）年10月～）に対し、指導助言を行った。
  - ・共育支援メニューフェアへの参加  
日時：2018（平成30）年7月24日（火）  
内容：2018（平成30）年度「共育支援メニューフェア」（主催：和歌山県教育委員会、和歌山県／会場：和歌山県立体育館）に参加した。
  - ・放送大学面接授業の実施  
2018（平成30）年6月6日（水）、7日（木）の2日に渡って放送大学面接授業を実施した。出席30名

### 3 博物館実習生・インターンシップ・教員研修などの受け入れ

- 大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。  
期間：2018（平成30）年8月23日（木）～26日（日）、8月28日（火）、29日（水）（計6日間）

受入校	受入人数
京都産業大学	2名
大阪成蹊大学	1名
帝塚山学院大学	1名
和歌山大学	1名
計4大学	5名

- 文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいる職場体験学習、インターンシップ等を受け入れた。  
2018（平成30）年4月～2019（平成31）年3月

受入件数	人数	日数	延人数
高校生 2校	6名	5日	15名
中学生 11校	29名	23日	60名
計13校	35名	28日	75名

### 3 機関誌「NEWS」の刊行

年4回、各2,500部を発行した。

- No.95（2018（平成30）年6月27日発行）  
植野比佐見：産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園  
左近充直美（鳥根県立石見美術館専門学芸員）：鳥根県立石見美術館企画展「モダン・アートに出会う5つの扉—和歌山県立近代美術館名品展」の開催について  
宮本久宣：出雲の神の縁結び？ コレクションの交換展をめぐって  
青木加苗：いわBee 誕生！ 「こども美術館部 in 石見」  
植野比佐見：保存の話をしよう。⑤作品を動かすことについて  
Museum Calendar、メールマガジン / Facebook ページ / twitter ご案内、友の会案内
- No.96（2018（平成30）年9月28日発行）  
奥村泰彦：タイムトラベル  
青木加苗：未来の地球はどうなっているだろう ワークショップ「2000年後の和歌山を発掘しよう！」  
井上芳子：庭園の眺め 高橋力雄の木版画  
藤本真名美：若者たちの覚醒するとき  
植野比佐見：保存の話をしよう。⑥謎のめじるし「結界」  
メールマガジン / Facebook ページ / twitter ご案内、友の会案内
- No.97（2019（平成31）年2月15日発行）  
山野英嗣：「近代美術館」と名乗ること「和歌山—日本」展を企画して  
奥村一郎：石垣栄太郎《ハーレム裁判所の壁画》（「奴隷解放」の部分）について  
宮本久宣：「コレクション展 2018—秋冬 特集：国展の版画」について  
青木加苗：「だれでも美術館部」はじめました  
植野比佐見：「保存」の話をしよう。⑦伝えること  
Museum Calendar、メールマガジン / Facebook ページ / twitter ご案内、友の会案内
- No.98（2019（平成31）年3月28日発行）  
藤本真名美：清姫の「盲目」 村上華岳《日高河清姫図》より  
宮本久宣：ワークショップ「晩花のふるさとを訪ねて」  
藤本真名美：「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」記念講演会  
奥村泰彦：《きずな》について私が知っている二、三の事柄 東京大学中央食堂に展示されていた宇佐美圭司作品について  
植野比佐見：保存の話をしよう。⑧大工事！  
Museum Calendar、メールマガジン / Facebook ページ / twitter ご案内、友の会案内



ニュース

## 4 広報および情報提供

### 1 メディア等への情報発信

県内外の新聞社、放送局、出版社等約 380 か所に事業案内を送付し（うち約 150 か所にメールによるプレスリリース）、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。

- ・ 展覧会や特別事業ごとに県庁記者クラブ、教育記者クラブにて資料提供を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
- ・ カレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供することで、美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等の周知、利用促進を図った。
- ・ 展覧会ごとに、ポスター、チラシ等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約 3,000 か所に配布した。
- ・ J R 和歌山駅前広告看板に、展覧会情報を掲載した。
- ・ 県発行の広報誌『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
- ・ 電波、印刷、インターネット媒体の取材に協力し、展覧会等の紹介を行った。
  - (1) NHK WORLD-JAPAN 「Close to ART」での紹介 <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/ondemand/video/3019038/>
  - (2) 和歌山市観光協会 エアソウル機内誌での紹介 ブログによる紹介記事掲載 <https://blog.naver.com/foreverck/221412122089/>
- ・ 泉州・紀北ミュージアムネットワークを通じた広報活動を行った。
- ・ 和歌山県職員に対し電子掲示板、庁内メール等で展覧会の案内をした。
- ・ ミュージアムぐるっとパス・関西 2018 に加入。
- ・ 美術館の認知度を高めるため、施設内におけるロケーション撮影等に協力した。
  - (1) 申請者：公益社団法人和歌山県観光連盟  
目的：きものやまと美裳会パンフレット作成  
日時：2019（平成 31）年 1 月 22 日（火）～ 27 日（日）
  - (2) 申請者：徳田みのり  
目的：アニメキャラクターの衣裳を着用したコスプレ撮影  
日時：2018（平成 30）年 9 月 22 日（土）
  - (3) 申請者：雑誌オリエンタルセデス  
目的：雑誌オリエンタルセデス 4 月号カタログ撮影  
日時：2019（平成 31）年 2 月 4 日（月）

### 2 WEB による広報

- ・ ホームページで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
- ・ メールマガジンを html 化し、画像を掲載して美術館で開催されるさまざまな展覧会及びプログラムへの参加をよびかけた。2018（平成 30）年 4 月 11 日発行の 125 号から 2019（平成 31）年 3 月 20 日発行の 135 号まで計 11 回発行。登録読者数 html 版 566 名、テキスト版 32 名、計 598 名。
- ・ Facebook、twitter を通じての情報提供を実施している。

### 3 広報印刷物の制作

- ・ 2018（平成 30）年度展覧会カレンダー 6.1 × 10.5cm 巻き 5 ッ折（10 頁）
- ・ ポスター、チラシ等（各展覧会報告の項を参照）

### 4 県民への直接的情報提供

- 目 標：専門的内容に関する問い合わせ・質問（電話・来館等）に対応する。
- ・ 作者や展覧会等についての問い合わせ 7 件に対応した。



カレンダー

## 5 県民や地域との連携

### 1 ボランティア活動の受け入れ

図書資料の仕分け、データ入力、配架、資料整理が行われた。

受入人数：2018（平成30）年4月～2019（平成31）年3月 活動のべ202人

### 2 友の会等の支援組織の活動への協力

#### (1) 和歌山県立近代美術館友の会

「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動に支援を受けるとともに、楽しみながら美術作品に親しむ機会を設けた。

#### (ア) 会員の状況

一般会員：194名、学生：0名、賛助会員：11名 計205名

名誉会員：5名

#### (イ) 助成事業の実績

会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことが出来るよう常設展及び企画展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。

・展覧会入場者延人数：141人

「産業と美術のあいだで」33人、「なつやすみの美術館8」44人、「和歌山—日本」24人、「国画創作協会の全貌展」28人、常設展12人

・図録購入：5冊

#### (ウ) 主催事業

・ミュージアムコンサート

プロムナード・コンサート「ハープ、フルート」

演奏：川口麻紀（ハープ）、岡本万貴（フルート）

日時：2018（平成30）年12月1日（土）15:00～16:30

会場：ホール（2階）

約120名参加

・美術鑑賞ツアー

兵庫県立美術館「ブラド美術館展」、神戸港ベイクルーズ

日時：2018（平成30）年10月14日（日）

解説：山野英嗣（館長）

64名参加

・版画プレゼント

安井寿磨子氏制作の版画（4種類）、坪田政彦氏制作の版画（4種類）の中から1点をプレゼントした。

・館広報誌・その他への情報提供

美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、広報紙など配布し、その他への情報提供をした。

#### (2) NPO 和歌山文化芸術支援協会（wacss）

同会が企画運営するワークショップに協力した。

##### 1 「森のちからX」への協力

日時：2018（平成30）年11月～12月

協力内容：串本に作家を招いて滞在制作と発表を行う活動に協力した。田辺市中辺路町近露で実施された当事業の第一回目に参加し、それをきっかけに串本町に移住した作家、林憲昭氏にも協力を得て、新井厚子、大矢りか、マドモアゼル・シネマの2名と1グループを招聘し、現地での制作、ワークショップ、発表を行った。11月17日（土）、作家・高田光治氏を招いてのアーティスト・トーク「森を語るIV」の司会を奥村泰彦教育普及課長が務めた。

##### 2 ワークショップ「2000年後の和歌山を発掘しよう！」への協力（詳細は16頁を参照）

##### 3 ワークショップ「晩花のふるさとを訪ねて」への協力（詳細は8頁を参照）

### 3 地域と連携した事業

目標：地域と連携した事業を行う。第71回和歌山県美術展覧会（県展）を文化芸術課との連携のもとに実施する。県警音楽隊たそがれコンサート等への事業協力を行う。

#### ・第72回和歌山県美術展覧会（県展）／第4回和歌山県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）

本展会期：

日本画・書・工芸・洋画・写真・彫塑 2019（平成31）年1月9日（水）～1月13日（日）

ジュニア部門 2019（平成31）年1月16日（水）～1月20日（日）

本展会場：展示室A（1階）・展示室C（2階）

ジュニア県展会場：展示室A（1階）

主催：和歌山県

共催：和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、和歌山県美術家協会、毎日新聞社和歌山支局一般財団法人和歌山県文化振興財団、橋本市、新宮市、上富田町

協賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団

協力（ジュニア県展）：和歌山県美育連盟、和歌山県書写教育研究会

入場料金：無料

※当館では一般部門を展示。招待作家展を県民ギャラリーにおいて、華道部門は一般・招待作家展ともホテルアバローム紀の国ギャラリー龍門にて1月9日（水）～13日（日）に開催。

#### ・第13回わかやまマジカルミュージックツアー

主催：わかやまマジカルミュージックツアー事務局

日時：2018（平成30）年4月22日（日）、約3000～4000名

会場：アプローチプラザほか

#### ・県警音楽隊たそがれコンサート

主催：和歌山県警察音楽隊

日時：2018（平成30）年6月8日（金）、6月22日（金）、7月13日（金）、7月27日（金）、8月10日（金）、8月24日（金）、計約600名

会場：アプローチプラザ

#### ・ミュージアム クリフ映画会

主催：和歌山県BBS連盟

日時：2018（平成30）年7月27日（金）、約100名

会場：アプローチプラザ

#### ・公益財団法人 脇村奨学会主催「第23回学芸員情報交換会」への学芸員派遣（奥村一郎学芸員、2018（平成30）年8月12日（日））

#### ・第23回「名月に舞う」

主催：和歌山文化協会

日時：2018（平成30）年9月29日（土）、警報等発令のため中止

会場：アプローチプラザ周辺

#### ・第17回秋のシャンソンカーニバル

主催：和歌山シャンソン友の会

日時：2018（平成30）年10月14日（日）、約100名

会場：アプローチプラザ周辺

## 6 県内博物館・図書館施設等と連携した事業

#### ・講演会「「智のしくみ」について考える ポートランドのまちづくりを例に」

日時：2018（平成30）年11月18日（日）14:00～15:30

講師：渡部幹雄（和歌山大学教授・和歌山大学附属図書館長）

会場：ホール（2階）

主催：和歌山県立近代美術館

内容：公立図書館の運営、新設、改革に携わって来られた図書館運営のプロである渡部幹雄氏を講師に招いて、国内をはじめ、アメリカや北欧の図書館とまちづくりに関する豊富な調査事例と共に、地域の「智のしくみ」についてお話しいただいた。

記事掲載：「図書館運営のプロ迎え 18日 近代美術館で講演会」『わかやま新報』2018（平成30）年11月13日、3面

- ・和歌山県庁舎建設 80 周年記念シンポジウム「和歌山県庁舎をつくった人びと」  
日時：2018（平成 30）年 12 月 24 日（月・祝）14:00～16:30  
会場：ホール（2 階）  
共催：和歌山県教育委員会、和歌山県建築士会  
協力：和歌山県立文書館、和歌山県立近代美術館  
内容：第 1 部 基調講演として、中西重裕氏（和歌山県建築士会）が「和歌山県庁舎の歴史と魅力」と題して講演。第 2 部では、高垣晴夫氏（和歌山県建築士会）が「和歌山県技師 松田茂樹」、藤隆宏氏（和歌山県立文書館）が「増田八郎の生涯と寄贈された資料」、河崎昌之氏（和歌山大学）が「和歌山県庁舎の建築図面」、井上芳子（和歌山県立近代美術館）が「県庁舎を飾った芸術家 保田龍門」、御船達雄氏（和歌山県教育委員会）が「県庁舎を造る－増田八郎アルバムより－」と題して個別報告を行った。第 3 部では、明石和也氏（和歌山県建築士会）の司会により、登壇者全員でパネルディスカッションを行った。
- ・県立 5 館が連携してスタンプラリーを実施した。
- ・和歌山県立博物館と共同でバックヤードツアーを開催した。（2018（平成 30）年 5 月 6 日（日））
- ・「風土記まつり」への参加。（2018（平成 30）年 11 月 11 日（日））  
和歌山県立紀伊風土記の丘主催の同行事に参加し、子供向けのワークショップ、出張ミュージアムショップの運営を行った。
- ・和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議の活動に幹事館として参加した。  
（第 1 回幹事会：2018（平成 30）年 6 月 28 日（木） 和歌山県立近代美術館、第 2 回幹事会・研修会：2019（平成 31）年 3 月 19 日 ゆらふるさと伝承館）

## 7 国内外の美術館や関連組織等と連携した事業展開

- ・モダン・アートに出会う 5 つの扉－和歌山県立近代美術館名品展  
会期：2018（平成 30）年 4 月 21 日（土）～6 月 17 日（日）  
会場：鳥根県立石見美術館  
主催：鳥根県立石見美術館  
特別協力：和歌山県立近代美術館  
内容：当館コレクションによる展覧会。日本の近現代美術から、洋画を中心として日本画、版画、彫刻を加えた 112 点で構成。当館が和歌山の地域性を元に形作ってきた、近現代美術コレクションの価値や魅力を発信する展覧会とした。この前年度に石見美術館が行った作品の調査研究に協力のうえ、企画内容の検討をともに行うなど、実施全般に協力した。  
展示点数：47 作家 112 点  
関連事業：・記念講演会「和歌山から鳥根へ－日本のモダン・アートを発信する」  
日時：4 月 21 日（土）14:00～15:30  
講師：山野英嗣（館長）  
・スペシャル・ギャラリートーク「こども美術館 in 石見」  
日時：5 月 13 日（日）11:00～11:45  
講師：青木加苗
- ・新たな表現をめざして 創作版画が歩んだ道のり  
会期：2018（平成 30）年 10 月 5 日（金）～11 月 4 日（日）  
会場：岡山県立美術館  
主催：岡山県立美術館  
特別協力：和歌山県立近代美術館  
内容：当館の創作版画コレクションを中心に、個人コレクションも加え、1900 年代から 1950 年代までの日本の近代版画史に残る名品を紹介する展覧会。当館が平成 22 年に開催した「日本近代の青春 創作版画の名品」展をもとに構成。企画、作品貸出のため協力した。  
展示点数：67 作家 228 点  
関連事業：・記念講演会「和歌山県立近代美術館の創作版画」  
日時：10 月 6 日（土）14:00～15:30  
講師：井上芳子
- ・特集展示「鈴木昭男 音と場の探究」を、熊野古道なかへち美術館での開館 20 周年記念特別展「鈴木昭男 一内 在一」と連携して行った（詳細は 30 頁）。
- ・滋賀県立近代美術館所蔵作品の寄託受入。
- ・全国美術館会議 教育普及研究部会に参加した。（青木加苗）
- ・全国美術館会議 地域美術研究部会に参加した。（奥村一郎、宮本久宣、藤本真名美）
- ・全国美術館会議 美術運営制度研究部会に参加した。（青木加苗）
- ・ICOM（国際博物館会議）ICFA に参加した。（青木加苗）  
※「調査・研究・発表活動および対外協力活動」を参照

## 8 観光資源として活用できる方策

県と和歌山市が連携し、和歌山城周辺の街中に残る史跡等を紹介するとともに、周辺での回遊性を高めるため、「わかやままちなかミュージアム・マップ」を作成した。

観光ガイドなどへの広報を行い、展覧会のみならず訪問先として施設全体を紹介してもらうよう取り組んだ。

オリジナルスタンプによるスタンプラリーを実施し、通年のリピーター獲得に取り組んだ。

わかやままちなかミュージアムマップ (A4 両面)

スタンプラリー (6.0 × 29.7cm 三つ折)

# 作品貸付

下記12件の展覧会に作品の貸付を行った。

展覧会名、会期、貸出先、作家名《作品名》、制作年、所蔵註記の順に記載。

## 1. 阿部展也 あくなき越境者 [前年度より]

2018 (平成30) 年3月23日～5月20日 広島市現代美術館  
2018 (平成30) 年6月23日～8月26日 新潟市美術館  
2018 (平成30) 年9月15日～11月4日 埼玉県立近代美術館  
『フォトタイムス』15-5 1938  
『フォトタイムス』15-6 1938  
『フォトタイムス』15-7 1938  
『フォトタイムス』15-8 1938  
『フォトタイムス』15-10 1938  
『フォトタイムス』16-2 1939  
『フォトタイムス』16-3 1939  
『フォトタイムス』16-4 1939  
『フォトタイムス』17-1 1940  
『フォトタイムス』17-2 1940  
『フォトタイムス』17-5 1940  
『フォトタイムス』17-6 1940  
『フォトタイムス』17-7 1940  
『フォトタイムス』17-9 1940

## 2. 戦後美術の現在形 池田龍雄展

2018 (平成30) 年4月26日～6月17日 練馬区立美術館  
池田龍雄《作品》1955  
池田龍雄《規格品》1956

## 3. 岡本神草の時代 [前年度より]

2017 (平成29) 年11月1日～12月10日 京都国立近代美術館 (未出品)  
2018 (平成30) 年1月4日～2月12日 笠岡市立竹喬美術館  
2018 (平成30) 年5月30日～7月8日 千葉市美術館  
岡本神草《舞妓図》1920 頃

## 4. モダン・アートに出会う5つの扉

### —和歌山県立近代美術館名品展

2018 (平成30) 年4月21日～6月17日 島根県立石見美術館  
保田龍門《すさのおの命／大国主命とすせり姫》1942  
保田春彦《伝説》1957  
稗田一穂《幻想那智》1979  
渡瀬凌雲《那智瀨峡図》1940  
渡瀬凌雲《那智の瀧》1931  
渡瀬凌雲《瀨峡》昭和時代  
吹田草牧《紀南夏景》1935  
川端龍子《白浜・円月島》1958  
大亦観風 (新治郎)《志那床》制作年不詳  
大亦観風 (新治郎)《瓦焼き》1913  
大亦観風 (新治郎)《雑賀崎》1913  
大亦観風 (新治郎)《製材所裏》1913年5月28日  
大亦観風 (新治郎)《大橋にて》1913年9月22日  
大亦観風 (新治郎)《風景》1914  
大亦観風 (新治郎)《扇之芝》1911年9月17日  
大亦観風 (新治郎)《風景》制作年不詳  
大亦観風 (新治郎)《紀州路行脚日記画卷 紀南巻》1934

大亦観風 (新治郎)《紀州路行脚日記画卷 紀北巻》1934  
国枝金三《紀州風景》1919  
川口軌外《熊野灘》1940  
保田龍門《風景》1918  
原勝四郎《小湾》1940  
西博民《岡口門と城山を望む》制作年不詳  
村井正誠《紀州》1993  
浜地清松《暖炉》1911  
浜地清松《花》1921  
浜地清松《裸婦》1928  
国吉康雄《乳しぼり》1921  
石垣栄太郎《街》1925  
石垣栄太郎《キューバ島の反乱》1933  
石垣栄太郎《人民戦線の人々》1937  
杉本, ヘンリー《寺院のみえるビーエー村》1940  
杉本, ヘンリー《パン配達娘》1963  
高井貞二《煙》1933  
高井貞二《支那の市場》1939  
高井貞二《故郷の風景》1956  
佐伯祐三《帽子をかぶる自画像》1922  
佐伯祐三《レ・ジュ・ド・ノエル》1925  
佐伯祐三《オペセルヴァトワール附近》1927  
川口軌外《寺院》1928  
川口軌外《ボヘミアン》1928  
川口軌外《少女と貝殻》1934  
川口軌外《港》1957  
保田龍門《自画像》1915  
保田龍門《母の像》1915  
木下孝則《七面鳥》1927  
木下孝則《女優の像》1926  
木下孝則《猫》1926  
木下義謙《横たはれる裸体の習作》1926  
木下義謙《赤衣半身像》1931  
木下雅子《肘つく女》1929  
木下雅子《玉葱の静物》1930  
村井正誠《水浴》1930  
原勝四郎《画工像》1932  
村井正誠《URBAIN No.1》1936  
保田龍門《アンドレの首》1922  
保田龍門《うずくまる女》1947  
建島大夢《おゆのつかれ》1913 / 1970 鋳造  
建島大夢《少女胸像》昭和前期  
建島覚造《CHIMNEY BOTTLES》1970  
建島覚造《儀式 (小)》1972  
恩地孝四郎《海的女》1912  
恩地孝四郎《底のくるしみ (公刊『月映』II)》1914  
恩地孝四郎《抒情「苦惱のうちに光る」 (公刊『月映』V)》1915  
恩地孝四郎《人体少女 (『詩と版画』第11輯)》1925  
恩地孝四郎《失題 [人体]》1927  
田中恭吉《ニコライ》1912  
田中恭吉《そこにのみかがやくひかり (公刊『月映』II)》1914  
田中恭吉《ひそめるもの。 (公刊『月映』II)》1914  
逸見享《海岸工事》1932  
逸見享《砂丘》1933

逸見享《サボテンのある風景》1932  
逸見享《サボテン》1933  
碓伊之助《南仏の田舎娘》1931  
碓伊之助《ヴァンサンヌ公園》1931  
碓伊之助《大きなバルミエ》1935  
碓伊之助《台所》1935  
杉本義夫《海女》1932  
杉本義夫《闘犬》1940  
亀井玄兵衛（藤兵衛）《静まれる四条街頭》1935  
亀井玄兵衛（藤兵衛）《黒い家の風景》1928  
亀井玄兵衛（藤兵衛）《鱈》1927  
亀井玄兵衛（藤兵衛）《煙草のむ女》1956  
新田穰《卓上静物》1944  
新田穰《熊野川風景》1932  
吉田政次《森の精 No. 1》1955  
吉田政次《New Star No. 1》1956  
吉田政次《地の泉 No. 1》1956  
吉田政次《躍動する心 No. 6》1968  
浜口陽三《ジプシー》1954  
浜口陽三《メロンと筆》1955  
浜口陽三《ざくろとぶどう》1957  
浜口陽三《水差しとぶどうとレモン》1957  
浜口陽三《暗い背景のぶどう》1961  
浜口陽三《赤い鉢と黒いさくらんぼ》1968  
瑛九《自転車》1956  
泉茂《目》1955  
吉原英雄《たわむれ》1956  
池田満寿夫《骨を持つ人（C）》1955  
加藤正《空ろなる真昼（王国）》1951  
白髪一雄《地察星 青眼虎》1961  
上前智祐《作品》1963  
田中敦子《'61 赤と黒》1961  
菅井汲《雷神》1958  
堂本尚郎《二元的なアンサンブル》1962  
難波田龍起《緑の空間》1960  
宇佐美圭司《還元 No. 6》1963  
オノサトトシノブ《A-11》1957  
杉全直《✓と題して》1961  
津高和一《アシタハキノウニナル》1964  
保田春彦《梯子と壁》1998  
保田春彦《格子と壁》1998

## 5. 国吉康雄と清水登之 ふたつの道

2018（平成30）年4月28日～6月17日 栃木県立美術館  
石垣栄太郎《自画像》1917  
石垣栄太郎《拳闘》1925  
石垣栄太郎《ボーナス・マーチ》1932  
石垣栄太郎《K.K.K.》1936  
石垣栄太郎《捕虜》1940  
石垣栄太郎《恐怖》1941  
石垣栄太郎《強風》1942  
清水登之《ヨコハマ・ナイト》1921

## 6. コレクションを核に

### 関西デモクラートゆかりの作家たち

#### 泉茂・山中嘉一・吉田利次・吉原英雄

2018（平成30）年7月3日～9月17日 BB プラザ美術館  
泉茂《夜明け前》1953  
泉茂《昇天》1953  
泉茂《海の響宴》1953  
泉茂《オーディション》1953  
泉茂《異邦人》1954  
泉茂《浮遊》1954  
泉茂《ドンキホーテ》1954  
泉茂《作品（詩画集『大阪』所収）》1955  
泉茂《作品（詩画集『大阪』所収）》1955  
泉茂《ゲームの瞳》1955  
泉茂《仇花》1955  
泉茂《仲間》1955  
泉茂《マダム オカリーナ》1955  
泉茂《逃げたスベード》1955  
泉茂《相愛》1955  
泉茂《ホルン》1955  
泉茂《作品》1956  
泉茂《ショーボート》1956  
吉原英雄《たわむれ》1956  
吉原英雄《ひまわり》1956  
吉原英雄《きりぎり舞い》1956  
吉原英雄《潜水》1957

## 7. 創立100周年記念 国画創作協会の全貌展

2018（平成30）年9月14日～10月21日 笠岡市立竹喬美術館  
杉田勇次郎《麓庵》1927  
徳力富吉郎《人形》1927  
野長瀬晩花《少女像（素描）》1923  
野長瀬晩花《スペインの田舎の子供》1924

2019（平成31）年1月4日～2月17日 新潟県立万代島美術館  
徳力富吉郎《人形》1927  
野長瀬晩花《少女像（素描）》1923  
野長瀬晩花《スペインの田舎の子供》1924  
『制作』国画創作協会号・臨時号 1919  
『制作』第一周年号 1919  
『欧州芸術巡礼紀行』1923  
『国画創作協会第六回展覧会目録』1927  
『第六回 国展』図録 1927  
『第七回 国展』図録 1928

## 8. 新たな表現をめざして 創作版画が歩んだ道のり

### 和歌山県立近代美術館コレクションを中心に

2018（平成30）年10月5日～11月4日 岡山県立美術館  
山本鼎《漁夫》1904  
藤島武二（画）伊上純蔵（刻）与謝野鐵幹・晶子『毒草』1904

石井柏亭(画)・伊上凡骨(刻)《よし町》『東京十二景』1910  
 石井柏亭(画)・伊上凡骨(刻)《柳ばし》『東京十二景』1910  
 山本鼎《野鷄》1912  
 山本鼎《水浴》1918  
 山本鼎《ブルターニュの入江》1918  
 山本鼎《高原の路》1918  
 石井柏亭《木場》1914 頃  
 石井柏亭《墓地》1914 頃  
 織田一磨《上野広小路》1916  
 織田一磨《木場雪景》1917  
 戸張孤雁《千住大橋の雨》1913  
 戸張孤雁《鏡の前》1914 頃  
 南薫造《舟おろし》1910-13  
 バーナード・リーチ『白樺』第4年6月号 1913  
 バーナード・リーチ『白樺』第8年9月号表紙 1917  
 岸田劉生《築地風景》1912  
 岸田劉生『白樺』第9年7月号表紙 1918  
 岸田劉生『白樺』第10年10月号表紙 1919  
 清宮彬《花》1913  
 安堵久左〔富本憲吉〕『とりで』第2号 1913  
 岡本帰一『とりで』第8号エレクトラ号 1913  
 太田三郎《銭湯》1914  
 太田三郎《カフェーの女》1914  
 池田永治《早春》1914  
 岡本帰一《夕の街路》1914  
 長谷川潔《仮面を持てる女》1914  
 永瀬義郎《春》1915  
 永瀬義郎《抱擁》1915  
 広島新太郎《泊船》1920-21 頃  
 河合卯之助・森谷利喜雄《表紙/扉画《みさき》》『黙鐘』第1巻第6号 1915  
 河合卯之助『黙鐘』第1巻第7号表紙 1915  
 河合卯之助『鳳梨』第1号表紙 1914  
 河合卯之助《はたるぶくろ》1924  
 河合卯之助〔花〕1924 頃  
 香山小鳥《竹久夢二宛葉書「こんなものをこしらへました」》1912  
 河合卯之助 図案私集『伊羅保』 1916  
 香山小鳥《愁》1913  
 田中恭吉《生ふるもの去るもの》1914  
 田中恭吉《夜と女》1914  
 田中恭吉《去勢者と緋罌粟》1914  
 田中恭吉《冬虫夏草》1914  
 恩地孝四郎《泪(抒情I)》1914  
 恩地孝四郎《裸形のくるしみⅢ》1914  
 恩地孝四郎《抒情五種—わかれとのぞみと—[1]》公刊『月映』VII 1915  
 恩地孝四郎《抒情五種—わかれとのぞみと—[5]》公刊『月映』VII 1915  
 藤森静雄〔失題〕1914  
 藤森静雄〔失題〕1914  
 藤森静雄《夜のうた》1914  
 藤森静雄《妹は病みぬ》1914  
 橋口五葉《化粧の女》1920  
 織田一磨《感覚》1920  
 織田一磨『版画』vol. I No.1 創刊の巻表紙 1921  
 戸張孤雁《女学生》1920  
 寺崎武男《運河》制作年不詳  
 石井鶴三《温泉》1928  
 永瀬義郎《香港夜景》1930  
 永瀬義郎《馬來美人図》1930  
 永瀬義郎『詩と版画』第1輯表紙 1922  
 平塚運一『詩と版画』第7輯表紙 1924  
 恩地孝四郎《人貌》1924  
 恩地孝四郎《植物の世界》1922  
 恩地孝四郎《人貌》1924  
 恩地孝四郎〔人体〕1927 頃  
 恩地孝四郎『風』第1号表紙 1927  
 藤森静雄《一つの命》1923  
 藤森静雄《丘》1925  
 藤森静雄《木守り》1925  
 藤森静雄《路傍の子猫》1929  
 藤森静雄《中央气象台》1929  
 前川千帆《少女》1927  
 前川千帆《地下鉄》1931  
 逸見亨《幸福な海女の群》1919  
 逸見亨《旅情》1925  
 逸見亨《夜汽車》1928  
 小泉癸巳男《日本橋》制作年不詳  
 小泉癸巳男《静物》制作年不詳  
 旭正秀《舞妓》1922  
 旭正秀《四人の使徒》1933  
 萬鐵五郎《羅布かつく人》1924  
 川上澄生《震災以前横浜山手之図》1923 頃  
 川上澄生《クキン》1924  
 川上澄生『風』再刊第4輯表紙 1929  
 平塚運一《裸婦》1925  
 梅原龍三郎《座裸婦》1930  
 梅原龍三郎《梳る裸婦》1930  
 安井曾太郎(画)・平塚運一(刻)《画家とモデル》1934  
 前川千帆《日本版画協会カレンダー昭和11年1月》1936  
 前田藤四郎《日本版画協会カレンダー昭和11年5月》1936  
 恩地孝四郎《日本版画協会カレンダー昭和11年7月》1936  
 藤森静雄《七月・花火の両国(隅田川)》1933  
 藤森静雄《十一月・羽田の秋(東京飛行場)》1932  
 織田一磨《加茂川の花火》1931  
 長谷川潔《花(ダリア)》1935  
 川西英《サーカス》1933  
 川西英《古道具屋》1941  
 平塚運一『きつつき』第3号静物号表紙 1931  
 裕伊之助《南仏の田舎娘》1931  
 裕伊之助《そば屋》1933  
 作者不明《「SINHANGA 創刊号 版画は大衆のものだ」ポスター》1932  
 藤牧義夫《「新版画集団第2回展」ポスター》1933  
 小野忠重《死を回る人々》1933  
 小野忠重《工場街》1935  
 清水正博《都会風景》1933  
 清水正博《酒場》1933  
 藤牧義夫『新版画』NO.4 都市田園診断号表紙 1932  
 柴秀夫『新版画』NO.7 特輯 演劇と映画表紙 1933  
 小野忠重《露地》1933  
 藤牧義夫《つき》1934

恩地孝四郎『海の童話』1934  
谷中安規 佐藤春夫『FOU』1936  
武井武雄『銅版画集 地上の祭』表紙 1938  
織田一磨『都会生活』表紙/挿画 1941  
川西英『港都情景』表紙/挿画 1941  
川上澄生『文明開化往来』表紙/挿画 1941  
前川千帆『新野外小品』表紙/挿画 1942  
関野準一郎『東京の窓』表紙/挿画 1942  
武井武雄『宇宙説』表紙/挿画 1942  
逸見亨『水韻譜』表紙/挿画 1942  
恩地孝四郎『虫・魚・介』表紙/挿画 1943  
平塚運一『伊豆一周画詞』表紙/挿画 1943  
谷中安規《ムッテル・ショウス》1933  
谷中安規《瞑想氏》1933  
谷中安規《月のロケーション》1935  
谷中安規《ドラゴンズドリーム》1939  
料治朝鳴《大和風景（其四猿澤暮色）》1932  
料治朝鳴《大根の花》1933  
谷中安規《赤い人魚》1932  
棟方志功《花籠》1932  
棟方志功《文殊御目醒》1939  
棟方志功《仔河童御灸》1939  
平塚運一《高野山奥之院》1941  
恩地孝四郎《南海への思念》1942  
恩地孝四郎《あるヴァイオリニストの印象（諏訪根自子像）》1946  
駒井哲郎《足場》1942/1975 刷り  
長谷川潔《宝石と香水》1946  
杉原正巳〔作品〕1944 頃  
杉原正巳〔作品〕1944 頃  
加藤太郎《梢》1936 頃  
加藤太郎《トンボ》1944  
瑛九《人魚の恋》1953  
浜口陽三《二人》1952  
浜田知明《初年兵哀歌（銃架のかげ）》1951  
恩地孝四郎《Forme No.14 グロテスク (II)》1952  
長谷川潔《アレキサンドル三世橋とフランスの飛行船》1930（受託作品）  
駒井哲郎《東の間の幻影》1951（受託作品）

---

## 9. ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代

2018(平成30)年11月3日～2019(平成31)年1月20日 国立国際美術館  
北辻良央《WORK RR-2》1982  
北山善夫《飴でもどうかね》1987  
中川佳宣《果実あつめI》1989  
野田裕示《WORK 214》1984  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 野村仁》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 中原浩大》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 坂口正之》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 朝比奈逸人》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 宮崎豊治》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 石原友明》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 中西學》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 北辻良央》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 山部泰司》1985

畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 吉原英里》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 松井智恵》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 横溝秀実》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 杉山知子》1985  
畑 祥雄《『西風のコロンプスたち』より 池垣タダヒコ》1985

---

## 10. 佐伯祐三と近代の洋画

2018(平成30)年12月15日～2019(平成31)年1月27日 田辺市立美術館  
佐伯祐三《帽子をかぶる自画像》1922  
佐伯祐三《リュ・デュ・シャトーの歩道》1925  
佐伯祐三《広告のある門》1925  
佐伯祐三《下落合風景》1926  
佐伯祐三《モラン風景》1928

---

## 11. クリスチャン・ボルタンスキー展

2019(平成31)年2月9日～2020(令和元)年5月6日 国立国際美術館  
2020(令和元)年6月12日～9月2日 国立新美術館  
2020(令和元)年10月18日～2021(令和2)年1月5日 長崎県美術館  
クリスチャン・ボルタンスキー《モニュメント4(レッド)》1986

---

## 12. 開館30周年記念特別展 美術館の七燈

2019(平成31)年3月9日～2020(令和元)年5月26日 広島市現代美術館  
黒川紀章《イメージ 世界の建築(20点組)》1981

# 調査・研究・発表活動および対外協力活動

## 山野 英嗣

- ・「和歌山—日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる」展を担当（20頁参照）
- ・執筆：「第三節 教育と連動する博物館運営 —いま地方美術館に何ができるか」『博物館の歴史・理論・実践3—挑戦する博物館』京都造形芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 藝術学舎、2018年4月1日、pp.176-183
- ・執筆：巻頭特集「明治の美術」『日本藝術の創跡 23』株式会社クオリアート、2018年11月15日、pp.9-29
- ・執筆：「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」『新美術新聞』No.1489、2018年11月21日
- ・執筆：「『近代美術館』と名乗ること 「和歌山—日本」展を企画して」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.97、2019年2月15日、pp.1-2
- ・講演：「和歌山から島根へ—日本のモダン・アートを発信する」（2018年4月21日/島根県立石見美術館）、「モダン・アートに出会う5つの扉 和歌山県立近代美術館名品展」展にて
- ・放送大学「今日の美術館1」講師（2018年6月6日/和歌山県立近代美術館）
- ・芦屋市指定管理者選定・評価委員会に出席（2018年4月24日、7月6日・20日/芦屋市役所）
- ・公益財団法人中野美術館評議委員会に出席（2018年6月23日/ホテルグランヴィア京都）
- ・第72回堺市展（洋画部門）審査（2018年10月28日）
- ・博物館群施設美術資料収集・評価委員会に出席（2018年11月26日/大阪市）
- ・徳島県立近代美術館資料収集委員会に出席（2018年12月26日/徳島県立近代美術館）
- ・高知県立美術館資料収集審査会に出席（2018年12月28日/高知県立美術館）
- ・第73回姫路市展（日本画部門）審査（2019年2月7日）
- ・愛媛県美術品等収集評価委員会に出席（2019年2月9日）
- ・兵庫県立美術館作品収集会議に出席（2019年2月17日/兵庫県立美術館）
- ・国立国際美術館作品収集委員会に出席（2019年3月18日/国立国際美術館）
- ・所属学会：美学会、美術史学会

## 奥村 泰彦

- ・「なつやすみの美術館8 タイムトラベル」展を担当（16頁参照）
- ・執筆：「タイムトラベル」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.96、2018年9月28日、pp.1-2
- ・執筆：「陶芸の提案2018—手に伝わる新しさ」『陶芸の提案2018—手に伝わる—』ギャラリートーク、2018年、pp.4-5
- ・執筆：「多様の統一—川島慶樹の作品を巡って」『KEIJU KAWASHIMA Twiggy Project and Creative Wanderings 1984-2018』BIG X STUDIO、2018年、pp.163-165
- ・執筆：「線・面・色彩—古本有理恵の銅版画」『版画芸術』No.182 2018冬、阿部出版株式会社、2018年12月1日、p.101
- ・執筆：「制御する」『陶芸の提案2019—制御する—』ギャラリートーク、2019年、pp.4-5
- ・執筆：「二つの80年代展をめぐって」『ZENBI 全国美術館会議機関誌 全美フォーラム』vol.15、全国美術館会議、2019年1月31日、

pp.F-09-F-12

- ・対談：「陶芸の提案2018—手に伝わる」ギャラリートーク（2018年4月2日/ギャラリートーク）
- ・対談：「陶芸の提案2019—制御する—」ギャラリートーク（2019年3月25日/ギャラリートーク）
- ・放送大学「今日の美術館4」講師（2018年6月6日/和歌山県立近代美術館）
- ・徳島県立近代美術館価格表会員（委嘱期間2018年12月15日～2019年3月31日、委員会2018年12月15日）
- ・公益財団法人堀江オルゴール博物館理事
- ・所属学会：美学会、美術史学会、美学芸術学会、アートドキュメンテーション学会、版画学会（2018年度運営委員）

## 井上 芳子

- ・放送大学「今日の美術館2」講師（2018年6月6日/和歌山県立近代美術館）
- ・「コレクション展2018-春夏」、特集「庭園の眺め 高橋力雄の木版画」を担当（25頁参照）
- ・「コレクション名品選」を担当（43頁参照）
- ・執筆：「庭園の眺め 高橋力雄の木版画」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.96、p.4
- ・講演会：「和歌山県立近代美術館の創作版画」（2018年10月6日/岡山県立美術館）
- ・発表：「県庁舎を飾った芸術家 保田龍門」和歌山県庁舎建設80周年記念シンポジウム 和歌山県庁舎をつくった人びと（2018年12月24日/和歌山県立近代美術館ホール）
- ・美術史学会『美術史』第187冊に対する投稿論文の査読

## 植野 比佐見

- ・「コレクション展2018-冬春」、特集展示「はじまりの景色」を担当、フロアレクチャーを担当（2017年度より）
- ・「産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園」展を担当、フロアレクチャーを担当（12頁参照）
- ・執筆：「産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園」『和歌山県立近代美術館ニュース』95、pp.1-2
- ・執筆：「「保存」の話をしよう。⑤作品を動かすことについて」『和歌山県立近代美術館ニュース』95、p.7
- ・執筆：「「保存」の話をしよう。⑥謎のめじるし「結界」」『和歌山県立近代美術館ニュース』95、p.7
- ・執筆：「「保存」の話をしよう。⑦伝えること」『和歌山県立近代美術館ニュース』96、p.7
- ・執筆：「「保存」の話をしよう。⑧大工事！」『和歌山県立近代美術館ニュース』97、p.7
- ・「湯涌クリエイティブ版画展 金沢美術工芸大学コレクションから」出品（2018年9月29日～10月14日/金沢湯涌創作の森）
- ・講演：「謄写版のこれまで ガリ版からアートへ」講師、座談会「ガリ版の未来を語る」（2018年11月23日/蒲生コミュニティセンター）
- ・発表：「Mimeograph, the important developments Japanese artists have made in this field」Conference about the mimeograph（2019年2月7日、8日/University of Westminster, London）
- ・放送大学「今日の美術館7」講師（2018年6月7日/和歌山県立近代美術館）

代美術館)

- ・鳥取県美術展覧会版画部門審査 (2018年9月5日)
- ・執筆・編集:「近代日本版画家名覧」『版画堂』に連載
- ・所属学会: 明治美術学会、版画史研究会

## 奥村 一郎

- ・特集展示「鈴木昭男 音と場の探究」展を担当、パフォーマンス、ギャラリートークほか (30頁参照)
- ・「コレクション展 2018- 夏秋」を担当 (28頁参照)
- ・執筆:「石垣栄太郎《ハーレム裁判所の壁画》(「奴隷解放」の部分)について」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.97、pp.3-4
- ・執筆:「清水登之の作品を訪ねて XV 和歌山県立近代美術館 清水登之《ヨコハマ・ナイト》」『清水登之顕彰会会報』第19号、2018年9月1日、p.6
- ・執筆(共著):「小千谷 東忠あて大亦観風書簡 3」『広島女学院大学国際教養学部紀要』第6号、2019年3月31日、pp.1-14
- ・執筆:越中正文「つまり "please" / Please let me...」リーフレット、nca | nichido contemporary art、2018年11月、pp.32-37
- ・編集:「鈴木昭男 略年譜」『鈴木昭男 —内在— 展図録、熊野古道なかへち美術館、2019年2月1日、pp.1-14
- ・発表:「特集展示「鈴木昭男 音と場の探究」をめぐって」京都市立芸術大学芸術資源研究センター第24回アーカイブ研究会 (2018年12月18日 / 京都市立芸術大学大学学館ホール)
- ・発表:「和歌山県立近代美術館のコレクションと石垣栄太郎」、全国美術館会議 第9回地域美術研究部会 (2018年11月15日 / 和歌山県立近代美術館)
- ・全国美術館会議 第8回地域美術研究部会に出席 (2018年5月18日 / 高岡市美術館)
- ・全国美術館会議 第9回地域美術研究部会に出席 (2018年11月15日 / 和歌山県立近代美術館、11月16日 / 兵庫県立美術館)
- ・公益財団法人 脇村奨学会情報交換会に出席 (2018年8月12日) テーマ「高齢者を如何に館の活動に協力して戴くか?」
- ・放送大学「今日の美術館3」講師 (2018年6月6日 / 和歌山県立近代美術館)
- ・映画「さすらいのレコード・コレクター 10セントの宝物」上映会にてトーク (2018年8月11日 / LURUHALL)
- ・「サウンドアート学確立による20世紀アート史の書き換え」[平成30年度科学研究費助成事業、課題番号18K18488、研究代表者・中川真(大阪市立大学特任教授)] 研究協力者
- ・所属学会: 日本移民学会

## 宮本 久宣

- ・「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」を担当、図録編集および作品解説、作家解説を執筆、関連事業を担当 (8頁参照)
- ・特集展示「国展の版画」を担当、ギャラリートークほか (41頁参照)
- ・「モダン・アートに出会う5つの扉 和歌山県立近代美術館名品展」展(島根県立石見美術館、2018年4月21日~6月17日)の実施対応 (51.53-54頁参照)
- ・執筆・編集「国展と版画 永瀬義郎、平塚運一、川上澄生を中心に」『国画創作協会展覧会出品版画作品一覧』『国画創作協会の全貌』展図録、pp.178-185
- ・

- 執筆:「出雲の神の縁結び? コレクションの交換展をめぐって」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.95、p.5
- 執筆:「コレクション展2018- 秋冬 特集: 国展の版画について」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.97、p.5
- 執筆:「ワークショップ「晩花のふるさとを訪ねて」」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.98、p.3
- 放送大学「今日の美術館5」講師 (2018年6月7日 / 和歌山県立近代美術館)
- ・鑑賞会「だれでも美術館部」12月1日実施分を担当 (8頁参照)
- 所属学会: 美術史学会

## 青木 加苗

- ・「コレクション展 2018- 秋冬」を担当 (38頁参照)
- ・特集展示「国展の版画」を担当、ギャラリートークほか (41頁参照)
- ・小学生対象の鑑賞会「こども美術館部」全6回を担当 (45頁参照)
- ・鑑賞会「だれでも美術館部」全5回を担当 (45頁参照)
- ・執筆:「いわ Bee 誕生! 『こども美術館部 in 石見』」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.95、p.6
- ・執筆:「未来の地球はどうなっているだろう ワorkshop『2000年後の和歌山を発掘しよう!』」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.96、p.3
- ・執筆:「『だれでも美術館部』はじめました」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.97、p.6
- ・執筆:「日本の美術館と学芸員の未来を描くために—『シンポジウム これからの博物館の在るべき姿~博物館法をはじめとする関連法等の改正に向けて~』報告」『全国美術館会議機関誌 vol.14 全美フォーラム』2018年9月1日、pp.15-18
- ・執筆:「コレクション/キュレーション/鑑賞の関係を再構築しよう」(シリーズ: これからの美術館を考える(8))『ウェブ版「美術手帖」』2018年12月4日 <https://bijutsutecho.com/magazine/series/s13/18928>
- ・執筆・編集:「キュレーションと鑑賞(第2分科会報告)」『平成29年度 全国美術館会議第32回学芸員研修会 報告書 社会状況の多様化に美術館はどう向き合うか』全国美術館会議、2019年3月31日、pp.35-52
- ・報告「ICFA年次大会2017」『ICOM国際委員会等年次大会報告書』ICOM日本委員会、2019年3月7日
- ・発表:「Seitaro Kitayama and the Reception of Western Art: Modification of its Meaning through Presentation」、ICOM-ICFA年次大会 (2018年11月14日、Goethe Institute Madrid/ スペイン)
- ・第8回ミュージアムエデュケーター研修参加 (2018年9月19日、20日、21日 / 東京都美術館、2019年2月7日、8日 / 葛飾区郷土と天文の博物館)
- ・「こども美術館部 in 石見」ファシリテーター (2018年5月13日 / 島根県立石見美術館)
- ・成安造形大学「コミュニティデザイン概論」特別講師 (2018年5月31日)
- ・放送大学「今日の美術館8」講師 (2018年6月7日 / 和歌山県立近代美術館)
- ・和歌山市中学校夏期教育研修会講師 (2018年7月26日 / 和歌山県立近代美術館)
- ・国立美術館「平成30年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」サブファシリテーター (2018年8月6日 / 国立西洋

美術館)

- ・京都市立芸術大学大学院美術研究科非常勤講師「美術史特論 2」(2018年9月10日、11日、12日)
- ・京都市立銅駝美術工芸高等学校「美術探究 P」特別講師 (2018年12月6日)
- ・ICOM 京都大会 国際委員会窓口担当者会議に出席 (2018年8月30日 / 京都国立博物館)
- ・ICOM 舞鶴ミーティング 2018 に出席 (2018年9月30日 / 舞鶴市商工観光センター)
- ・ICOM 京都大会準備委員会に出席 (2018年10月1日 / 国立京都国際会館)
- ・ICOM ICEE-ICFA 合同年次大会に出席 (2018年11月11日～17日、CaixaForum Madrid、Goethe Institute Madrid、CaixaForum Barcelona/ スペイン)
- ・全国美術館会議第 67 回総会に出席 (2018年5月17日 / 富山県民共生センター サンフォルテ)
- ・全国美術館会議第 28 回美術館運営制度研究部会に出席 (2018年4月13日 / 国立西洋美術館)
- ・全国美術館会議第 29 回美術館運営制度研究部会に出席 (2018年8月10日 / 国立西洋美術館)
- ・全国美術館会議第 30 回美術館運営制度研究部会に出席 (2018年12月13日 / 国立西洋美術館)
- ・公益財団法人日本博物館協会 「博物館総合調査」準備委員会出席 (2019年3月23日 / 日本博物館協会)
- ・公益財団法人日本博物館協会 文化庁レガシー事業評価委員会出席 (2019年3月23日 / 日本博物館協会)
- ・ICOM 京都大会運営委員 (2017年4月～)
- ・ICOM-ICFA Affiliated Board Member (2018年11月～)
- ・和歌山大学美術館部サークル外部指導員 (2015年～)
- ・所属学会：ICOM-ICFA、意匠学会、美学会、美術科教育学会、美術史学会

- ・執筆：「谷口香嶠の模写と画譜出版」(並木誠士編『近代京都の美術工芸—制作・流通・鑑賞』思文閣出版、2019年3月29日、pp.293-315)
- ・講演：「谷口香嶠と京都の歴史画」「京都画壇の明治」展連続講演会 (2018年5月20日 / 京都市学校歴史博物館)
- ・発表：「寂光院の襖絵について」「和歌山—日本」展上映会 + シンポジウム「近代の文化遺産を守る—寂光院とその襖絵を中心に—」(2018年10月14日 / 和歌山県立近代美術館)
- ・発表：「国展の画家が愛した紀州～御坊編～」(2018年11月16日 / 御坊ロータリークラブ)
- ・発表：「国展の画家が愛した紀州～田辺編～」(2018年11月22日 / 田辺ロータリークラブ)
- ・講演：「国画創作協会と和歌山」「ふるさと再見市民講座」(2019年1月26日 / 橋本市中央公民館)
- ・発表：「黒住章堂とは何者だったのか 和歌山市寂光院襖絵調査の展開」和歌山地方史研究会 (2019年3月10日 / 和歌山市勤労者総合センター 6階文化ホール)
- ・放送大学「今日の美術館 6」講師 (2018年6月7日 / 和歌山県立近代美術館)
- ・全国美術館会議 第 9 回地域美術研究部会に出席、「国画創作協会の全貌展」ギャラリートークを担当 (2018年11月15日 / 和歌山県立近代美術館)
- ・所属学会：大正イマジユリ学会、明治美術学会

## 藤本 真名美

- ・特集展示「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅡ 紅児会・赤曜会に集える俊英」を担当、フロアレクチャーほか (27頁参照)
- ・特集展示「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅢ 禅僧の如き風姿—富田溪仙の画境」を担当 (36頁参照)
- ・特別展「創立 100 周年記念 国画創作協会の全貌展」を担当、図録編集および作品解説、作家解説、参考文献、出品目録を執筆、関連事業を担当 (8頁参照)
- ・執筆：「若者たちの覚醒するとき」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.96、pp.5-6
- ・執筆：「清姫の「盲目」 村上華岳《日高河清姫図》より」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.98、pp.1-2
- ・執筆：「創立 100 周年記念 国画創作協会の全貌展」記念講演会『和歌山県立近代美術館ニュース』No.98、p.4
- ・執筆：「国画創作協会創立をめぐって—京都の周辺人物を中心に」『創立 100 周年記念 国画創作協会の全貌展』図録、pp.166-170
- ・執筆：「谷口香嶠と京都の歴史画」『京都画壇の明治』展図録、京都市学校歴史博物館、2018年5月
- ・執筆：「国画創作協会、大阪茶話会が生まれた時代」『美術フォーラム 21』第 37 号、2018年5月30日

# 収集事業

## 和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- 日本画 1. 下村観山、川端龍子を軸とする院展の作家たち  
2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち
- 洋画 3. 川口軌外を軸とする 1930 年協会、初期独立美術協会の作家たち  
4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち  
5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち
- 版画 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画
- 彫刻 7. 本県にゆかりのある建畠覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻
- その他 8. 戦後美術  
ア パンリアル美術協会  
イ 走泥社  
ウ デモクラート美術家協会  
エ 具体美術協会
9. 現代の美術  
10. 海外の美術

## 和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員

- 榎本長治 会社社長  
酒井哲朗 福島県立美術館 名誉館長  
建畠 哲 多摩美術大学 学長／埼玉県立近代美術館 館長

## 第 41 回美術作品選定委員会

- 日時：2018（平成 30）年 6 月 14 日（木） 午後 3 時 30 分より開催  
出席：榎本長治委員、酒井哲朗委員（委員長）、建畠哲委員、山脇佐江子委員（協議会委員）、雪山行二委員（協議会委員）  
内容：購入候補作品ならびに受贈候補作品について、受け入れの妥当性について協議を行った。

## 第 42 回美術作品選定委員会

- 日時：2019（平成 31）年 3 月 21 日（木） 午後 2 時より開催  
出席：榎本長治委員、酒井哲朗委員（委員長）、建畠哲委員  
内容：受贈候補作品について、受け入れの妥当性について協議を行った。

## 2018（平成 30）年度収蔵作品点数

- 購入作品 1 点  
受贈作品 11 件 223 点

## 2018(平成30)年度 購入作品

各作品について、作者名、作品名、制作年、技法材質(形状)、寸法(cm、特記なき平面作品はイメージサイズ)、台帳番号を記した。  
作者名(五十音順、日本人作家/外国人作家)、制作年(昇順)に従って配列している。



1. 岸田 劉生 KISHIDA Ryusei  
男性肖像  
1912(明治45)  
油彩、キャンバスボード  
32.9 × 23.6  
[12190]

## 2018(平成30)年度 受贈作品

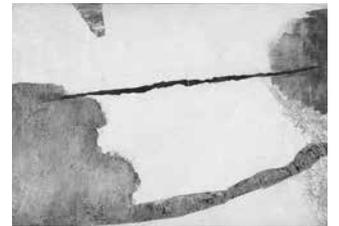
各作品について、作者名、作品名、制作年、技法材質、寸法(cm、特記なき平面作品はイメージサイズ)、寄贈者名、台帳番号を順に記した。  
作者名(五十音順)、制作年(昇順)に従って配列している。



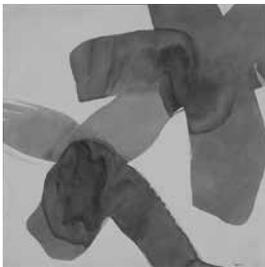
1. 安藤 榮作 ANDO Eisaku  
歩く富士山  
2015(平成27)  
木  
23.5 × 15.0 × 14.0  
田中恒子氏寄贈  
[12239]



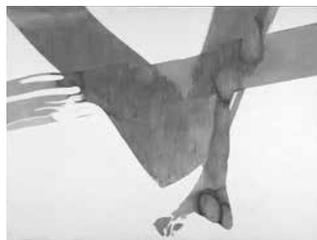
2. 出原 司 IZUHARA Tsukasa  
Hook  
1992(平成4)  
リトグラフ、紙  
57.5 × 76.3 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12192]



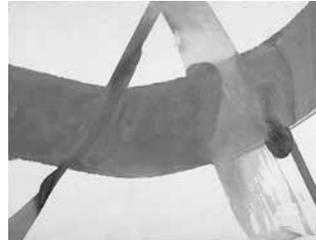
3. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
AP301  
1961(昭和36)  
油彩、キャンバス  
63.3 × 88.2  
泉照子氏寄贈  
[12100]



4. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
BS5013  
1963(昭和38)  
油彩、キャンバス  
100.0 × 100.0  
泉照子氏寄贈  
[12101]



5. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
CF6033  
1964(昭和39)  
油彩、キャンバス  
97.3 × 129.6  
泉照子氏寄贈  
[12102]



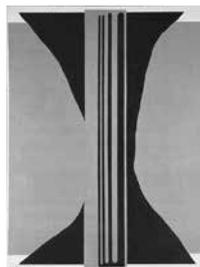
6. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
CF5024  
1964(昭和39)  
油彩、キャンバス  
89.0 × 115.8  
泉照子氏寄贈  
[12103]



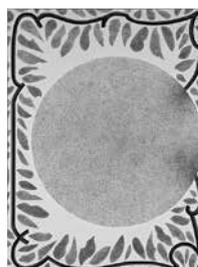
7. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
IF5040  
1970(昭和45)  
油彩、キャンバス  
116.6 × 90.8  
泉照子氏寄贈  
[12104]



8. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
IF5044  
1970(昭和45)  
油彩、キャンバス  
117.5 × 91.0  
泉照子氏寄贈  
[12105]



9. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
IF6014(ストックホルム)  
1970(昭和45)  
油彩、キャンバス  
130.5 × 97.2  
泉照子氏寄贈  
[12106]



10. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
丸と葉  
1986(昭和61)  
アクリル、キャンバス  
130.2 × 97.2  
泉照子氏寄贈  
[12107]



11. 泉 茂 IZUMI Shigeru  
From Silver Foil  
(72 × 72cm シリーズ) No.5  
1972(昭和47)  
シルクスクリーン、紙  
54.3 × 48.4 イメージ/72.0 × 72.0 シート  
泉照子氏寄贈  
[12108]



12. 今中 信一 IMANAKA Shinichi  
金虎  
2015 (平成 27)  
ガッシュ、麻布  
396.0 × 150.0  
田中恒子氏寄贈  
[12240]



13. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
作品・座  
1955 (昭和 30)  
石膏  
50.0 × 38.0 × 34.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12086]



14. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
作品  
1959 (昭和 34)  
ブロンズ  
17.0 × 69.0 × 5.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12087]



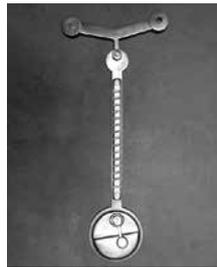
15. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
不在の中のかたち 3  
1969 (昭和 44)  
真鍮  
30.0 × 30.0 × 10.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12088]



16. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
不在の中のかたち 33  
1978 (昭和 53)  
亜鉛  
15.0 × 40.0 × 40.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12089]



17. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
[不詳]  
1978 (昭和 53)  
アルミニウム  
82.0 × 410.0 × 40.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12090]



18. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
封じられた時限 10  
1981 (昭和 56)  
アルミニウム  
80.0 × 35.0 × 5.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12091]



19. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
封じられた時限 11  
1981 (昭和 56)  
アルミニウム  
54.0 × 19.0 × 5.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12092]



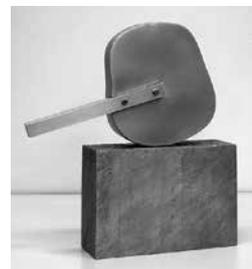
20. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
'84 封じられた風景 1  
1984 (昭和 59)  
アルミニウム、鉄  
60.0 × 55.0 × 55.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12093]



21. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
'84 封じられた風景 2  
1984 (昭和 59)  
アルミニウム、鉄  
60.0 × 55.0 × 55.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12094]



22. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
'88 封じられた時限 6  
1988 (昭和 63)  
アルミニウム  
26.0 × 40.0 × 40.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12095]



23. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
'89 封じられた時限 4  
1989 (平成元)  
アルミニウム  
54.0 × 13.0 × 54.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12096]



24. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
'90 封じられた時限 1  
1990 (平成 2)  
アルミニウム  
130.0 × 75.0 × 50.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12097]



25. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
'92 封じられた時限 1  
1992 (平成 4)  
アルミニウム  
50.0 × 26.0 × 27.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12098]



26. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
[不詳]  
制作年不明  
テラコッタ  
34.0 × 33.0 × 27.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12099]



27. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
不在の中のかたち 22  
1977 (昭和 52)  
亜鉛  
20.0 × 45.0 × 45.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12236]



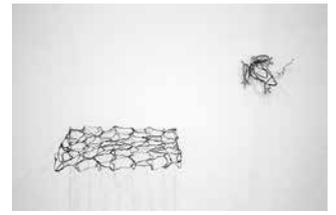
28. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
[不詳]  
1950年代  
石膏  
38.0 × 14.0 × 11.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12237]



29. 今村 輝久 IMAMURA Teruhisa  
[不詳]  
1950年代／鑄造 2018 (平成 30)  
ブロンズ  
38.0 × 14.0 × 11.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12238]



30. 今村 源 IMAMURA Hajime  
カエル・2D  
2017 (平成 29)  
針金  
8.5 × 8.0  
田中恒子氏寄贈  
[12241]



31. 今村 源 IMAMURA Hajime  
ダイ・カエル  
2017 (平成 29)  
針金  
6.0 × 18.0 × 13.0  
田中恒子氏寄贈  
[12242]



32-1. 岩村 遠 IWAMURA En  
お家  
2013 (平成 25)  
陶  
19.0 × 14.0 × 17.0  
田中恒子氏寄贈  
[12243-1]



32-2. 岩村 遠 IWAMURA En  
お家  
2013 (平成 25)  
陶  
11.0 × 13.0 × 16.0  
田中恒子氏寄贈  
[12243-2]



32-3. 岩村 遠 IWAMURA En  
お家  
2013 (平成 25)  
陶  
11.0 × 19.0 × 15.0  
田中恒子氏寄贈  
[12243-3]



32-4. 岩村 遠 IWAMURA En  
お家  
2013 (平成 25)  
陶  
19.0 × 18.0 × 12.0  
田中恒子氏寄贈  
[12243-4]



32-5. 岩村 遠 IWAMURA En  
お家  
2013 (平成 25)  
陶  
12.0 × 11.0 × 12.0  
田中恒子氏寄贈  
[12243-5]



33. POST WAR 69 戦争遺児  
1 真木淳夫  
[12117]



34. POST WAR 69 戦争遺児  
2 服部慶子  
[12112]



35. POST WAR 69 戦争遺児  
3 田淵潔  
[12126]



36. POST WAR 69 戦争遺児  
4 岸本清美  
[12114]



37. POST WAR 69 戦争遺児  
5 小椋章光  
[12121]



38. POST WAR 69 戦争遺児  
6 小林幹夫  
[12115]



39. POST WAR 69 戦争遺児  
7 安井一枝  
[12127]



40. POST WAR 69 戦争遺児  
8 近藤卓志  
[12116]



41. POST WAR 69 戦争遺児  
9 藤原信子  
[12110]



42. POST WAR 69 戦争遺児  
10 福元基  
[12111]



43. POST WAR 69 戦争遺児  
11 佐々木義和  
[12125]



44. POST WAR 69 戦争遺児  
12 秀平良子  
[12113]



45. POST WAR 69 戦争遺児  
13 松田孝信  
[12118]



46. POST WAR 69 戦争遺児  
14 大島路子  
[12124]



47. POST WAR 69 戦争遺児  
15 岡清美  
[12123]



48. POST WAR 69 戦争遺児  
16 小倉延行  
[12122]



49. POST WAR 69 戦争遺児  
17 横田秀夫  
[12128]



50. POST WAR 69 戦争遺児  
18 浅野實  
[12109]



51. POST WAR 69 戦争遺児  
19 中島千保美  
[12120]



52. POST WAR 69 戦争遺児  
20 枝松登貴代  
[12119]



53. ~ 72.  
太田 三郎 Ota Saburo  
POST WAR 72 世紀の遺書 (20点)  
2017 (平成 29)  
レーザープリント、紙  
各 30.0 × 21.0  
田中恒子氏寄贈



53. POST WAR 72 世紀の遺書  
1 大場金次  
[12129]



54. POST WAR 72 世紀の遺書  
2 白岩定夫  
[12130]



55. POST WAR 72 世紀の遺書  
3 石上保  
[12131]



56. POST WAR 72 世紀の遺書  
4 岩広一二  
[12132]



57. POST WAR 72 世紀の遺書  
5 桑島怨一  
[12133]



58. POST WAR 72 世紀の遺書  
6 吉田昌司  
[12134]



59. POST WAR 72 世紀の遺書  
7 野口秀夫  
[12135]



60. POST WAR 72 世紀の遺書  
8 緑川寿  
[12136]



61. POST WAR 72 世紀の遺書  
9 江草忠義  
[12137]



62. POST WAR 72 世紀の遺書  
10 星愛喜  
[12138]



63. POST WAR 72 世紀の遺書  
11 日高己雄  
[12139]



64. POST WAR 72 世紀の遺書  
12 岩田光儀  
[12140]



65. POST WAR 72 世紀の遺書  
13 甲村武雄  
[12141]



66. POST WAR 72 世紀の遺書  
14 海老根七之助  
[12142]



67. POST WAR 72 世紀の遺書  
15 中村武男  
[12143]



68. POST WAR 72 世紀の遺書  
16 安部末男  
[12144]



69. POST WAR 72 世紀の遺書  
17 浜崎直記  
[12145]



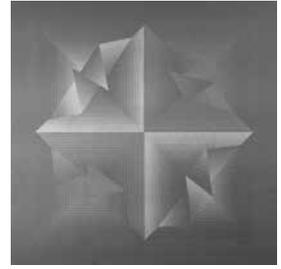
70. POST WAR 72 世紀の遺書  
18 菅原亥三郎  
[12146]



71. POST WAR 72 世紀の遺書  
19 平野庫太郎  
[12147]



72. POST WAR 72 世紀の遺書  
20 木村保  
[12148]



73. 片山利弘 KATAYAMA Toshihiro  
ROSE-RED N-27  
1970 (昭和 45) 年代  
シルクスクリーン、紙  
49.1 × 49.0 イメージ / 60.8 × 60.8 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12195]



74. 片山利弘 KATAYAMA Toshihiro  
N-11  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
79.1 × 78.9 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12193]



75. 片山利弘 KATAYAMA Toshihiro  
Intersection - Blue  
1978 (昭和 53)  
アルミニウム  
82.0 × 410.0 × 40.0  
今村悦美氏・今村源氏寄贈  
[12090]



76. 亀谷彩 KAMETANI Aya  
蓮の舟  
2007 (平成 19)  
漆、布、竹、粘土  
6.5 × 6.5 × 6.0  
田中恒子氏寄贈  
[12244]



77. 川上 涼花 KAWAKAMI Ryoka  
風景  
1909 (明治 42)  
水彩、紙  
17.7 × 28.1  
北山睦人氏寄贈  
[12188]



78. 河邊 裕美 KAWABE Hiromi  
Moon Rabbit II  
1986 (昭和 61)  
銅版、紙 (雁皮刷)  
62.0 × 40.6 イメージ / 72.2 × 50.0 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12196]



79. 河邊 裕美 KAWABE Hiromi  
Dancing Rabbit III  
1986 (昭和 61)  
銅版、紙 (雁皮刷)  
45.2 × 60.4 イメージ / 50.1 × 72.0 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12197]



80. 河邊 裕美 KAWABE Hiromi  
We are dried Fish  
1987 (昭和 62)  
銅版、紙 (雁皮刷)  
45.2 × 60.5 イメージ / 52.0 × 60.5 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12198]



81. 河邊 裕美 KAWABE Hiromi  
Where is dog bar?  
1987 (昭和 62)  
銅版、紙 (雁皮刷)  
45.3 × 59.7 イメージ / 51.6 × 73.0 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12199]



82. 河邊 裕美 KAWABE Hiromi  
Silent Zoo  
1987 (昭和 62)  
銅版、紙 (雁皮刷)  
45.3 × 60.0 イメージ / 51.6 × 70.8 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12200]



83. 岸田 真理子 KISHIDA Mariko  
二葉キャッスル  
2000 (平成 12)  
銅版、紙  
6.4 × 5.0 プレートマーク / 10.7 × 7.0 シート  
田中恒子氏寄贈  
[12245]



84. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Battering Rum  
1984 (昭和 59)  
シルクスクリーン、紙  
55.0 × 73.2 イメージ / 56.7 × 76.2 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12201]



85. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Triangle man  
1984 (昭和 59)  
シルクスクリーン・コラージュ、紙  
62.8 × 43.2 イメージ / 63.6 × 45.7 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12202]



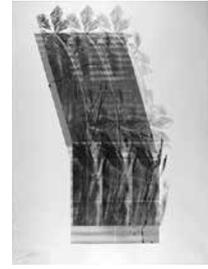
86. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
English rain I  
1986 (昭和 61)  
シルクスクリン、紙  
333×50.3イメージ/54.5×72.7シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12203]



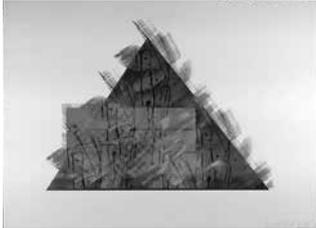
87. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
A new moon  
1986 (昭和 61)  
シルクスクリン、紙  
73.0×55.5イメージ/76.2×56.7シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12204]



88. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Cosmology1986  
1986 (昭和 61)  
シルクスクリン、紙  
75.3×54.2イメージ/76.3×56.7シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12205]



89. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Windy slope B  
1990 (平成 2)  
シルクスクリン、紙  
76.6×57.4シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12206]



90. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Green Park 『Chestnut Park』  
5点組のうち  
1990 (平成 2)  
シルクスクリン、紙  
57.7 × 76.7 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12207]



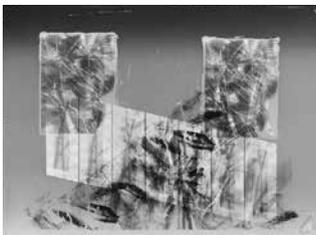
91. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Behind a Pool 『Chestnut Park』  
5点組のうち  
1990 (平成 2)  
シルクスクリン、紙  
76.6 × 57.6 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12208]



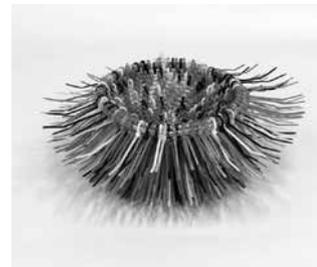
92. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Windy Blue 『Chestnut Park』  
5点組のうち  
1990 (平成 2)  
シルクスクリン、紙  
56.7×75.7イメージ/57.5×76.7シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12209]



93. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Piling bleeze  
1990 (平成 2)  
シルクスクリン、紙  
57.5×76.2イメージ/57.5×76.7シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12210]



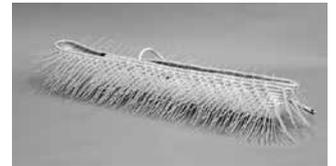
94. 木村 秀樹 KIMURA Hideki  
Piling green  
1991 (平成 3)  
シルクスクリン、紙  
57.0×76.3 イメージ/57.3×76.7シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12211]



95. 國政 聡志 KUNIMASA Satoshi  
basket  
2011 (平成 23)  
染めた結束バンド、ビニールチューブ  
9.0 × 28.0 × 28.0  
田中恒子氏寄贈  
[12246]



96. 國政 聡志 KUNIMASA Satoshi  
tsubo  
2012 (平成 24)  
結束バンド、ビニールチューブ  
102.0 × 55.0 × 55.0  
田中恒子氏寄贈  
[12247]



97. 國政 聡志 KUNIMASA Satoshi  
boat  
2013 (平成 25)  
木、結束バンド、ロープ  
10.0 × 65.0 × 19.0  
田中恒子氏寄贈  
[12248]



98. 國政 聡志 KUNIMASA Satoshi  
ball  
2015 (平成 27)  
染めた結束バンド、ロープ  
27.0 直径  
田中恒子氏寄贈  
[12249]



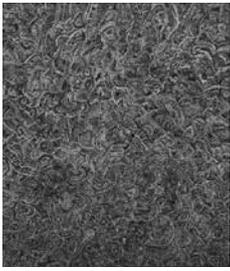
99. 呉本 俊松 KUREMOTO Toshimatsu  
兎のまね  
1991 (平成 3)  
油彩・パステル、キャンバス  
40.9 × 28.9  
小倉キサ子氏寄贈  
[12191]



100. 小泉 雅代 KOIZUMI Masayo  
てるてる坊主  
2009 (平成 21) 頃  
ガラス、布、ビーズ、スパンコール、粘土、  
アクリル絵具、鉄  
25.5 × 25.0 × 24.5 アクリルケース  
田中恒子氏寄贈  
[12250]



101. 國府 理 KOKUFU Osamu  
アートカレンダー2010  
KOKUFUMOBIL ♥ SAMBAR  
(72×72cmシリーズ) No.5  
2009 (平成 21)  
インク、紙  
38.0 × 29.0  
田中恒子氏寄贈  
[12251]



102. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
EDEN  
油彩、キャンバス  
53.3 × 45.8  
田中恒子氏寄贈  
[12149]



103. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
[初期素描] 1  
水彩、紙  
56.5 × 46.0  
田中恒子氏寄贈  
[12150]



104. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
[初期素描] 2  
水彩、紙  
56.5 × 46.0  
田中恒子氏寄贈  
[12151]



105. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
[初期素描] 3  
水彩、紙  
56.5 × 46.0  
田中恒子氏寄贈  
[12152]



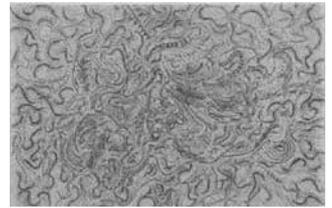
106. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
[初期素描] 4  
水彩、紙  
56.5 × 46.0  
田中恒子氏寄贈  
[12153]



107. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
WATER GARDEN  
水彩、紙  
28.5 × 34.5  
田中恒子氏寄贈  
[12154]



108. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
獣よ、おまえにまたがり異国へ行く  
水彩、紙  
43.5 × 46.5  
田中恒子氏寄贈  
[12155]



109. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
麒麟  
水彩、紙  
14.8 × 22.6  
田中恒子氏寄贈  
[12156]



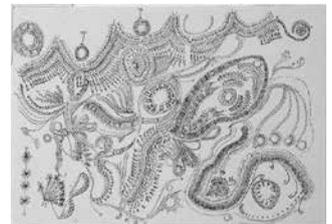
110. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
Love Letter ～さあ誰に？～  
水彩、紙  
18.2 × 25.9  
田中恒子氏寄贈  
[12157]



111. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
無題  
水彩、紙  
45.0 × 35.5  
田中恒子氏寄贈  
[12158]



112-1. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
1 セロクエル男爵のポートレート  
鉛筆、紙  
16.5 × 11.0  
田中恒子氏寄贈  
[12159-1]



112-2. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
2 リボトリール夫人のポートレート  
鉛筆、紙  
12.3 × 16.4  
田中恒子氏寄贈  
[12159-2]



112-3. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
3 出会い 1  
鉛筆、紙  
13.3 × 13.1  
田中恒子氏寄贈  
[12159-3]



112-4. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
4 出会い 2  
鉛筆、紙  
16.0 × 11.0  
田中恒子氏寄贈  
[12159-4]



112-5. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
5 リボトリールの内緒話  
鉛筆、紙  
9.5 × 14.8  
田中恒子氏寄贈  
[12159-5]



112-6. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
6 セロクエル男爵の内緒話  
鉛筆、紙  
9.5 × 14.8  
田中恒子氏寄贈  
[12159-6]



112-7. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
7つの男爵の想い  
鉛筆、紙  
16.7 × 11.3  
田中恒子氏寄贈  
[12159-7]



112-8. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
8ルビアル城でのパーティー  
鉛筆、紙  
15.5 × 12.4  
田中恒子氏寄贈  
[12159-8]



112-9. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
9ダンス  
鉛筆、紙  
14.0 × 13.0  
田中恒子氏寄贈  
[12159-9]



112-10. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
10リボトリール夫人の吉報 セロク  
エル男爵の悲しみ  
鉛筆、紙  
11.0 × 17.6  
田中恒子氏寄贈  
[12159-10]



112-11. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
11別れ  
鉛筆、紙  
12.0 × 15.0  
田中恒子氏寄贈  
[12159-11]



112-12. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
セロクエル男爵とリボトリール夫人  
12追・セロクエル男爵のポートレート  
鉛筆、紙  
14.2 × 10.7  
田中恒子氏寄贈  
[12159-12]



113-1. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
Drei Romanzen  
1 Romance  
銅版、紙  
10.8 × 8.8 イメージ/38.0 × 28.0 シート  
田中恒子氏寄贈  
[12160-1]



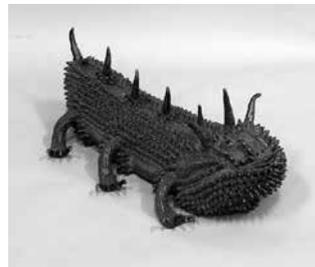
113-2. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
Drei Romanzen  
2 Requiem  
銅版、紙  
10.8 × 8.8 イメージ/38.0 × 28.0 シート  
田中恒子氏寄贈  
[12160-2]



113-3. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
Drei Romanzen  
3 Fantasy  
銅版、紙  
10.8 × 8.8 イメージ/38.0 × 28.0 シート  
田中恒子氏寄贈  
[12160-3]



114. 坂上 チユキ SAKAGAMI Chiyuki  
さがしもの  
ミクストメディア  
20.0 × 31.5 × 26.0  
田中恒子氏寄贈  
[12161]



115. 澤田 真一 SAWADA Shinichi  
竜  
2009 (平成 21)  
陶  
14.0 × 37.0 × 20.0  
田中恒子氏寄贈  
[12252]



116. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao  
木の現象 〈喬木 1〉  
1997 (平成 9)  
鍛造ステンレス鋼  
244.0 × 76.0 × 82.0  
作者寄贈  
[12162]



117. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao  
木の現象 〈喬木 2〉  
1997 (平成 9)  
鍛造ステンレス鋼  
24.4 × 76.0 × 82.0  
作者寄贈  
[12163]



118. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao  
散距離  
2008 (平成 20)  
鍛造ステンレス鋼  
472.0 × 590.0 × 180.0  
作者寄贈  
[12164]



119. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao  
交叉距離  
2009 (平成 21)  
鍛造ステンレス鋼  
340.0 × 800.0 × 624.0  
作者寄贈  
[12165]



120. 鈴木 久雄 SUZUKI Hisao  
人型速度 s32  
2015 (平成 27)  
鍛造ステンレス鋼  
22.0 × 27.0 × 22.0  
作者寄贈  
[12166]



121. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
人型速度 s33  
2015 (平成 27)  
鍛造ステンレス鋼  
27.0 × 22.0 × 18.5  
作者寄贈  
[12167]



122. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
人型速度 s35  
2015 (平成 27)  
鍛造ステンレス鋼  
28.0 × 22.0 × 19.0  
作者寄贈  
[12168]



123. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
人型速度 s39  
2015 (平成 27)  
鍛造ステンレス鋼  
26.0 × 24.0 × 19.0  
作者寄贈  
[12169]



124. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
人型速度 s41  
2015 (平成 27)  
鍛造ステンレス鋼  
29.0 × 11.5 × 19.5  
作者寄贈  
[12170]



125. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
人型速度 s45  
2015 (平成 27)  
鍛造ステンレス鋼  
29.0 × 11.5 × 19.5  
作者寄贈  
[12171]



126. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
木と人型距離 p2  
2016 (平成 28)  
鍛造ステンレス鋼  
36.0 × 6.0 × 20.5  
作者寄贈  
[12172]



127. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
木と人型距離 p20  
2016 (平成 28)  
鍛造ステンレス鋼  
36.0 × 6.0 × 20.5  
作者寄贈  
[12173]



128. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
木と人型距離 p10  
2016 (平成 28)  
鍛造ステンレス鋼  
30.0 × 29.5 × 20.0  
作者寄贈  
[12174]



129. 鈴木久雄 SUZUKI Hisao  
木と人型距離  
2016 (平成 28)  
鍛造ステンレス鋼  
40.0 × 35.0 × 22.5  
作者寄贈  
[12175]



130. 鈴木理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (E-72)  
2006 (平成 18)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12176]



131. 鈴木理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (08, DK-3)  
2008 (平成 20)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12177]



132. 鈴木理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-273)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12178]



133. 鈴木理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-384)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12179]



134. 鈴木理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-507)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12180]



135. 鈴木理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-294)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12181]



136. 鈴木理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-504)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12182]



137. 鈴木 理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-515)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12183]



138. 鈴木 理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-533)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12184]



139. 鈴木 理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-410)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12185]



140. 鈴木 理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-450)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12186]



141. 鈴木 理策 SUZUKI Risaku  
海と山のあいだ (14, DK-430)  
2014 (平成 26)  
発色現像方式印画  
95.2 × 119.0  
作者寄贈  
[12187]



142. 関島 寿子 SEKIJIMA Hisako  
#550 構造を持つ量塊 IV  
2009 (平成 21)  
クルミ樹皮、アケビ  
15.5 × 25.0 × 24.5  
田中恒子氏寄贈  
[12253]



143. 関島 寿子 SEKIJIMA Hisako  
#589 域を印す I  
2013 (平成 25)  
ヤマボウシ、エノキ、麻糸、釘  
23.0 × 57.0 × 24.0  
田中恒子氏寄贈  
[12254]



144. 園山 晴己 SONOYAMA Harumi  
d'encres - S  
1986 (昭和 61)  
リトグラフ、紙  
51.3 × 74.8 イメージ/61.0 × 89.8 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12212]



145. 園山 晴己 SONOYAMA Harumi  
d'encres - V  
1987 (昭和 62)  
リトグラフ、紙  
53.6 × 80.0 イメージ/60.3 × 89.0 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12213]



146. 園山 晴己 SONOYAMA Harumi  
d'encres - Z  
1988 (昭和 63)  
リトグラフ、紙  
55.8 × 82.2 イメージ/66.4 × 92.4 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12214]



147. 園山 晴己 SONOYAMA Harumi  
Sortie de Couler - D  
1990 (平成 2)  
リトグラフ、紙  
63.6 × 94.8 イメージ/74.8 × 110.2 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12215]



148. 園山 晴己 SONOYAMA Harumi  
Sortier de Coulant - E  
1990 (平成 2)  
リトグラフ、紙  
63.8 × 88.8 イメージ/72.9 × 102.9 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12216]



149. 園山 晴己 SONOYAMA Harumi  
Sortir en coulant - B-1  
1990 (平成 2)  
リトグラフ、紙  
45.2 × 30.4 イメージ/52.0 × 37.5 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12217]



150. 染谷 聡 SOMEYA Satoshi  
むすび  
2013 (平成 25)  
漆、発泡スチロールほか  
5.5 × 8.0 × 7.5  
田中恒子氏寄贈  
[12255]



151. 染谷 聡 SOMEYA Satoshi  
みしき  
2016 (平成 28)  
漆、石、錫ほか  
9.0 × 8.0 × 7.0  
田中恒子氏寄贈  
[12256]



152. 高井 貞二 TAKAI Teiji  
[静物]  
制作年不詳 [1920 年代]  
油彩、キャンバス  
29.8 × 40.5  
佐藤圭子氏寄贈  
[12234]



153. 田中孝 TANAKA Takashi  
作品  
1982(昭和57)  
シルクスクリーン、紙  
33.9×49.9イメージ/50.3×66.0シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12218]



154. 田中孝 TANAKA Takashi  
マッティ  
1991(平成3)  
ソフトグラウンドエッチング、紙  
50.0×37.2イメージ/63.1×46.2シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12219]



155-1. 田淵安一 TABUCHI Yasukazu  
風静々1 風靈  
1991(平成3)  
銅版、紙  
26.8×20.2イメージ/49.8×26.6シート  
田中恒子氏寄贈  
[12257-1]



155-2. 田淵安一 TABUCHI Yasukazu  
風静々2 五星界  
1991(平成3)  
銅版、紙  
26.7×20.2イメージ/49.9×26.5シート  
田中恒子氏寄贈  
[12257-2]



155-3. 田淵安一 TABUCHI Yasukazu  
風静々3 菱の風景  
1991(平成3)  
銅版、紙  
26.7×20.3イメージ/50.0×26.6シート  
田中恒子氏寄贈  
[12257-3]



155-4. 田淵安一 TABUCHI Yasukazu  
風静々4 石花  
1991(平成3)  
銅版、紙  
26.7×20.3イメージ/49.2×26.5シート  
田中恒子氏寄贈  
[12257-4]



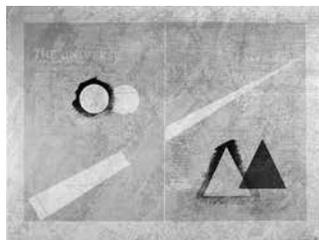
155-5. 田淵安一 TABUCHI Yasukazu  
風静々5 水天渺々  
1991(平成3)  
銅版、紙  
26.7×20.2イメージ/49.7×26.7シート  
田中恒子氏寄贈  
[12257-5]



155-6. 田淵安一 TABUCHI Yasukazu  
風静々6 赤い崖  
1991(平成3)  
銅版、紙  
26.7×20.2イメージ/49.7×26.6シート  
田中恒子氏寄贈  
[12257-6]



156. 中岡慎太郎 NAKAOKA Shintaro  
My Family  
2014(平成26)  
富士山溶岩、木曾檜杣  
10.0×8.0×7.5  
田中恒子氏寄贈  
[12258]



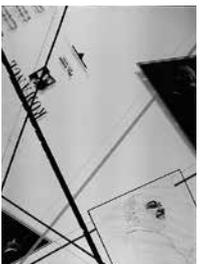
157. 中路規夫 NAKAJI Norio  
6P# EXPLORATION  
1988(昭和63)  
シルクスクリーン、紙  
50.3×66.4シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12220]



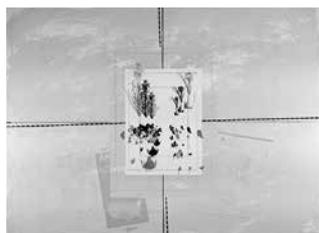
158. 中路規夫 NAKAJI Norio  
6P# Chick Corea - MY ROMANCE  
- L1  
1990(平成2)  
シルクスクリーン、紙  
63.0×91.7シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12221]



159. 中路規夫 NAKAJI Norio  
6P# CountBasie - MY ROMANCE  
- M3  
1990(平成2)  
シルクスクリーン、紙  
56.0×74.6イメージ/57.4×76.4シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12222]



160. 中路規夫 NAKAJI Norio  
6P# MY ROMANCE - Count Basie  
- Line 1  
1992(平成4)  
シルクスクリーン、紙  
77.0×57.4シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12223]



161. 中路規夫 NAKAJI Norio  
6P# Mauve  
1998(平成10)  
シルクスクリーン、紙  
56.6×76.5シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12224]



162. 中路規夫 NAKAJI Norio  
6P# 植物誌  
1998(平成10)  
シルクスクリーン、紙  
56.6×76.4シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12225]



163. 中路規夫 NAKAJI Norio  
6P# Crocuss  
2001(平成13)  
シルクスクリーン、紙  
56.7×76.5シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12226]



164. 中辻 悦子 NAKATSUJI Etsuko  
連鎖 IV  
1984 (昭和 59)  
リトグラフ、紙  
85.1×52.2イメージ/90.6×62.0シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12227]



165. 中村 潤 NAKAMURA Megu  
めいめいの重なり 6  
2018 (平成 30)  
ポリエチレン製糸  
40.0×36.0×36.0  
田中恒子氏寄贈  
[12259]



166. 林 司馬 HAYASHI Shime  
舞妓  
1934 (昭和 9)  
顔料、絹  
40.3×51.0  
内山蘇乃氏寄贈  
[12235]



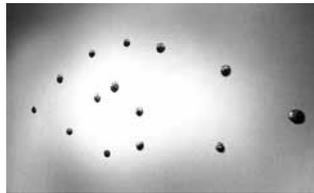
167. 原 勝四郎 HARA Katsushiro  
風景 (番所鼻)  
1932 (昭和 7)  
油彩、ボード  
52.2×64.8  
木原達夫氏寄贈  
[12232]



168. 秀島 由己男 HIDESHIMA Yukio  
静物考 Cabbage  
1985 (昭和 60)  
メゾチント、紙  
17.6×16.9イメージ/36.2×31.3シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12228]



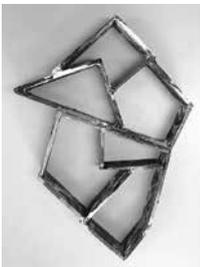
169. 秀島 由己男 HIDESHIMA Yukio  
旧約聖書「詩篇」より E なんぢの憐憫をわれに臨ませたまへざらばわれ生ん  
1989 (平成元)  
メゾチント、紙(雁皮刷)  
17.2×15.0イメージ/38.0×31.1シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12229]



170. ひろいのぶこ HIROI Nobuko  
A MILLION EYE-TWINKLING STARS-千眼  
2009 (平成 21)  
貝ボタン、リネン、縫い  
105.0×280.0×7.0  
田中恒子氏寄贈  
[12260]



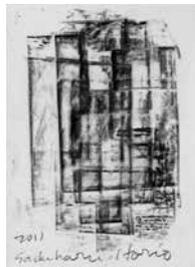
171. 福岡 道雄 FUKUOKA Michio  
田中をまねる  
1996 (平成 8)  
FRP、木  
17.0×18.0×20.5  
田中恒子氏寄贈  
[12261]



172. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
あたりまえのこと  
2014 (平成 26) - 2017 (平成 29)  
アクリル絵具、木  
77.0×54.0×10.5  
田中恒子氏寄贈  
[12262]



173. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2003 (平成 15)  
墨・絵具、紙  
186.0×189.0  
田中恒子氏寄贈  
[12263]



174. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2011 (平成 23)  
クレヨン・鉛筆、紙  
20.0×14.6  
田中恒子氏寄贈  
[12264]



175. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2012 (平成 24)  
毛糸・絵具、紙  
29.0×20.0  
田中恒子氏寄贈  
[12265]



176. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2013 (平成 25)  
絵具、紙  
38.0×27.0  
田中恒子氏寄贈  
[12266]



177. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2014 (平成 26)  
絵具・サインペン、紙  
45.0×27.5  
田中恒子氏寄贈  
[12267]



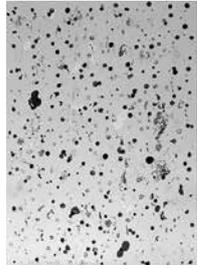
178. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2016 (平成 28)  
絵具、紙  
38.0×27.0  
田中恒子氏寄贈  
[12268]



179. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2016 (平成 28)  
絵具、紙  
38.0×27.0  
田中恒子氏寄贈  
[12269]



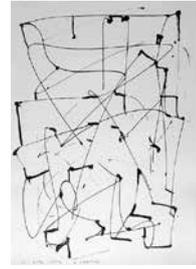
180. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2016 (平成 28)  
絵具、紙  
38.0 × 27.0  
田中恒子氏寄贈  
[12270]



181. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2016 (平成 28)  
絵具、紙  
38.0 × 27.0  
田中恒子氏寄贈  
[12271]



182. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2016 (平成 28)  
絵具、紙  
38.0 × 27.0  
田中恒子氏寄贈  
[12272]



183. 堀尾 貞治 HORIO Sadaharu  
[ドローイング]  
2016 (平成 28)  
絵具、紙  
38.0 × 27.0  
田中恒子氏寄贈  
[12273]



184. 松村 定育 MATSUMURA Sadaiku  
Kaleidoscope (L-Y)  
1976 (昭和 51)  
シルクスクリーン、紙  
67.0 × 67.0 イメージ/78.3 × 78.0 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12230]



185. 松村 定育 MATSUMURA Sadaiku  
Kaleidoscope (L-V)  
1976 (昭和 51)  
シルクスクリーン、紙  
67.0 × 67.0 イメージ/78.0 × 78.2 シート  
小倉キサ子氏寄贈  
[12231]



186. 三宅 克己 MIYAKE Kokki  
奈良の町  
1912 (明治 45) 頃  
鉛筆、紙  
15.8 × 10.4  
北山睦人氏寄贈  
[12189]



187. 宮田 彩加 MIYATA Sayaka  
鶯流水図  
2015 (平成 27)  
布、糸  
11.5 × 25.2 × 20.5  
田中恒子氏寄贈  
[12274]



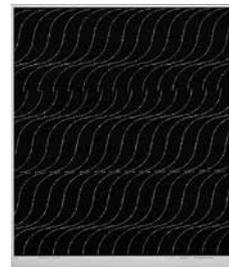
188-1 ~ 365.  
安田 辰雄 YASUDA Tatsuo  
絵日記 365 日 (365 点)  
2009 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日  
2009 (平成 21)  
クレヨン・鉛筆、紙  
各 25.6 × 18.2  
田中恒子氏寄贈  
[12275-1 ~ 365]



189. 保田 龍門 YASUDA Ryumon  
四季 (春夏秋冬)  
[昭和初期]  
油彩・水彩・色鉛筆、紙  
177.5 × 374.0  
木原達夫氏寄贈  
[12233]



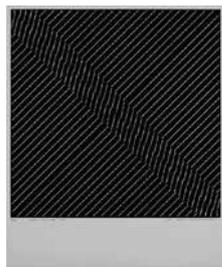
190. 山口 敏郎 YAMAGUCHI Toshio  
赤い花  
2013 (平成 25)  
ワイヤー、和紙、石膏、顔料  
各 34.0 × 5.0 × 5.0 (5 点)  
田中恒子氏寄贈  
[12276]



191. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Refrain  
1973 (昭和 48)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12053]



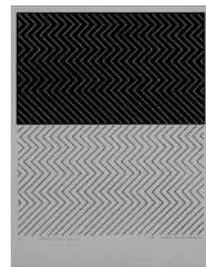
192. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Refrain B  
1973 (昭和 48)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 53.0  
太田真実氏寄贈  
[12054]



193. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Rain 9  
1973 (昭和 48)  
シルクスクリーン、紙  
65.2 × 53.0  
太田真実氏寄贈  
[12055]



194. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Repeat 3-A-2  
1973 (昭和 48)  
シルクスクリーン、紙  
72.8 × 51.5  
太田真実氏寄贈  
[12056]



195. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-A  
1973 (昭和 48)  
シルクスクリーン、紙  
72.8 × 51.5  
太田真実氏寄贈  
[12057]



196. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Repeat-6-A  
1973 (昭和 48)  
シルクスクリーン、紙  
72.8 × 51.5  
太田真実氏寄贈  
[12058]



197. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Repeat-6-C  
1973 (昭和 48)  
シルクスクリーン、紙  
72.8 × 51.5  
太田真実氏寄贈  
[12059]



198. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-21  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12060]



199. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-23  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12061]



200. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-25  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12062]



201. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Centre  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12063]



202. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-26-B  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12064]



203. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-27-A  
1975 (昭和 50)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12065]



204. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-40  
1976 (昭和 51)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12066]



205. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-43-B  
1976 (昭和 51)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12067]



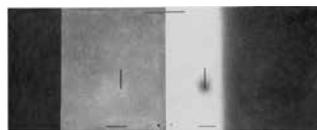
206. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Repeat-16  
1976 (昭和 51)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12068]



207. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Reverse-44  
1976 (昭和 51)  
シルクスクリーン、紙  
72.7 × 60.6  
太田真実氏寄贈  
[12069]



208. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Range-1  
1976 (昭和 51)  
シルクスクリーン、紙  
65.1 × 53.0  
太田真実氏寄贈  
[12070]



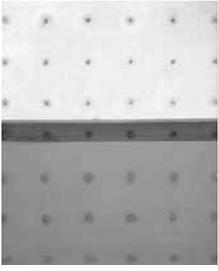
209. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work-137  
2001 (平成 13)  
アクリルカラー・油彩、キャンバス  
72.7 × 181.8  
太田真実氏寄贈  
[12071]



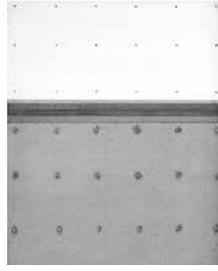
210. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work-156 モランディに  
2002 (平成 14)  
油彩、綿布、木  
72.5 × 48.5  
太田真実氏寄贈  
[12072]



211. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
Work-162  
2002 (平成 14)  
水彩、綿布  
50.0 × 41.5  
太田真実氏寄贈  
[12073]



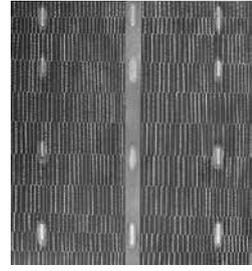
212. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-163**  
 2002 (平成 14)  
 水彩、綿布  
 70.0 × 52.5  
 太田真実氏寄贈  
 [12074]



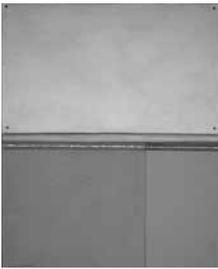
213. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-164**  
 2002 (平成 14)  
 水彩、綿布  
 70.0 × 52.5  
 太田真実氏寄贈  
 [12075]



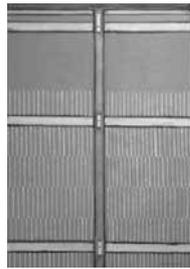
214. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-322-1**  
 2008 (平成 20)  
 油彩、綿布  
 71.0 × 51.0  
 太田真実氏寄贈  
 [12076]



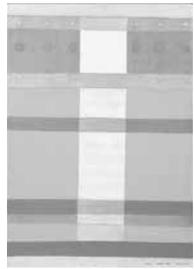
215. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-325**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 91.0 × 73.0  
 太田真実氏寄贈  
 [12077]



216. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-333**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 73.0 × 53.0  
 太田真実氏寄贈  
 [12078]



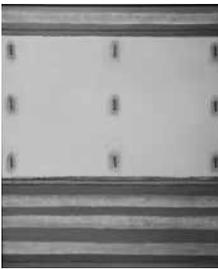
217. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-334**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 80.3 × 53.0  
 太田真実氏寄贈  
 [12079]



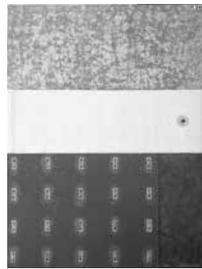
218. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-348 アッシジ**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 65.0 × 45.5  
 太田真実氏寄贈  
 [12080]



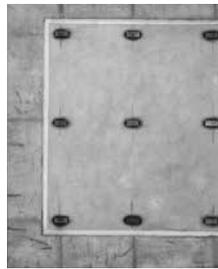
219. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-356**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 65.0 × 53.0  
 太田真実氏寄贈  
 [12081]



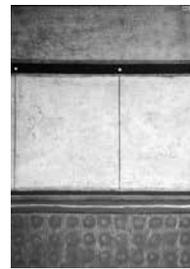
220. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-358**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 65.0 × 53.0  
 太田真実氏寄贈  
 [12082]



221. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-360 ポローニャ**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 80.3 × 60.5  
 太田真実氏寄贈  
 [12083]



222. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-361**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 65.0 × 53.0  
 太田真実氏寄贈  
 [12084]



223. 山中 嘉一 YAMANAKA Yoshikazu  
**Work-362**  
 2008 (平成 20)  
 ミクストメディア、綿布  
 72.5 × 50.0  
 太田真実氏寄贈  
 [12085]

# 図書資料収集

2018 (平成 30) 年度購入

## 逐次刊行物 14 タイトル 121 冊

(内訳)

1	阿々土	14 冊
2	アサヒカメラ	12 冊
3	イラストレーション	4 冊
4	近代画説	1 冊
5	芸術新潮	12 冊
6	新建築	11 冊
7	水蓑	2 冊
8	版画芸術	4 冊
9	美術研究	3 冊
10	美術新論	39 冊
11	美術手帖	9 冊
12	美術フォーラム 21	2 冊
13	+81	3 冊
14	炎芸術	5 冊

## 単行本 79 タイトル 79 冊

(内訳)

- 『日本美術年鑑 明治 43 年度』画報社 1911 年
- 『日本美術年鑑 明治 44 年度』画報社 1912 年
- 石井柏亭『日本美術年鑑 大正 14 年度』中央美術社 1925 年
- 『日本写真年鑑 第一年版大正十三年-十四年』東京朝日新聞社／大阪朝日新聞社 1925 年
- 『日本写真年鑑 第六年版昭和四年-昭和五年』朝日新聞社 1930 年
- 『日本写真年鑑 昭和十三年版』朝日新聞社 1938 年
- 『アサヒカメラ臨時増刊 日本写真年鑑 昭和 14 年版』朝日新聞社 1939 年
- 『日本写真年鑑 昭和 15 年版』朝日新聞社 1940 年
- 「第六回版画展ポスター」日本版画協会 1937 年
- 「第八回版画展ポスター」日本版画協会 1939 年
- 「第九回版画展ポスター」日本版画協会 1940 年
- 井上康文『詞華集 日本の山水』富岳本社 1946 年
- 里見勝蔵『山本發次郎遺稿』山發産業株式会社 1953 年
- 日本写真家協会『日本写真史 1840-1945』平凡社 1971 年
- 浜田知明『浜田知明銅版画作品集』美術出版社 1972 年
- 藤本昭三『織田一磨自摺石版画全作品集』三彩社 1974 年
- 内川芳美『日本広告発達史 上』電通 1976 年
- 日本写真家協会『日本現代写真史 1945-1970』平凡社 1977 年
- 平塚運一『平塚運一版画集』講談社 1978 年
- 畦地梅太郎『畦地梅太郎全版画集』講談社 1979 年
- 木村伊兵衛『木村伊兵衛名作全集 1』世界文化社 1979 年
- 木村伊兵衛『木村伊兵衛名作全集 2』世界文化社 1979 年
- 木村伊兵衛『木村伊兵衛名作全集 3』世界文化社 1979 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 4 巻昭和戦前・少年少女篇』平凡社 1979 年
- 内川芳美『日本広告発達史 下』電通 1980 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 1 巻明治篇』平凡社 1980 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 2 巻大正・時代小説篇』平凡社 1980 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 3 巻大正・現代小説篇』平凡社 1980 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 5 巻昭和戦前・時代小説篇』平凡社 1980 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 6 巻昭和戦前・現代小説篇』平凡社 1980 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 7 巻昭和戦前・戦争小説篇』平凡社 1980 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 8 巻昭和戦前・推理怪奇小説篇』平凡社 1980 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 9 巻昭和戦後・時代小説篇』平凡社 1981 年
- 下中邦彦『名作挿絵全集 第 10 巻昭和戦後・現代小説篇』平凡社 1981 年
- 清宮質文『清宮質文作品集』南天子画廊 1986 年
- 浜田知明『浜田知明作品集コンプリート 1993』求龍堂 1993 年
- 徳力富吉郎『もくほん 徳力富吉郎自選版画集』求龍堂 1993 年

- 38 飯沢耕太郎／金子隆一『日本写真史の至宝 安井仲治写真作品集』国書刊行会 2005年
- 39 飯沢耕太郎／金子隆一『日本写真史の至宝 堀尾正雄◇カメラ・眼×鉄・構成』国書刊行会 2005年
- 40 飯沢耕太郎／金子隆一『日本写真史の至宝 小石清◇初夏神経』国書刊行会 2005年
- 41 飯沢耕太郎／金子隆一『日本写真史の至宝 別巻 光画傑作集』国書刊行会 2005年
- 42 飯沢耕太郎／金子隆一『日本写真史の至宝 丹平写真俱樂部◇光』国書刊行会 2006年
- 43 飯沢耕太郎／金子隆一『日本写真史の至宝 福原信三◇パリとセーヌ』国書刊行会 2007年
- 44 フランシス・M・ナウマン／エクトール・オバルク『マルセル・デュシャン書簡集』白水社 2009年
- 45 前田政之ほか『幕末明治 移行期の思想と文化』勉強出版 2016年
- 46 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』東洋館出版社 2018年
- 47 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』日本文教出版 2018年
- 48 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』日本文教出版 2018年
- 49 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』東洋館出版社 2018年
- 50 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』東洋館出版社 2018年
- 51 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 美術編』日本文教出版 2018年
- 52 日本児童美術研究会『小学校ずがこうさく 1・2 上 たのしいな おもしろいな』日本文教出版 2019年
- 53 日本児童美術研究会『小学校ずがこうさく 1・2 下 たのしいな おもしろいな』日本文教出版 2019年
- 54 日本児童美術研究会『小学校ずがこうさく 3・4 上 見つけたよ ためたよ』日本文教出版 2019年
- 55 日本児童美術研究会『小学校ずがこうさく 3・4 下 見つけたよ ためたよ』日本文教出版 2019年
- 56 日本児童美術研究会『小学校ずがこうさく 5・6 上 見つめて 広げて』日本文教出版 2019年
- 57 日本児童美術研究会『小学校ずがこうさく 5・6 下 見つめて 広げて』日本文教出版 2019年
- 58 日本文教出版『中学校美術 1 出会いと広がり』日本文教出版 2019年
- 59 日本文教出版『中学校美術 2・3 上 学びの深まり』日本文教出版 2019年
- 60 日本文教出版『中学校美術 2・3 下 学びの深まり』日本文教出版 2019年
- 61 日本文教出版『高校美術 1』日本文教出版 2019年
- 62 日本文教出版『高校美術 2』日本文教出版 2019年
- 63 日本文教出版『高校美術 3』日本文教出版 2019年
- 64 日本文教出版『高校工芸 I』日本文教出版 2019年
- 65 日本文教出版『高校工芸 II』日本文教出版 2019年
- 66 日本造形教育研究会『小学校ずがこうさく 1・2 上 わくわくするね』開隆堂 2019年
- 67 日本造形教育研究会『小学校ずがこうさく 1・2 下 みんなおいでよ』開隆堂 2019年
- 68 日本造形教育研究会『小学校図画工作 3・4 上 できたらいいな』開隆堂 2019年
- 69 日本造形教育研究会『小学校図画工作 3・4 下 思いをこめて』開隆堂 2019年
- 70 日本造形教育研究会『小学校図画工作 5・6 上 心をつないで』開隆堂 2019年
- 71 日本造形教育研究会『小学校図画工作 5・6 下 ゆめを広げて』開隆堂 2019年
- 72 日本造形教育研究会『中学校美術 1』開隆堂 2019年
- 73 日本造形教育研究会『中学校美術 2・3』開隆堂 2019年
- 74 酒井忠康ほか『中学校美術 1』光村図書 2019年
- 75 酒井忠康ほか『中学校美術 2・3』光村図書 2019年
- 76 酒井忠康ほか『高校美術 1』光村図書 2019年
- 77 酒井忠康ほか『高校美術 2』光村図書 2019年
- 78 酒井忠康ほか『高校美術 3』光村図書 2019年
- 79 京都市立芸術大学美術教育研究会／和歌山県鑑賞教育研究会『美術資料 和歌山の美術 増補改訂』秀学社 2019年

# 保存事業

作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備等

## 1 作品・資料の状態調査

- ・展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、マウントや額の改良・交換を中心に処置を進めた。

## 2 作品・資料の保存環境整備

- ・展示室、収蔵庫等作品保管区画の温湿度観察を実施
- ・収蔵庫、展示資材倉庫等の清掃を実施
- ・総合虫害管理システム（IPM）により、外部の専門家に委託してモニタリングを館内 98 箇所 で 4 回実施（5 月、8 月、11 月、2 月）。重点的に調査すべき 16 箇所では 8 回実施（4 月、6 月、7 月、9 月、10 月、12 月、1 月、3 月）
- ・空気環境測定（収蔵庫・展示室・展示ケース内のホルムアルデヒド・酢酸・蟻酸を測定。7 月、12 月の 2 回）
- ・展示室等のブンガノンによる燻蒸を実施（2 階・1 階・地下：2 月）
- ・空中浮遊菌調査（収蔵庫・展示室など 25 箇所をエアースンプラーにより採取、培養検査。2 月）

## 3 作品・資料の保存修復

- ・館外の保存修復専門家による状態調査を実施・記録し、修復が必要と判断された作品のうち、優先順位の高いものについて処置を実施した。
  - 1 エミール・オルリク《旧プラハ》1897 年 木版、紙
  - 2 エミール・オルリク《エミール・オルリクの蔵書票》1897 年 リトグラフ、紙
  - 3 エミール・オルリク《プラハのオルリク宅近くの裁縫工場》1898 年 木版、紙
  - 4 エミール・オルリク《冬景色》1902 年頃 木版、紙
  - 5 エミール・オルリク《日本のこどもたち》1900 年頃 木版、紙
  - 6 『ウィーン分離派 オーストリア造形芸術家協会 第 14 回展覧会カタログ』1902 年 冊子（主な処置内容）  
状態調査、欠損部・破れ補修、旧ヒンジ除去、和紙ヒンジ付け

## 4 作品・資料の管理

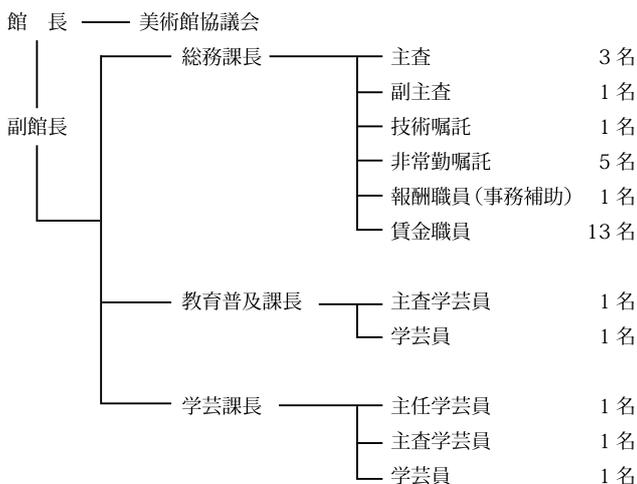
- ・作品の状態調査、展示、貸出記録、台帳・データベースの管理を日常的に実施、更新処理を行っている。

## 5 作品・資料のデータ公開

- ・展覧会出品目録、新収蔵作品目録を年報に掲載した。

# 管理運営

## 組織



## 機構及び職員配置

館長：山野 英嗣  
副館長：苗代 吉登

総務課 総務課長：畑崎 伸仁（和歌山県立博物館総務課長兼務）  
主査：北村 利恵（和歌山県立博物館主査兼務）  
主査：松山 公一（和歌山県立博物館主査兼務）  
主査：福原 沙織（和歌山県立博物館主査兼務）  
副主査：平田 真里（和歌山県立博物館副主査兼務）  
技術専門員：佐々木 利純（非常勤嘱託）

教育普及課 教育普及課長：奥村 泰彦  
主査学芸員：奥村 一郎  
学芸員：青木 加苗

学芸課 学芸課長：井上 芳子  
主任学芸員：植野 比佐見  
主査学芸員：宮本 久宣  
学芸員：藤本 真名美

非常勤嘱託：5名、報酬職員（事務補助）：1名、賃金職員（監視）：13名

## 和歌山県立近代美術館協議会委員

任期2年：2016（平成28）年11月3日～2018（平成30）年11月2日

	氏名（◎会長、○副会長）	役職〔備考〕
◎	榎本 長治	会社社長
	川瀬 和男	会社社長
○	酒井 哲朗**	福島県立美術館 名誉館長
	清水 達三*	日本画家、和歌山県美術家協会 会長
	建 嶋 哲*	多摩美術大学 学長／埼玉県立近代美術館 館長
	谷 奈々	（一般財団法人）和歌山社会経済研究所 研究委員
	廣本 直子	紀の国トレイナート 主宰
	真砂 美香	紀の川市社会教育委員／わかやまメディアリテラシー研究会 代表
	宮本 信吾	和歌山市立雑賀崎小学校 校長／和歌山県美育連盟 会長
	山脇 佐江子*	前 姫路市立美術館 館長／独立行政法人国立美術館 監事
	雪山 行二*	富山県美術館 館長
	渡部 幹雄	和歌山大学附属図書館 館長

氏名五十音順、現在 委員 12名

\* は、和歌山県立近代美術館評価部会委員。\*\* は部会長。現在委員 5名

## 第 64 回和歌山県立近代美術館協議会

2018（平成30）年6月14日（木）午後2時より開催。2017（平成29）年度事業報告、2018（平成30）年度事業説明を受けて、当館の運営について協議が行われた。

## 第 65 回和歌山県立近代美術館協議会

2018（平成30）年9月11日（火）午後2時より開催。2019（平成31）年度事業案などについて協議が行われた。

## 第 6 回和歌山県立近代美術館評価部会

2018（平成 30）年 6 月 14 日（木）午後 4 時より開催。2017（平成 29）年度美術館運営評価、および 2018（平成 30）年度美術館運営目標、学芸員に係る評価などについて協議した。

### 安全と快適性

#### 1 施設・設備の維持管理

1. 施設・設備の定期的な保守管理、日常的なメンテナンス、修繕、関係職員への教育等による安全確保
  - ・施設・設備の定期的な保守管理、日常のメンテナンスを行うと共に、経年劣化による修繕箇所を把握し、雨水配管、階段石貼替、空調設備等の修繕を予算の範囲内で実施することにより安全確保を行った。
2. 施設・設備の改修や新たな整備
  - ・冬期休館して、空調設備改修工事を実施した。
  - ・照明器具の改修に向け財政当局と協議を行い、設計を実施した。
3. 日常的なメンテナンス等による施設的美観の保持・衛生管理
  - ・日々メンテナンスを行い設備の保持、施設的美観等衛生管理を行った。
4. 長期修繕計画
  - ・長期修繕計画に基づき、修繕計画を行った。

#### 2 快適性の向上

1. バリアフリー対策・ユニバーサルデザイン等の対応
2. 利用者に対する接遇
  - ・職員に対し、利用者への適切な対応をするよう指導した。
3. 快適性向上のための上記以外の取り組み
  - ・館内の美化および設備のメンテナンスなどに取り組んだ。

#### 3 危機管理

1. 危機管理・防災体制
  - ・地震及び火災時の避難訓練を実施した。
2. 個人情報の保護・データ管理
  - ・講演会等の展覧会関連事業開催に伴う参加者及び学芸員育成にかかる実習生の情報管理を適切に行った。

#### 4 職員研修

- ・研修への参加には、できる限り対応したが、各職員 2 回以上は達成できなかった。

#### 5 情報公開・利用者のニーズなどの把握

1. 使命、目標、計画などの方針の公開
  - ・和歌山県立近代美術館の使命を 2016（平成 28）年 3 月 4 日（日）よりホームページで公開している。
2. 実績や評価結果の公開
  - ・2017（平成 29）年度実績評価について、2018（平成 30）年 11 月 2 日（金）にホームページで公開した
  - ・2018（平成 30）年度実績評価について、ホームページ公開予定。
3. 入館者情報（年齢層・地域・情報入手手段等）の把握
  - ・アンケートにより入館者情報の把握を行った。
4. 利用者の満足度・ニーズなどの把握
  - ・アンケートにより利用者の満足度・ニーズなどの調査を行った。
5. 調査結果等を反映した運営
  - ・階段や床の汚れを清掃した。

2018（平成30）年度 展覧会入館者数

展覧会名	特別展・企画展					常設展							第72回県展	第4回ジュニア県展
	産業と美術のあいだで	タイムトラベル なつやすみの美術館8	和歌山―日本	国画創作協会の全貌展	合計	特集「はじまりの景色」 特集「院展の画家たちⅠ」 コレクシヨン展 2018―冬春	特集「高橋力雄の木版画」 特集「院展の画家たちⅡ」 コレクシヨン展 2018―春夏	特集「鈴木昭男音と場の探究」 特集「院展の画家たちⅢ」 コレクシヨン展 2018―夏秋	特集「国展の版画」 コレクシヨン展 2018―秋冬	コレクシヨン名品選	合計	1月9日～13日		
会期	4月14日～6月24日	7月7日～9月2日	9月8日～10月20日	11月3日～12月16日		1月4日～3月31日（参考）	4月1日～4月15日	4月28日～7月8日	8月4日～10月21日	10月30日～12月24日	1月4日～1月20日			
日数	62	50	36	38	186	75	13	62	67	49	15	206	5	5

有料

個人	一般	817	1838	577	695	3927	1158	121	785	1660	647	3213		
	団体	21	20	0	50	91	0	0	1	20	50	71		
	紀陽	71	130	97	103	401	162	0	64	203	83	350		
	友の会	33	44	24	28	129	38	4	33	42	22	101		
	割引	339	568	181	205	1293	234	34	376	486	213	1109		
大学生	大学生	74	97	53	35	259	78	4	77	137	35	253		
	団体	22	7	0	0	29	1	0	23	7	0	30		
	紀陽	11	4	3	0	18	7	0	6	7	4	17		
	割引	16	41	68	7	132	17	5	15	89	8	117		
小計	1404	2749	1003	1123	6279	1695	168	1380	2651	1062	5261			

無料

高齢者	677	565	631	1414	3287	1334	171	623	898	893	2585			
障害者	180	162	141	169	652	170	33	152	201	103	489			
その他	503	809	349	1493	3154	424	39	410	640	1064	1820	3973		
県内留学生	24	0	3	11	38	4	0	16	3	10	29			
高校生	60	342	17	95	514	148	6	65	118	84	273			
中学生	42	3994	67	55	4158	48	4	38	544	104	690			
小学生	97	658	54	61	870	102	22	82	352	47	503			
幼児	58	196	40	36	330	50	5	55	148	25	233			
団体	587	480	181	571	1819	437	0	656	373	519	1548			
小計	2228	7206	1483	3905	14822	2717	280	2097	3277	2849	1820	10323	3879	2147
合計	3632	9955	2486	5028	21101	4412	448	3477	5928	3911	1820	15589	3879	2147

有 料										合 計
個 人					大 学 生					
一 般	団 体	紀 陽	友 の 会	割 引	大 学 生	団 体	紀 陽	割 引		
7140	162	751	230	2402	512	59	35	249	11540	

無 料									合 計
高 齢 者	障 害 者	そ の 他	県 内 留 学 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	幼 児	団 体	
5872	1141	7127	67	787	4848	1373	563	3367	25145

入館者数合計	36685
--------	-------

紀陽：紀陽文化財団の助成による入館者 その他：招待券、招待状、優待券による入館者 割引：メールマガジンなどの持参による入館者  
 ※第72回県展及び第4回ジュニア県展は入館者に計上していない。

# 関係法規・規則・規定等

## ○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和 45 年 10 月 6 日  
和歌山県条例第 64 号  
改正 平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

**和歌山県立近代美術館設置及び管理条例** (平 6 条例 18・改称)

(設置)

**第 1 条** 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)を設置する。

(平 6 条例 18・一部改正)

(位置)

**第 2 条** 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目 4 番 14 号に置く。

(平 6 条例 18・一部改正)

(事業)

**第 3 条** 近代美術館は、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
- (2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平 6 条例 18・一部改正)

(使用料)

**第 4 条** 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例(昭和 22 年和歌山県条例第 28 号)の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

**第 5 条** 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、昭和 45 年 11 月 2 日から施行する。

附 則 (平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和 45 年 10 月 22 日  
和歌山県教育委員会規則第 20 号

**改正** 昭和 53 年 4 月 1 日教育委員会規則第 12 号  
昭和 56 年 5 月 28 日教育委員会規則第 7 号  
昭和 63 年 3 月 31 日教育委員会規則第 13 号  
平成 元 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号  
平成 6 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号  
平成 13 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号  
平成 17 年 2 月 25 日教育委員会規則第 2 号  
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 15 号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

**和歌山県立近代美術館管理規則**

(目的)

**第 1 条** この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和 45 年和歌山県条例第 64 号。以下「条例」という。)第 5 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(開館時間)

**第 2 条** 近代美術館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

- 2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

(休館日)

**第 3 条** 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日)
  - (2) 年始(1 月 1 日から同月 3 日まで)
  - (3) 年末(12 月 29 日から同月 31 日まで)
  - (4) 前 3 号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日
- 2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第 1 号から第 3 号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。
  - 3 非常変災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。
    - (1) 休館の期間
    - (2) 非常変災その他急迫の事情の概要
    - (3) その他必要と認める事項

(職員)

**第 4 条** 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(課の設置及び所掌事務)

**第 5 条** 近代美術館に、次の課を置く。

総務課  
教育普及課  
学芸課

- 2 総務課においては、次の事務をつかさどる。
- (1) 館長印、館印その他公印の管守に関する事。
  - (2) 職員の身分、服務その他人事に関する事。
  - (3) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関する事。
  - (4) 予算、決算及び会計に関する事。
  - (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関する事。
  - (6) その他学芸課の主管に属しない事。
- 3 教育普及課においては、次の事務をつかさどる。
- (1) 美術に関する知識の向上及び普及並びに美術の振興に関する事。
  - (2) 学校等の教育、学術又は文化に関する諸施設に対する助言及び支援並びに当該施設との協力に関する事。
  - (3) 国内外の美術館等関係諸団体との連絡及び協力に関する事。
  - (4) 近代美術に関する展覧会、講演会及び研究会等の立案、調整及び実施に関する事。
  - (5) 美術館活動(美術品等の展示及び収集並びに美術の普及活動等をはじめとして広く美術館において行う諸活動をいう。)に係る調査研究に関する事。
- 4 学芸課においては、次の事務をつかさどる。
- (1) 美術品及び美術に関する資料の収集、管理及び保存に関する事。
  - (2) 近代美術に関する展覧会の立案、調整及び実施に関する事。
  - (3) 近代美術に関する調査研究及び資料の刊行に関する事。
  - (4) 近代美術館協議会に関する事。

(入館の拒絶、制限及び退館命令)

**第6条** 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 伝染性疾患のある者
- (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
- (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
- (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不適当と認められた者

2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

(損害賠償の義務)

**第7条** 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

(委任)

**第8条** この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則(昭和53年4月1日教育委員会規則第12号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和56年5月28日教育委員会規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和63年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成13年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年2月25日教育委員会規則第2号)

この規則は平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育委員会規則第15号)

この規則は平成19年4月1日から施行する。

## ○和歌山県博物館協議会条例

昭和 57 年 3 月 29 日  
和歌山県条例第 11 号  
改正 平成 24 年和歌山県条例 28 号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

### 和歌山県博物館協議会条例

(設置)

**第 1 条** 博物館法(昭和26年法律第 285 号)第20条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の任命の基準)

**第 2 条** 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

**第 3 条** 委員の定数は、15 人以内とする。

(任期)

**第 4 条** 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。  
2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

**第 5 条** 協議会に、会長及び副会長 1 人を置く。  
2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。  
3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。  
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第 6 条** 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。  
2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。  
3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

**第 7 条** 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。  
2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。  
3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。  
4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

**第 8 条** 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

**第 9 条** この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 24 年 3 月 23 日条例第 28 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(平成元年8月1日教育長決定)

改正 平成14年3月1日

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱を次のように定める  
**和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱**

(目的)

**第1条** 和歌山県博物館協議会条例(昭和57年和歌山県条例第11号)第7条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)において収集する美術作品の選定に関する事務を適正かつ円滑に行うことを目的として、和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(業務)

**第2条** 委員会は、美術館において収集する美術作品の選定に関する事項を審議する。

(構成)

**第3条** 委員会は、委員5名以内をもって構成する。  
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。  
3 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

**第4条** 委員会に、委員長を置く。  
2 委員長は、委員のうちから協議会会長が指名する。  
3 委員長は、会務を総理する。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

**第5条** 委員会の会議は、和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)が招集する。  
2 委員会の会議には、館長が、必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(庶務)

**第6条** 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

**第7条** この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は、館長が定める。

附 則

この要綱は、平成元年8月1日から施行する。

改正文(平成14年教育長決定)抄

この要綱は、平成14年3月1日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館評価部会設置要綱

平成26年4月1日施行

(目的)

**第1条** 和歌山県博物館協議会条例(昭和57年和歌山県条例第11号)第7条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)の運営の状況等を評価することを目的として、和歌山県立近代美術館評価部会(以下「部会」という。)を設置する。

(業務)

**第2条** 部会の業務は、次に掲げるとおりとする。  
(1) 美術館の運営について評価する項目を定め、各項目について評価を行う。  
(2) 館長が行った新規採用学芸員に係る条件付き採用期間中の評価及び既存の学芸員に係る3年に1度の評価に関し、意見を述べる。

(委員)

**第3条** 委員の定数は、5人以内とする。  
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。

(任期)

**第4条** 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

**第5条** 部会に、部会長を置く。  
2 部会長は、委員のうちから協議会会長が指名する。  
3 部会長は、会務を総理する。ただし、部会長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

**第6条** 部会の会議は、美術館長(以下「館長」という。)が招集する。  
2 部会の会議には、館長が、必要に応じて、委員ではない者の出席を求めることができる。

(庶務)

**第7条** 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

**第8条** この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、館長が定める。

## ○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和 46 年 10 月 12 日  
和歌山県教育委員会規則第 26 号  
改正 昭和 56 年 8 月 29 日教委規則第 15 号  
平成元年 3 月 31 日教委規則第 8 号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

### 和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

**第 1 条** この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品（以下「美術品」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

**第 2 条** 和歌山県立近代美術館長（以下「館長」という。）は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認められた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

- 2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

**第 3 条** 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所
- (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量
- (3) 使用目的
- (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間中における保管及び管理の方法
- (7) その他参考となる事項

(貸付承認)

**第 4 条** 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書（別記様式）を申請者に交付する。

(貸付期間)

**第 5 条** 美術品の貸付期間は、通常 2 月以内（以下「1 期間」という。）とする。ただし、館長が必要と認めるときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

**第 6 条** 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

- (1) 借り受ける美術品の名称及び数量
- (2) 借受期間
- (3) 返納期日
- (4) 返納場所
- (5) 貸付条件に従う旨
- 2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。
- 3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

**第 7 条** 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

- 2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

- 3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

**第 8 条** 美術品の貸付料は、1 点につき 1 期間 3,090 円とし、第 5 条ただし書の貸付期間の延長の場合にあつては、1 月以内の延長期間については 1,540 円とし、1 月を超える延長期間については 3,090 円とする。

- 2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することがある。

- 3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

**第 9 条** 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。

(補則)

**第 10 条** この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 和歌山県立美術館美術品貸付規程（昭和 42 年和歌山県教育委員会規則第 22 号）は、廃止する。

附 則（昭和 56 年 8 月 29 日教育委員会規則第 15 号）

この規則は、昭和 56 年 9 月 1 日から施行する。

附 則（平成元年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号）

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

別記様式（第 4 条関係）

番号 年 月 日
<b>美術品貸付承認書</b>
殿
和歌山県立近代美術館長 印
年 月 日付けで承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。
記
1 貸付品 種別 作者名 題名 材質 形状 製作年
2 貸付期間 年 月 日から 年 月 日まで
3 貸付料 金 円
上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。
4 美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受人において負うものとする。
5 美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換えに引き渡すものとする。
6 その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

## ○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和 46 年 10 月 12 日  
和歌山県教育委員会告示第 12 号  
改正 平成 6 年 3 月 31 日教委告示第 1 号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

### 和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

**第 1 条** この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

**第 2 条** 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあったときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれが無償で受託するものとする。

(寄託)

**第 3 条** 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第 1 号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならない。

(受入れ及び返還)

**第 4 条** 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第 2 号様式による受託証書を交付するものとする。

- 2 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の 1 月前に別記第 3 号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。
- 3 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。
- 4 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

**第 5 条** 寄託期間は、3 年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。

- 2 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

**第 6 条** 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、又は所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出て、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

**第 7 条** 受託証書を忘失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

**第 8 条** 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

**第 9 条** この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則(平成 6 年 3 月 31 日教育委員会告示第 1 号)

この規程は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

別記第 1 号様式(第 3 条関係)

### 美術作品保管依頼書

種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製 作 年 月 日	
附 属 品	
作品の所在地	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。

年 月 日

和歌山県立近代美術館長 殿

住所

氏名

Ⓔ

記

- 1 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。
- 2 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。
- 3 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

別記第2号様式(第4条関係)

	文書番号
	年 月 日
<b>受託証書</b>	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。	
年 月 日	
住所	
氏名	様
	和歌山県立近代美術館長 印

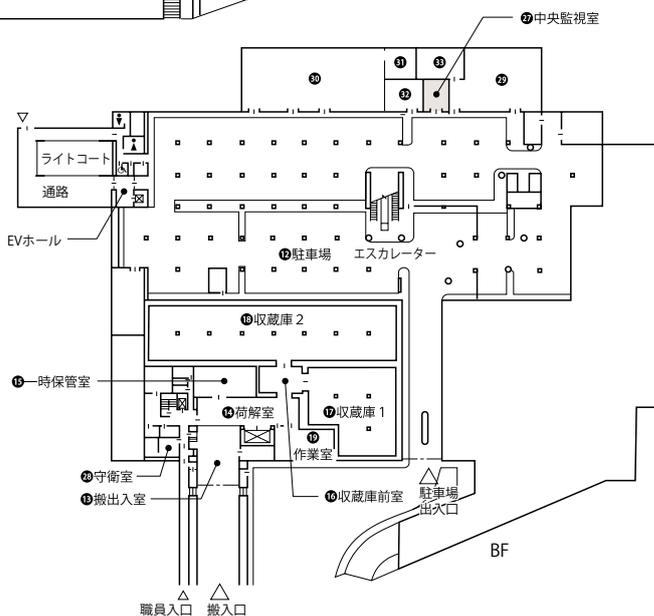
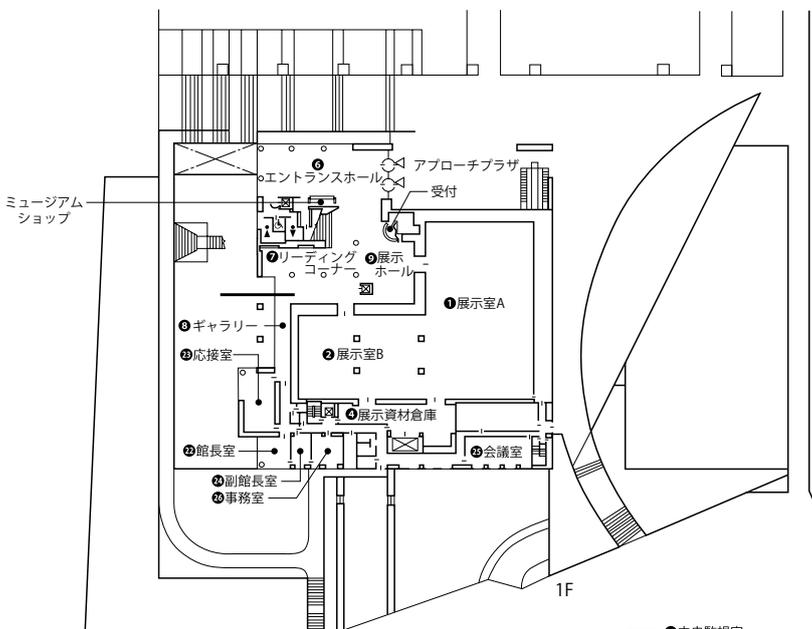
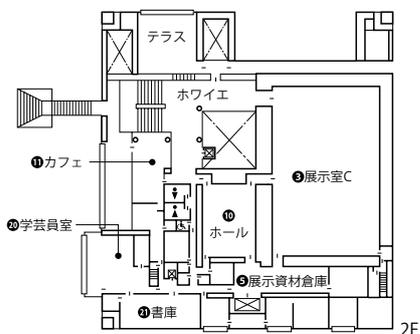
別記第3号様式(第4条関係)

<b>返還請求書</b>	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。	
年 月 日	
和歌山県立近代美術館長 殿	
	住所
	氏名 印

# 建築概要

## 部門別面積表

部門	室名	面積 (m <sup>2</sup> )
<b>展示部門</b>		
①	展示室 A	1,057.0
②	展示室 B	486.1
③	展示室 C	1,038.6
④	展示資材倉庫 (1F)	136.2
⑤	展示資材倉庫 (2F)	121.5
	(小計)	2,839.4
<b>サービス部門</b>		
⑥	エントランスホール	402.2
⑦	リーディングコーナー	217.8
⑧	ギャラリー	46.9
⑨	展示ホール	134.0
⑩	ホール	181.5
	ホール前室、映写室、控室 A、倉庫	74.6
⑪	カフェ	105.1
	厨房	62.0
	テラス	217.9
	化粧室	181.9
⑫	駐車場	2,480.1
	EVホール、廊下、階段、その他	1,670.7
	(小計)	5,774.7
<b>収蔵部門</b>		
⑬	搬出入室	108.4
⑭	荷解室	130.0
⑮	一時保管室	81.0
⑯	収蔵庫前室	61.4
⑰	収蔵庫 1	342.5
⑱	収蔵庫 2	685.6
⑲	作業室	82.0
	(小計)	1,490.9
<b>調査部門</b>		
⑳	学芸員室、倉庫	123.2
㉑	書庫	113.1
	(小計)	236.3
<b>管理部門</b>		
㉒	館長室	
㉓	応接室	
㉔	副館長室	
㉕	会議室	
㉖	事務室	
㉗	中央監視室	
㉘	守衛室	444.7
	控室 B	
	控室 C	
	控室 D	
	更衣室	
	救護室	
㉙	電気室	212.4
㉚	マシンルーム	364.9
㉛	消火ポンプ室	38.7
㉜	ハロンポンプ室	51.2
㉝	発電機室	58.1
	空調機械室	295.5
	倉庫、その他	31.1
	(小計)	1,496.6
	合計	11,837.9
<b>階数別面積</b>		
階数		各階面積
2F		2,916.8
1F		3,436.8
BF		5,484.3
合計 (延床面積)		11,837.9



## 近代美術館・博物館 建築概要

---

所在地	和歌山市吹上一丁目4番14号
敷地面積	23,356.78㎡
監理	和歌山県土木部宮繕課
設計監理	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 〔総事業費 192億633万1千円(用地費含む)〕
工事期間	1991年10月～1994年3月

## 建物概要

---

構造	RC造(鉄筋コンクリート構造) 地上2階地下1階建
建築面積	7,087.17㎡ (美術館部分4,500.62㎡ 博物館部分2,586.55㎡)
延床面積	18,704.50㎡(駐車場3,460.40㎡を含む) (美術館部分11,837.90㎡ 博物館部分6,866.60㎡)
仕上	外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイト仕上、アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイト仕上

## 設備概要

---

電気設備	
受変電設備	3φ3W6600V 60Hz 変圧器 1φ600KVA(うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ1550KVA(うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービクル式直流電源装置 容量 300AH
空調設備	
熱源設備	空気熱源熱回収型スクリュウ式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560㎡
排煙設備	自然排煙+機械排煙6系統(うち美術館4系統 博物館2系統)
衛生設備	
給水設備	受水槽 上水10㎡、雑用水29㎡ 受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水・雨水分流式(公共下水道へ放流)
消火設備	ハロンガス消火(収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) /屋内消火栓/スプリンクラー/消火器/泡消火(駐車場)
自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理) 煙感知器 光電スポット型 美術館239台 博物館139台 熱感知機 差動スポット型 美術館91台 博物館52台 定温スポット型 美術館17台 博物館13台
防災・防犯設備	(館内守衛室にて集中管理) 受信盤 複合GR型 1020回線 ITV監視装置、防災アンプ(720W) 監視カメラ 美術館29台(うち展示室9台) 博物館15台(うち展示室6台) 防犯センサー

## 展示・保存環境

		面積	床材	天上高
展示部門	展示室 A	1,057.0㎡	ナラフローリング	5m
	ケース	L13,706 × D1,200 × H3,372 + L31,070 × D1,200 × H3,372 (mm)		
	展示室 B	486.1㎡	同上	4m
	展示室 C	1,038.6㎡	同上	5m
	ケース	L25,211 × D1,200 × H3,372 (mm)		
	1F 展示資材倉庫	136.2㎡	ビニアスタイル	4m
	2F 展示資材倉庫	121.5㎡	同上	4m
収蔵部門	収蔵庫 1 (立体)	342.5㎡	耐水合板下地 ブナフローリング	4m
	収蔵庫 2 (平面)	685.6㎡	同上	4m
	前室	61.4㎡	同上	4m
	一時保管室	81.0㎡	モザイクパーケット	4m
	作業室	82.0㎡	ビニアスタイル	5.8m
	荷解室	130.0㎡	同上	5.8m
	搬出入口	108.4㎡	モルタル金ゴテ／エポキシ系塗床	4.8m
	展示照明	ハロゲンダウンライト／蛍光灯（着脱式）／スポットライト（着脱式） すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能		
空調	展示室	2系統		
	収蔵庫	2系統		
	展示室	設定温度	通年 22℃	
		設定湿度	通年 55%	
	収蔵庫	設定温度	通年 22℃	
	設定湿度	通年 55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量 3.0 トン H3,000 × W5,000 × D2,500 (mm)			

## 案内

### 利用案内

開館時間 9:30～17:00（入場は 16:30 まで）  
 休館日 毎週月曜日（祝日のときはその翌平日）  
 年末年始（12月29日～1月3日）  
 展示替え期間  
 駐車場 有料（90台収容）

### 交通案内

JR 和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約 10 分、  
 「県庁前」下車、徒歩 2 分  
 （和歌山城の南、県庁前交差点すぐ）



**2018(平成30)年度 和歌山県立近代美術館年報**

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2020

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上 1-4-14

tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337

2020(令和2)年3月31日発行

印刷 中和印刷紙器株式会社

